



MAZDA CONNECT

取扱書

このたびは、マツダ車をお買いあげいただき、ありがとうございます。

本書は、安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、マツダコネク트의正しい取り扱いについて説明しています。ご使用前に必ずお読みください。

発行元 **マツダ株式会社**
〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地 3-1

・仕様変更などにより、本書の内容の一部がお車と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- ・グレードの仕様により異なる装備については「グレード/仕様別装備」をつけています。
- ・マツダ販売店で取り付けられた装備品は、付属の取扱説明書をご覧ください。

©2019 マツダ株式会社
発行 2019 年 4 月 (1 版)

本書の見方

安全にお車を使用していただくために守っていただきたいことを、下記の表示で区分して記載しています。これらは重要ですので、必ず読んでお守りください。

警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負う可能性のあるもの

注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負ったりお車の損傷につながったりする可能性のあるもの

知識

- ・ 知っておいていただきたいこと
- ・ 知っておくと便利なこと

イラストで表現している内容の禁止を意味しています。



目次

概要

1

基本機能

2

その他機能

3

トラブル

4

さくいん

5

詳細目次

1 概要

マツダコネクトとは? 1-2

マツダコネクトとは?.....1-2

基本操作 1-6

基本操作.....1-6

コマンダースイッチによる操作.....1-7

オーディオリモートコントロール
スイッチによる操作.....1-10

音声認識機能による操作.....1-12

お気に入り.....1-16

マツダコネクトをご使用の前に.....1-21

2 基本機能

情報 2-2

i-DM.....2-2

燃費モニター.....2-3

車両ステータスマニター.....2-5

取扱説明書.....2-7

オーディオ 2-8

オーディオ.....2-8

交通情報.....2-26

FM.....2-28

AM.....2-31

Bluetooth®.....2-34

USB1 Audio/USB2 Audio.....2-39

USB1 Video/USB2 Video.....2-46

CD.....2-51

DVD.....2-58

メモリーオーディオ.....2-68

TV.....2-73

HDMI.....2-78

コミュニケーション 2-81

コミュニケーション.....2-81

Bluetooth®ハンズフリー.....2-82

ナビゲーション 2-100

ナビゲーション.....2-100

設定 2-101

設定.....2-101

画面表示.....2-104

サウンド.....2-106

安全装備.....2-108

車両装備.....2-113

通信.....2-117

システム.....2-127

3 その他機能

Apple CarPlay 3-2

Apple CarPlay.....3-2

Android Auto™ 3-6

Android Auto™.....3-6

4 トラブル

トラブルシューティング

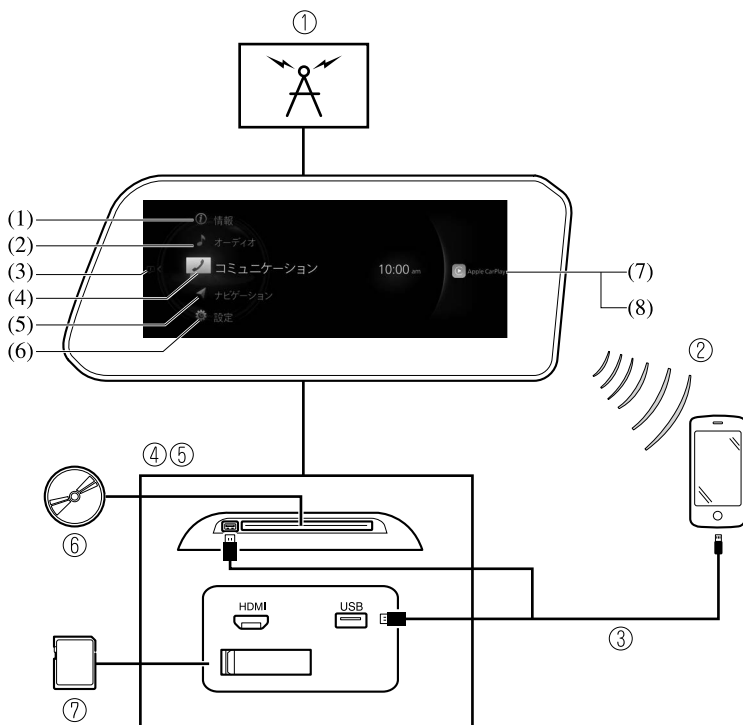
4-2

トラブルシューティング.....4-2

マツダコネクトとは?.....	1-2
マツダコネクトとは?.....	1-2

基本操作.....	1-6
基本操作.....	1-6
コマンダースイッチによる操 作	1-7
オーディオリモートコントロール スイッチによる操作.....	1-10
音声認識機能による操作.....	1-12
お気に入り.....	1-16
マツダコネクトをご使用前 に	1-21

マツダコネクトとは?



1. ラジオ/テレビ
2. Bluetooth®オーディオ/Bluetooth®ハンズフリー/SMS (Short Message Service)
3. USB オーディオ/USB ビデオ
4. USB ポート*1/SD カードスロット*2/HDMI ポート
5. CD/DVD プレイヤー*
6. CD/DVD
7. SD カード (ナビゲーションシステム)*

*1 USB ポートの位置は車種や仕様により異なります。

*2 SD カードスロットは、ナビゲーションシステム用です。ナビゲーションシステム用の SD カード (マツダ純正品) を差し込んで使用します。

No.	メニュー	内容
(1)	情報	i-DM: i-DM のスコアや運転操作傾向が確認できます。 燃費モニター: 走行中の燃費推移や効果の確認ができます。 車両ステータスモニター: 車両ステータス情報が確認できます。 取扱説明書*: 取扱説明書を表示します。
(2)	オーディオ	交通情報 FM AM Bluetooth USB1 Audio/USB2 Audio USB1 Video/USB2 Video Disc*/CD*/DVD* メモリーオーディオ* TV* HDMI
(3)	通知一覧	車両からのお知らせを表示します。
(4)	コミュニケーション	スマートフォンなどの携帯機器とマツダコネクトを Bluetooth® で接続することで、ハンズフリー通話やショートメッセージ機能をご利用いただけます。
(5)	ナビゲーション	ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれている場合に、ナビゲーションシステムが使用できます (ナビゲーションシステム装備車)。 ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。コンパスは、車両停車時、または低速走行時には、正しい方位を示さない場合があります。 ナビゲーションシステムの操作については、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。

No.	メニュー	内容
(6)	設定	マツダコネクトの画面/サウンド設定や車両機能の設定を変更できます。 画面表示: ディスプレイの明るさや表示内容の設定をします。 サウンド: オーディオや警報音などの設定をします。 安全装備: i-ACTIVSENSE の設定をします。 車両装備: ライトやドアロックなど車両装備の設定をします。 通信: Bluetooth などの設定をします。 システム: 言語や操作などの一般的な設定をします。
(7)	Apple CarPlay	Apple CarPlay に対応した iPhone を USB スロットに接続することにより、Apple CarPlay を利用することができます。
(8)	Android Auto	Android Auto™に対応した Android™スマートフォンを USB スロットに接続することにより、Android Auto™を利用することができます。

 警告

オーディオは、車を止めてから操作する。
走行中の操作は、運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。

USB/HDMI 端子に接続したコードが、チェンジレバー/セレクトレバーに絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転中にポータブルオーディオ機器などを調節しない。
走行中に調節すると前方不注意で重大な事故につながるおそれがあります。ポータブルオーディオ機器などの調節は必ず車両を停止した状態で行なってください。

 注意

安全運転をさまたげないように、運転中は車外の音が聞こえる程度の音量で使用してください。



知識

- ・ エンジンを止めたままで、マツダコネクトを長時間使用しないでください。バッテリーがあがることがあります。
- ・ 車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使用すると、ノイズ (雑音) が発生することがありますが故障ではありません。

基本操作



知識

本書に記載されている機能の説明、画面やボタンの文字および形状などは、実際と異なる場合があります。

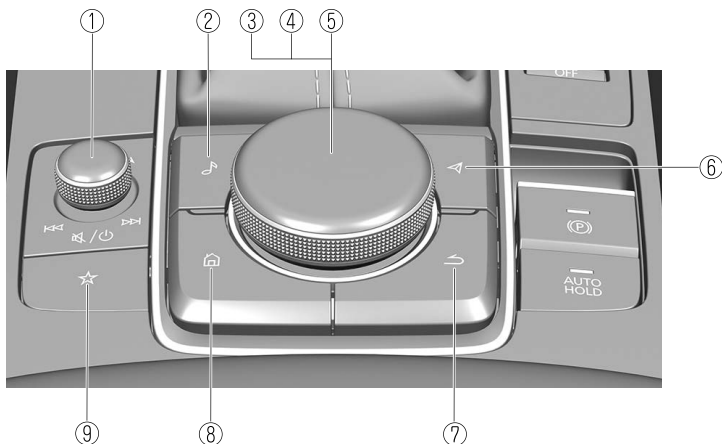
また、これらのコンテンツは、今後のソフトアップデートに応じて、予告なしに順次変更される可能性があります。

コマンダースイッチによる操作

各画面へのスイッチ操作と、コマンダー操作ができます。
コマンダースイッチに包み込むように持つと各画面へのスイッチに指がかかります。
手元を見なくても、各画面に切り替えることができます。

知識

安全のため、走行中は一部の操作をすることができません。



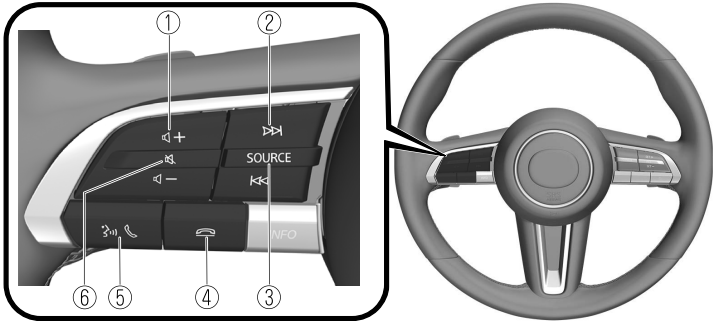
スイッチの形状は車種により異なります。

No.	アイテム	説明
1		音量ノブ: 音量調節 音量ノブをまわして音量を調節します。 音声ガイダンスされているときに音量調節すると、音声ガイダンスの音量変更となります。 ハンズフリーで通話しているときに音量調節すると、通話音量の変更になります。 音量ノブを押すと消音できます。もう一度音量ノブを押すと、消音が解除されます。 電源 OFF 長押しすると、マツダコネクットの電源を OFF にします。  知識 Apple CarPlay、USB オーディオ、Bluetooth®オーディオなど一時停止が可能なオーディオソースを再生中に音量ノブを押して消音すると、音楽は一時停止します。もう一度音量ノブを押すと消音解除され、同時に一時停止も解除されます。 選局 (FM/AM ラジオ) FM/AM ラジオを聞いているときに音量ノブを左右にスライドさせて、お気に入りの登録している放送局を呼び出すことができます。放送局は、音量ノブをスライドさせるたびに切り替わります。 また、ピッと音がするまで長押しすると自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。 (テレビ)* テレビを視聴しているときに音量ノブを左右にスライドさせて、チャンネルリスト順に放送局を呼び出すことができます。放送局は、音量ノブをスライドさせるたびに切り替わります。 頭出し オーディオやビデオを再生中にボタンを操作すると、曲やビデオファイルの頭出しをすることができます。 音量ノブを右にスライドさせると次の曲の頭に進み、左にスライドさせると前の曲の頭に戻ります (曲順は選択しているファイルリスト順です)。
2		オーディオボタン: 最後に再生されたオーディオソース画面が表示されます。 (Apple CarPlay/Android Auto™音楽再生中) Apple CarPlay/Android Auto™の再生画面を表示します。

No.	アイテム	説明
3		コマンダーノブ (選択): コマンダーノブをまわす、または、スライドさせて使いたい機能を選択します。
4		コマンダーノブ (決定): コマンダーノブを押して使いたい機能を決定します。
5		タッチパッド (選択): 文字入力画面とナビゲーションシステムの地図上の移動、拡大、縮小に使用できます。
6		マップボタン: ナビゲーション画面を表示します (ナビゲーションシステム装備車)。 ナビゲーションシステムを機能させるには、ナビゲーションシステム用 SD カードが必要となります。 ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。 ナビゲーションシステムの操作については、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。 (Apple CarPlay/Android Auto™ルート案内中) Apple CarPlay/Android Auto™のマップ画面を表示します。
7		バックボタン: 前の画面に戻ります。
8		ホームボタン: ホーム画面を表示します。 (Apple CarPlay/Android Auto™表示中) Apple CarPlay/Android Auto™のホーム画面を表示します。 (Apple CarPlay/Android Auto™接続中) マツダコネクトの画面を表示しているときに長押しすると、Apple CarPlay または Android Auto™の画面に切り替わります。また Apple CarPlay または Android Auto™の画面を表示しているときに長押しすると、マツダコネクトの画面に切り替わります。
9		お気に入りボタン: お気に入り画面を表示します。 長押しすると、そのとき画面に表示している連絡先や放送局、ナビゲーションの地点などをお気に入りに登録できます。

オーディオリモートコントロールスイッチによる操作

ハンドルの左側にあります。手元でオーディオの操作ができます。



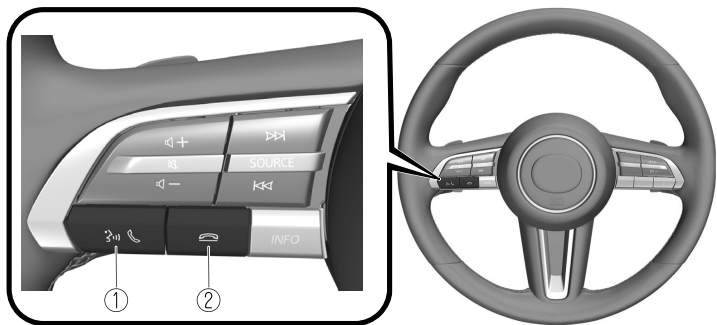
スイッチの形状は車種により異なります。

No.	アイテム	説明
1		音量調節ボタン: +、- ボタンを操作して、音量を調節します。 音声ガイダンスされているときに音量調節すると、音声ガイダンスの音量変更となります。 ハンズフリーで通話しているときに音量調節すると、通話音量の変更になります。
2		選局ボタン: 選局 (FM/AM ラジオ) FM/AM ラジオを聞いているときにボタンを押して、お気に入りの登録している放送局を呼び出すことができます。放送局は、ボタンを押すたびに切り替わります。 また、ビッと音がするまで長押しすると自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。 (テレビ)* テレビを視聴しているときにボタンを押して、チャンネルリスト順に放送局を呼び出すことができます。放送局は、ボタンを押すたびに切り替わります。
		頭出し オーディオやビデオを再生中にボタンを操作すると、曲やビデオファイルの頭出しをすることができます。 を押すと次の曲の頭に進み、を押すと前の曲の頭に戻ります (曲順は選択しているファイルリスト順です)。

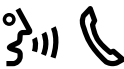
No.	アイテム	説明
3	SOURCE	ソースボタン: ボタンを押すごとにオーディオのソースを切り替えることができます。 また、長押しすると再生中のオーディオが OFF になり、オーディオソースの選択画面を表示します。 (Apple CarPlay/Android Auto™再生時) ボタンを長押しすると再生中のオーディオが OFF になります。
4		ハングアップボタン*1: (通話中) ボタンを押すと、通話を終了します。 (電話を着信中) ボタンを押すと、保留になります。
5		トーク/ピックアップボタン*1: (電話を着信中) ボタンを押すと、電話に応答します。
6		ミュートボタン: ボタンを押すと消音します。 もう一度押すと、消音が解除されます。  知識 Apple CarPlay、USB オーディオ、Bluetooth®オーディオなど一時停止が可能なオーディオソースを再生中にミュートボタンを押して消音すると、音楽は一時停止します。もう一度ミュートボタンを押すと消音解除され、同時に一時停止も解除されます。

*1 トーク/ピックアップボタンとハングアップボタンは音声認識の操作でも使用します。
→1-12 ページ「音声認識機能による操作」

音声認識機能による操作



スイッチの形状は車種により異なります。

No.	アイテム	説明
1		トーク/ピックアップボタン： ボタンを押すと音声認識のトップ画面が表示され、音声認識が起動します。 (音声ガイダンスが流れているとき) ボタンを押すと、音声ガイダンスをスキップできます。
2		ハングアップボタン： ボタンを押すと、音声認識が終了します。

音声認識の起動

オーディオリモートコントロールスイッチのトーク/ピックアップボタンを押すと、音声認識のトップ画面が表示されます。

知識

Apple CarPlay または Android Auto™を接続中は、マツダコネクットの音声認識は起動せず、Siri または Android Auto™の音声認識が起動します。

常に使用できるコマンド

- 「ヘルプ」 - 使用可能な音声コマンドを確認できます。
- 「戻る」 - 前の画面に戻ります。電話番号、または住所入力画面で発話したときは、直前に入力した内容を削除します。
- 「キャンセル」 - 音声認識が終了します。

マツダコネクットの操作方法を知りたいとき

- 「操作ガイド」 - 操作ガイドの画面が表示されます。

音声認識を終了する

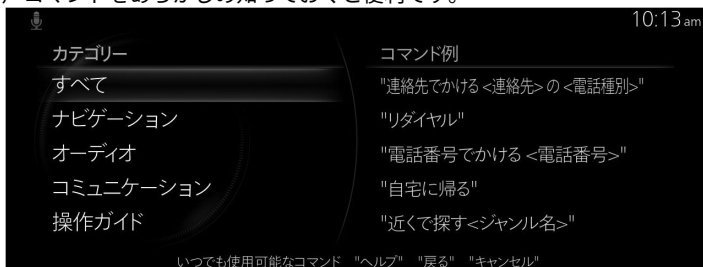
次の操作のいずれかを行ないます:

- ・ ハングアップボタンを押す。
- ・ トーク/ピックアップボタンを長押しする。
- ・ 発話: 「キャンセル」

音声認識機能の便利な使いかた

音声認識のトップ画面では、それぞれのカテゴリーにおいて有効な音声コマンドの例がディスプレイに表示されます。

使用できる音声コマンドをあらかじめ知っておくと便利です。



知識

- ・ 本書に記載しているコマンドは、使用可能なコマンドの一例です。車種により使用できないコマンドもあります。
- ・ バージインの設定が ON のときは、音声ガイダンスが流れている間でも音声コマンドを発話して操作することができます。バージイン設定については、「システム」を参照ください。
→2-127 ページ「システム」
- ・ ナビゲーション画面で使用できる音声コマンドの詳細は、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。

音声認識を失敗しないようにするために、次のポイントに注意してください:

- ・ Bluetooth®で接続されている電話があるときに、電話関連のコマンドが利用可能になります。音声認識で電話を操作する前に電話を Bluetooth®に接続してください。
- ・ 少し大きめの声で発話すると認識されやすくなりますが、過度に大声を出す必要はありません。同乗者に話しかけるよりも少し大きめの声が目安です。
- ・ 必要以上にゆっくりしゃべらず、通常話す時の速さで発話してください。
- ・ 機器側の電話帳にふりがな情報が未登録の場合、音声認識で電話帳を呼び出すことができません。
- ・ 機器側の電話帳の人物を音声認識で呼び出す場合、登録されている名前が長いほど認識率は向上します(「はは」、「いえ」、「つま」などのように短い場合、認識に失敗する場合があります)。
- ・ 単語や数字の間で区切らないように発音してください。
- ・ 指定された音声コマンド以外は、認識することができません。指定された音声コマンドを発話してください。
- ・ マイクの方に向いたり近づいたりする必要はありません。安全運転中の姿勢のまま音声コマンドを発話してください。
- ・ Bluetooth®ハンズフリーを使用するときは、窓とサンルーフを閉めてください。窓またはサンルーフが開いていると、車外の雑音やエアコンの気流の乱れにより、音声が入り正しく認識されないことがあります。

- ・ エアコンの風がマイクに当たっていないことを確認してください。
- ・ 音声ガイダンス中に音声コマンドを発話するときは、少し大きめの声で発話してください。ただし過度に大声を出す必要はありません。
- ・ ガイダンス音量を大音量に設定すると、音声为正しく認識されないことがあります。その場合は、バージョンの設定を OFF にしてください。

音声認識機能に対応しているコマンドの一例

{ }内には、指定する名前や数字が入ります。

共通

- ・ 戻る
- ・ ヘルプ (画面ごとのヘルプガイダンスを聞くことができます。)
- ・ {行番号} (画面の何番目かを選択できます。)
- ・ 次のページ
- ・ 前のページ
- ・ キャンセル

メニュー

- ・ すべて
- ・ ナビゲーション
- ・ オーディオ
- ・ コミュニケーション
- ・ 操作ガイド (取扱説明書の音声認識ページが表示できます。)

設定

- ・ 音声認識設定画面
- ・ 操作ガイド (取扱説明書の音声認識ページが表示できます。)
- ・ ディスプレイ OFF

音楽

- ・ アーティストで再生 (“アーティストで再生 {アーティスト名}” も利用できます。)
- ・ アルバムで再生 (“アルバムで再生 {アルバム名}” も利用できます。)
- ・ プレイリストで再生 (“プレイリストで再生 {プレイリスト名}” も利用できます。)
- ・ 曲で再生 (“曲で再生 {曲名}” も利用できます。)
- ・ オーディオブックで再生 (“オーディオブックで再生 {オーディオブック名}” も利用できます。)
- ・ ポッドキャストで再生 (“ポッドキャストで再生 {ポッドキャスト名}” も利用できます。)

ラジオ

- ・ {AM 放送局名}
- ・ {FM 放送局名}

ソース

- ・ オーディオ切替え (“オーディオ切替え USB”^{*1} や “USB”^{*1} も利用できます。)
- ・ オーディオ OFF (“オーディオ切替え オーディオ OFF” も利用できます。)

電話

- ・ 電話番号でかける (“電話番号でかける {電話番号}” も利用できます。)
 - ・ 電話履歴
 - ・ 連絡先でかける (“連絡先でかける {連絡先}”や“連絡先でかける {連絡先}の{番号種別}” も利用できます。)
 - ・ リダイヤル
- *1 : “USB”以外にも次のオーディオソース名が利用できます: Bluetooth/交通情報/AM/FM/Disc/USB1 Audio/USB2 Audio/USB1 Video/USB2 Video/メモリーオーディオ/TV/HDMI

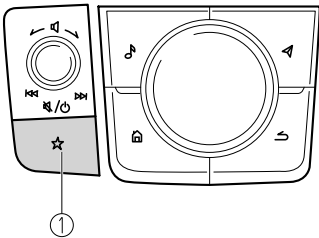


知識

- ・ いくつかのコマンドは装備により使用できません。
- ・ 機器の接続状況や使用状況によっては、使用できないコマンドがあります。

お気に入り

お気に入りに登録する



1. お気に入りボタン

お気に入りボタンを使うと、放送局や連絡先、ナビゲーションの目的地など、お気に入りに登録したコンテンツに素早くアクセスすることができます。
新しくお気に入りに追加するには、次の方法があります。

- ・ 連絡先や放送局、ナビゲーションの地点などの表示画面で ☆ を長押しする。
- ・ リスト上で追加したいコンテンツを選んだ状態で ☆ または  を長押しする。

お気に入り

1. コマンドースイッチの ☆ を押して、お気に入りリストを表示します。



2. リストから再生/表示したいコンテンツを選択すると再生/表示します。

オプションメニュー

オプション	説明
 [現在選択されているカテゴリ]	現在選択されているフィルターのカテゴリ名が表示されます。選択するとお気に入りリストに表示するカテゴリを変更できます。
編集	選択するとお気に入りリストの編集ができます。

知識

・(ナビゲーションシステム装備車のみ)

“自宅”は未登録の状態を選択すると、自宅の登録をすることができます。詳しくはナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。

お気に入りリストの編集

お気に入りリストの表示順や名称を変更したり、お気に入りに登録しているコンテンツを削除することができます。



編集	編集
並べ替え	お気に入りリストの表示順を変更できます。
名称変更	お気に入りリストの名称を変更できます。
自宅編集	(ナビゲーションシステム装備車のみ) 自宅の登録ができます。 詳しくはナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。
削除	登録したお気に入りの削除ができます。

お気に入りリストの表示順を変更する

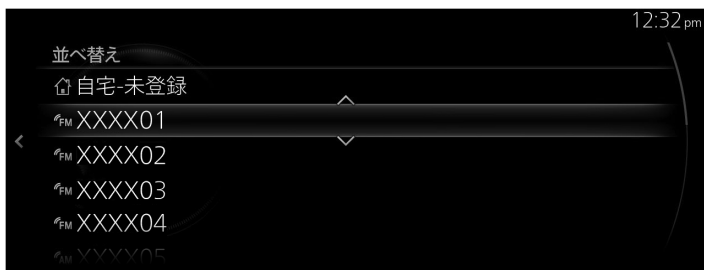
1. オプションメニューから“編集”を選択します。



2. 編集メニューから、“並べ替え”を選択します。



3. 表示順を変更したいコンテンツを選択します。🔄を回して移動させ、👉を押して確定します。

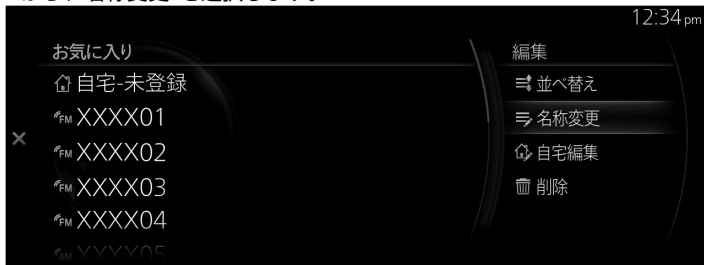


お気に入りリストの表示名を変更する

1. オプションメニューから“編集”を選択します。



2. 編集メニューから、“名称変更”を選択します。

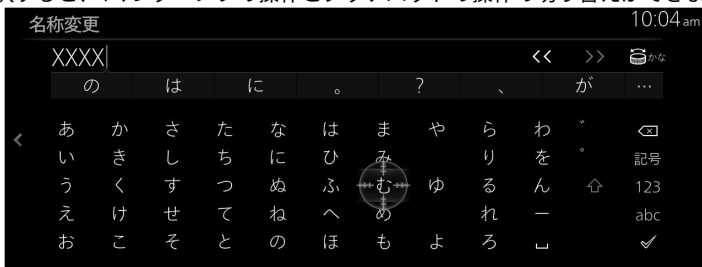


3. 表示名称を変更したいコンテンツを選択し、キーボード画面で名称を変更します。



知識

- ・  を選択すると、ひとつ前の文字を削除します。長押しすると、入力したすべての文字を削除します。
- ・  を左に倒すと、編集を保存せずに前の画面にもどります。
- ・  を選択すると、コマンダーノブの操作とタッチパッドの操作の切り替えができます。



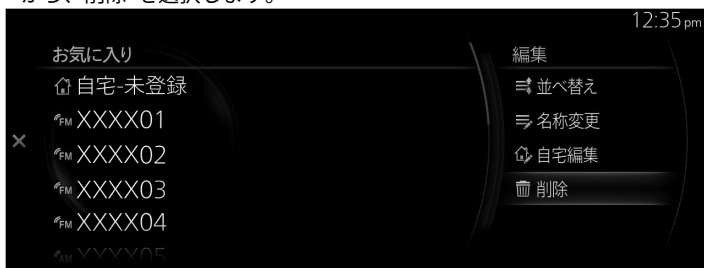
- ・ 入力文字表示欄に確定前の (未変換) 文字が存在している状態で選択すると、未変換文字を確定して操作が切り替わります。
- ・ タッチパッドの操作に切り替えると、カーソルが表示されます。タッチしながら指を動かす、またはタップして払い、カーソルを移動させ、タップして入力します。
- ・ タッチパッドの設定が OFF のときは、タッチパッドを操作することができません。設定を ON に変更してください。
→2-127 ページ「システム」

お気に入りリストからコンテンツを削除する

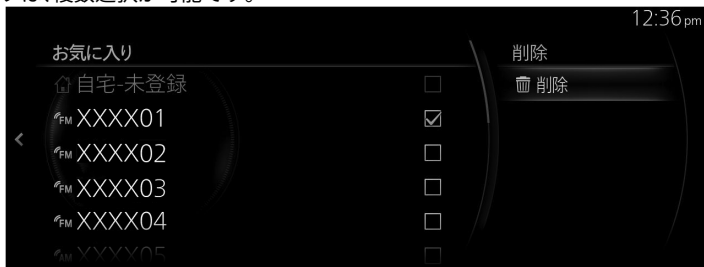
1. オプションメニューから“編集”を選択します。



2. 編集メニューから、“削除”を選択します。



3. 削除したいコンテンツにチェックを入れて“削除”を選択すると、コンテンツを削除します。削除するコンテンツは、複数選択が可能です。



マツダコネクトをご使用の前に

Gracenote® データベース

音楽 CD を再生した場合、車両に収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトル、アルバムアートを検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します (MP3/WMA/AAC CD や USB オーディオ、Bluetooth®オーディオを再生した場合はアルバムアートのみ)。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote®音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

テレビ

注意

- 本機は、ARIB (電波産業会) 規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェア、またはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。
- 本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

コンテンツ権利保護専用方式について

本機は、コンテンツ権利保護専用方式 (ソフトウェア方式) を採用しています。そのため、B-CAS カードは不要です。

→2-73 ページ マツダコネクト取扱書 「TV」

Apple CarPlay

注意

- 適用法によって認められる最大の範囲で Apple Carplay (以下「アプリケーション」) 及びその情報は、瑕疵 (かし) の有無を問わずかつ一切の保証を伴わない「現状有姿」かつ「利用可能な限り」提供され、お客様の責任の下で使用されるものとします。
アプリケーションの商品性、満足すべき品質、特定目的への適合性、正確性、平穏享有、第三者の権利の非侵害性に関する明示的、黙示的または法的な保証を含め、マツダは一切の保証はしません。
適用法により禁止されない限り、アプリケーションとその使用または使用不能に起因/関連する、人身傷害または付随、特別、間接もしくは派生損害等について、いかなる場合もマツダおよびマツダ関連会社は一切の責任を負いません。
なお、当該損害等には以下のものを含みます。
- 逸失利益
- データの破損または損失
- 事業の中断またはその他のいかなる商業的損害もしくは損失等
- Apple CarPlay を使用するときは、運転に集中して周囲の状況を十分に確認し、運転者の責任において Apple CarPlay を使用してください。



知識

- ・ Apple CarPlay は Apple 社によって提供されています。使用するには Apple iOS 利用規約および Apple CarPlay 利用規約に同意していることを条件としています。
- ・ Apple CarPlay 使用中は、場所や速度などの車両データが iPhone に転送されます。詳しくは Apple プライバシーポリシーを参照ください。

Android Auto™



注意

- 適用法によって認められる最大の範囲で Android Auto™ (以下「アプリケーション」) 及びその情報は、瑕疵 (かし) の有無を問わずかつ一切の保証を伴わない「現状有姿」かつ「利用可能な限り」提供され、お客様の責任の下で使用されるものとします。
アプリケーションの商品性、満足すべき品質、特定目的への適合性、正確性、平穩享有、第三者の権利の非侵害性に関する明示的、黙示的または法的な保証を含め、マツダは一切の保証はしません。適用法により禁止されない限り、アプリケーションとその使用または使用不能に起因/関連する、人身傷害または付随、特別、間接もしくは派生損害等について、いかなる場合もマツダおよびマツダ関連会社は一切の責任を負いません。
なお、当該損害等には以下のものを含みます。
 - 逸失利益
 - データの破損または損失
 - 事業の中断またはその他のいかなる商業的損害もしくは損失等
- Android Auto™を使用するときは、運転に集中して周囲の状況を十分に確認し、運転者の責任において Android Auto™を使用してください。



知識

- ・ Android Auto™は Google 社によって提供されています。使用するには Android Auto™利用規約に同意していることを条件としています。
- ・ Android Auto™使用中は、場所や速度などの車両データが Android™スマートフォンに転送されます。詳しくは Google プライバシーポリシーを参照ください。

商標について

- ・ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「ドルビー」、「Dolby」およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ・iPhone, iPod touch, iPod nano, Siri and Apple Music are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- ・The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- ・Apple CarPlay is trademarks of Apple Inc.
- ・iOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.
- ・“Made for iPhone” and “Made for iPod” mean that an accessory has been designed to connect specifically to iPhone or iPod, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with iPhone or iPod may affect wireless performance.

Made for
iPhone 7 Plus
iPhone 7
iPhone SE
iPhone 6s Plus
iPhone 6s
iPhone 6 Plus
iPhone 6
iPhone 5s
iPhone 5c
iPhone 5
iPhone 4s
iPod touch (6th generation)
iPod touch (5th generation)
iPod nano (7th generation)

Made for
 iPhone | iPod

- ・ Google, Android, Android Auto and other related marks are trademarks of Google LLC.
- ・ AUDIOPILOT は、ボーズコーポレーションの登録商標です。
- ・ Centerpoint は、ボーズコーポレーションの登録商標です。
- ・ Windows Media and Microsoft are registered trademarks of Microsoft Corporation U.S. in the United States and other countries.
本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。
- ・ Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



- ・ SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.



- ・ HDMI, High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

- ・ Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。



オーディオアンプのライセンスについて (Bose オーディオ付車は除く)

License for CMSIS-RTOS RTX Implementation

Copyright (c) 1999-2009 KEIL, 2009-2015 ARM Germany GmbH, 2013-2016 ARM Ltd All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- ・ Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- ・ Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- ・ Neither the name of ARM nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MEMO

情報.....	2-2
i-DM.....	2-2
燃費モニター.....	2-3
車両ステータスモニター.....	2-5
取扱説明書.....	2-7

オーディオ.....	2-8
オーディオ.....	2-8
交通情報.....	2-26
FM.....	2-28
AM.....	2-31
Bluetooth®.....	2-34
USB1 Audio/USB2 Audio.....	2-39
USB1 Video/USB2 Video.....	2-46
CD*.....	2-51
DVD*.....	2-58
メモリーオーディオ*.....	2-68
TV*.....	2-73
HDMI.....	2-78

コミュニケーション.....	2-81
コミュニケーション.....	2-81
Bluetooth®ハンズフリー.....	2-82

ナビゲーション.....	2-100
ナビゲーション*.....	2-100

設定.....	2-101
設定.....	2-101
画面表示.....	2-104
サウンド.....	2-106
安全装備.....	2-108
車両装備.....	2-113
通信.....	2-117
システム.....	2-127

i-DM

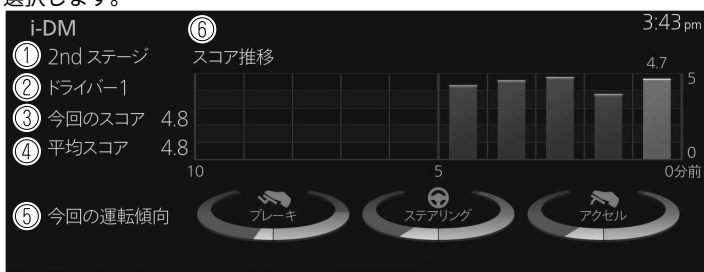
インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) はマツダ車の「走る歓び」と「優れた環境安全性能」を十分に実感していただくためのドライビングサポートシステムです。乗員全員が車両との一体感を感じながら爽快なドライブを楽しめるようになる運転技量の習得/向上をサポートします。

i-DM 表示

運転の評価をスコア (点数) で表示します。スコアに応じてステージが決まります。ステージは 1st ステージから 3rd ステージまであり、ステージが上がるとスコアの診断が厳しくなります。運転技量が上がり、現在のステージでアベレージスコアを高く保てるようになると、次のステージへ上がります。逆に、低いアベレージスコアが続くとステージが下がります。ステージの上限を 5th ステージに変更できます。また、これまでの走行履歴をリセットして 1st ステージに戻すことができます。詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。

センターディスプレイ内の項目を選択することにより、i-DM の情報を表示します。

1. ホーム画面の“情報”を選択します。
2. “i-DM”を選択します。



1. 現在のステージを表示します。
2. ドライバー名を表示します。
ドライバーの登録/選択については、次のページを参照してください。
→2-127 ページ「システム」
3. 今回のスコアを表示します。
4. 平均スコアを表示します。
5. 今回の運転傾向を表示します。ブレーキ、ハンドル、アクセルの操作それぞれを表示します。白のゲージはやや急な運転の多さを示し、青のゲージはしなやかな運転の多さを示します。
6. スコアの推移を棒グラフで表示します。各グラフは1分間のスコアを示し、過去10分間の記録を表示します。最新のグラフは右側にハイライト表示されます。信号待ちや一定速走行など運転操作がなかった場合はゼロのグラフが表示されます。

設定画面

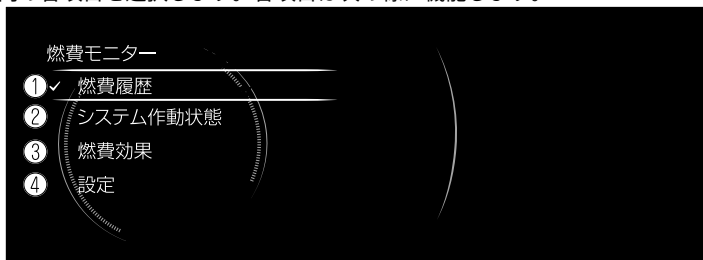
メーターの i-DM 表示を表示/非表示に切り替えることができます。

1. ホーム画面の“情報”を選択します。
2. “i-DM”を選択します。
3. コマンドスイッチを押し、“メーターの i-DM 表示”を表示します。
4. チェックを入れる (☒) と表示、チェックを外す (☐) と非表示になります。

燃費モニター

センターディスプレイ内の各項目を選択することにより、燃費履歴、システム作動状態、燃費効果、設定を切り替え表示します。

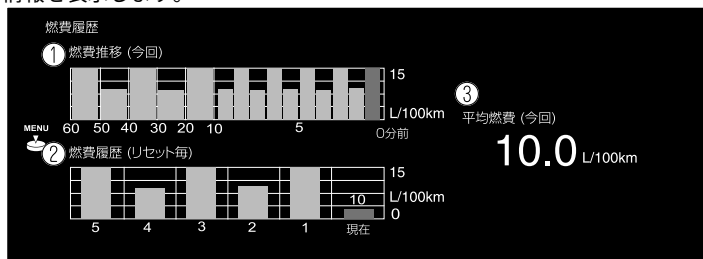
1. ホーム画面の“情報”を選択します。
2. “燃費モニター”を選択します。
3. コマンダースイッチを押し、メニューを表示します。
4. メニュー内の各項目を選択します。各項目は次の様に機能します。



1. 燃費に関する情報を表示します。
2. システムの作動状態を表示します。
3. 燃費効果を表示します。
4. 燃費モニターの設定を表示します。

燃費履歴

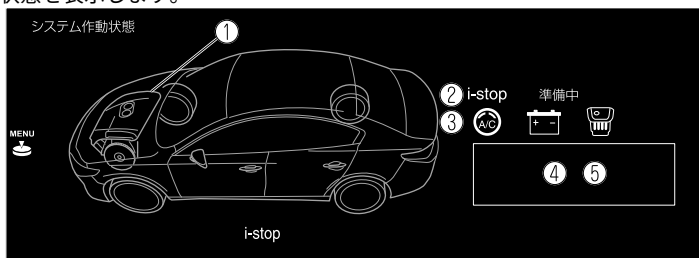
燃費に関する情報を表示します。



1. 過去60分間の燃費を表示します。
 - ・ 過去1~10分間は、1分間毎の燃費を表示します。
 - ・ 過去10~60分間は、10分間毎の燃費を表示します。
2. 過去5回分のリセット時の平均燃費とリセット後(現在)の平均燃費を表示します。
3. 走行開始後の平均燃費を一定の間隔で算出して表示します。

システム作動状態

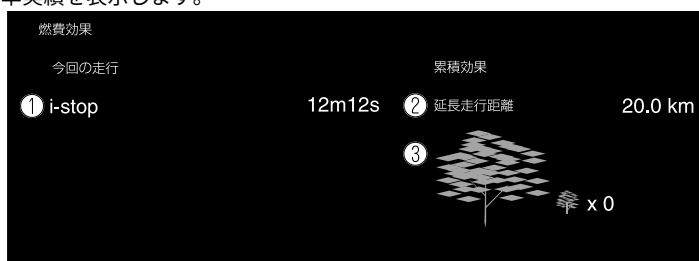
i-stop の作動状態を表示します。



1. アイドリングストップの作動状況をエンジン部分で表示します。アイドリングストップしていないときはエンジン部分が発光して、アイドリングストップ中はエンジン部分が発光しません。
2. アイドリングストップが可能かどうかの準備状況を表示します。
3. アイドリングストップ準備状況をアイコン（エンジン、バッテリーおよびエアコン）の色で表示します。準備ができたアイコンは発光します。発光していないアイコンは準備ができていないことを知らせます。
4. アイドリングストップしていないとき、アイドリングストップするために必要な運転者の操作を表示します。
5. アイドリングストップ中、現在のアイドリングストップ時間と累積のアイドリングストップ時間を表示します。

燃費効果

エネルギー効率実績を表示します。



1. アイドリングストップした時間を表示します。
2. アイドリングストップで延ばすことが出来た全走行距離を表示します。
3. システムの効果により削減された二酸化炭素 (CO₂) 排出量に応じてリーフ (葉) が成長します。成長したリーフは累計され、本数を表示します。

設定

燃費モニターの設定画面を表示します。

設定画面では、次の設定を変更することができます。

- ・燃費履歴のリセット
- ・トリップメーター (TRIP A) をリセットしたときに、メーターの平均燃費とセンターディスプレイの燃費履歴 (現在) も同期 (連動) してリセットする/しないの設定

車両ステータスマニター

1. ホーム画面の“情報”を選択して、車両ステータスマニターの画面を表示します。
 2. “車両ステータスマニター”を選択します。
- 次の機能の設定をお客様自身で変更することができます。

機能		説明
警告情報		車両に異常が発生している場合、異常についての情報が表示されます。
次回メンテナンス予定		次回のメンテナンス時期が表示されます。 <u>日付について</u> お客様自身が手動で設定した日付が表示されます。 <u>距離について</u> “次回メンテナンス予定の設定”を“自動”に設定している場合 “エンジンオイル交換”の内容が表示されます。 “次回メンテナンス予定の設定”を“手動”に設定している場合 お客様自身が手動で設定した走行距離が表示されます。 ただし、次の条件のいずれかを満たしているときは“エンジンオイル交換”の内容が表示されます。 ・お客様自身が走行距離を設定していないとき ・お客様自身が設定した走行距離よりも、“エンジンオイル交換”の方が短いとき
メンテナンス 詳細情報	エンジンオイル交換	エンジンオイルの交換が必要になるまでの走行距離が表示されます。
	次回メンテナンス予定	お客様自身が手動で設定した次回のメンテナンス時期が表示されます。

機能		説明
設定	次回メンテナンス予定の設定	次回のメンテナンス時期の設定方法を、次の 2 つから選択できます。 ・ 自動 ・ 手動
	次回メンテナンス予定日の設定	“次回メンテナンス予定の設定” を “手動” に設定している場合、次回のメンテナンスの日付を設定できます。
	次回メンテナンス予定残距離の設定	“次回メンテナンス予定の設定” を “手動” に設定している場合、次回のメンテナンスまでの走行距離を設定できます。
	エンジンオイル交換距離のリセット	“エンジンオイル交換” の内容を初期化できます。 エンジンオイルを交換したあとは、この項目で記憶値の初期化 (オイルデータリセット) を行なってください。

取扱説明書

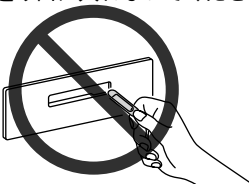
取扱説明書を表示します。

オーディオ

オーディオ機器に液体をかけないでください。



ディスク以外のものを、ディスク差し込み口に入れないでください。



ラジオについて

ラジオの受信は、車両の移動に伴いアンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

- ・ 本機は AM 放送の FM 補完中継放送（ワイド FM）に対応しています。
- ・ 本機で受信可能な周波数帯域は次の通りです。
 - ・ FM 放送波 76.0 ～ 99.0MHz
 - ・ AM 放送波 522 ～ 1629kHz

→2-28 ページ「FM」

→2-31 ページ「AM」

テレビについて

テレビの受信は、車両の移動に伴いアンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

⚠ 注意

- 本機は、ARIB (電波産業会) 規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェア、またはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。
- 本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

本機は、パナソニック株式会社に製造されたものです。

地上デジタルテレビ放送について



- ・ 地上デジタルテレビ放送は、大きく分けて 3 種類のサービスがあります。本機では、テレビ放送のサービスを受けることができます (データ放送とラジオ放送には、対応しておりません)。
 - ・ テレビ放送: 従来からのテレビ放送
 - ・ ラジオ放送: 音声を主とした放送
 - ・ データ放送: 現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの放送
- ・ 受信モードをお車の状況にあわせて切り替えることで、受信状態を安定させることができます。自動でワンセグ・フルセグ (SDTV) の切り替えを行なうか、行なわないかは、設定により変更することができます。
- ・ 地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして「ワンセグ」があります。



- ・ 日本の地上デジタルテレビ放送は、約 6MHz の帯域を 13 個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち 12 セグメントを使って高画質・高音質の放送を行なっています。ワンセグ放送は、残り 1 セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。
※地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、12 セグに比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは 12 セグよりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。

コンテンツ権利保護専用方式について

本機は、コンテンツ権利保護専用方式 (ソフトウェア方式) を採用しています。そのため、B-CAS カードは不要です。

→2-73 ページ「TV」

CD について

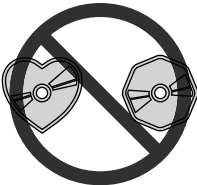
本機で使用できるメディア、再生可能なデータは次の通りです。
次のマークが記載されたディスクが使用可能です。

市販ディスク		
記録されたディスク		
		

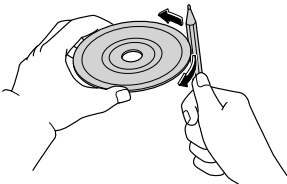
MP3/WMA/AAC CD として、ディスクに記録し再生可能なデータは次の通りです。
MP3、WMA、AAC

 知識

- ・一枚のディスクに音楽データ (CD-DA) と MP3/WMA/AAC ファイルが混在しているときは、ディスクに記録する方法によって再生される内容が異なります。
- ・データ規格の詳細については、「再生可能なオーディオファイルについて」をご参照ください。
- ・コピーコントロール CD (著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽 CD) の中で、CD の規格に準拠していないものは、再生できない場合があります。
- ・ハート型や八角形など特殊形状の CD は使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。



- ・新しい CD は、外周部や中心の穴のまわりが荒くなっている場合があります。そのような場合は、ボールペンや鉛筆などであらい部分 (バリ) を取り除いてから使用してください。そのまま使用すると音飛びを起こしたり、CD を挿入できないことがあります。



- ・悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びを起こすことがあります。

 知識

- ・本機内部のレンズの汚れなどにより、CD が正しく作動しなくなることがあります。
- ・寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露 (水滴) が生じ、正しく作動しなくなることがあります。このようなときは、CD を取り出して室内を換気、または除湿してから使用してください。
- ・正しい方法で作製されたディスクを使用してください。海賊版など、作製違反のディスクを使用すると、正常に作動しない場合があります。
- ・CD 信号面に直接手で触れると、CD の信号面が汚れ、音飛びなどを起こすことがあります。CD の端と中心の穴をはさんで持ってください。CD はケースに入れ、直射日光を避けて保管してください。直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- ・CD の汚れを取るときは、やわらかい布で CD の中央から外側へ向けて汚れをふき取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤などを使用すると、CD の表面を傷める原因になりますので使用しないでください。
- ・文字を書き込んだり、ラベルやシールを貼り付けたりした CD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・変形したり、ひびがはいったりした CD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・セロハンテープやレンタル CD のラベルからのりがはみ出したものや、ラベルをはがしたあとがある CD は、使用しないでください。また、市販の CD-R ラベルを貼り付けたディスクも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・クリーニング・ディスクを CD プレーヤーに挿入しないでください。
- ・CD 差し込み口に指や異物を入れないでください。故障の原因になることがあります。
- ・CD-R/CD-RW は、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ・ファイナライズ処理 (通常の CD プレーヤーで再生できるようにする処理) されていない CD-R/CD-RW は再生できません。
- ・700MB を超える CD-R/CD-RW の再生はできません。
- ・音楽用 CD レコーダー、またはパソコンで記録した CD-R/CD-RW は、ディスクの特性、キズ・汚れなどにより、本機では再生できない場合があります。
- ・パソコンで記録したディスクは、アプリケーション (ライティングソフト) の設定および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください (詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- ・CD-R/CD-RW に記録されているタイトルなどの文字情報は、音楽データ (CD-DA) 再生時に表示できない場合があります。
- ・CD-RW は、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R より時間がかかります。
- ・CD-R/CD-RW の取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
→2-51 ページ「CD」

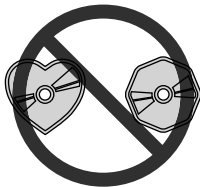
DVD について

本機で使用できるメディア、再生可能なデータは次の通りです。
次のマークが記載されたディスクが使用可能です。

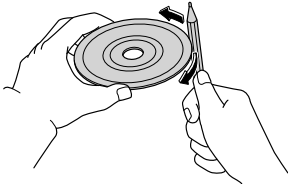
市販ディスク	 
記録されたディスク	  

 知識

- ・本機は、CPRM (Content Protection for Recordable Media) に対応しています。
- ・本機が対応している地域番号は「2」です。地域によって、再生可能な地域番号が決められており、地域番号に対応しているディスクのみ再生できます。
- ・記載している規格以外で書き込まれた DVD-Video/DVD-VR ファイルは、再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されないことがあります。
- ・DVD-VR ファイルは、メニューが表示されません。
- ・ハート型や八角形など特殊形状の DVD は使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。



- ・新しい DVD は、外周部や中心の穴のまわりが荒くなっている場合があります。そのような場合は、ボールペンや鉛筆などであらい部分 (バリ) を取り除いてから使用してください。そのまま使用すると音飛びを起こしたり、DVD を挿入できないことがあります。



- ・悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びや映像の乱れなどを起こすことがあります。

 知識

- ・寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露 (水滴) が生じ、正しく作動しなくなることがあります。このようなときは、DVD を取り出して室内を換気、または除湿してから使用してください。
- ・正しい方法で作製されたディスクを使用してください。海賊版等、作製違反のディスクを使用すると、正常に作動しない場合があります。
- ・DVD 信号面に直接手で触れると、DVD の信号面が汚れ、音飛びや映像の乱れなどを起こすことがあります。DVD の端と中心の穴をはさんで持ってください。
- ・DVD はケースに入れ、直射日光を避けて保管してください。直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- ・DVD の汚れを取るときは、やわらかい布で DVD の中央から外側へ向けて汚れをふき取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤などを使用すると、DVD の表面を傷める原因になりますので使用しないでください。
- ・文字を書き込んだり、ラベルやシールを貼り付けたりした DVD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・変形したり、ひびがはいったりした DVD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・セロハンテープやレンタル DVD のラベルからのりがはみ出していたり、ラベルをはがしたりしたあとがある DVD は、使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・クリーニング・ディスクを DVD プレーヤーに挿入しないでください。
- ・DVD 差し込み口に指や異物を入れないでください。故障の原因になることがあります。
- ・DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW は、録画に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ・ファイナライズ処理 (通常の DVD プレーヤーで再生できるようにする処理) されていない DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW は再生できません。
- ・音楽用 DVD レコーダー、またはパソコンで記録した DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW は、ディスクの特性、キズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ・パソコンで記録したディスクは、アプリケーション (ライティングソフト) の設定および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください (詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- ・DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW の取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- ・DVD ビデオではディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。この DVD プレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに付属の取扱書もあわせて参照してください。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク	意味
NTSC	カラーテレビの方式です。
	音声のトラック数です。数字が収録されている音声数を表します。

マーク		意味
		字幕の言語数です。 数字が収録されている言語数を表します。
		アングルの数です。 数字が収録されているアングル数を表します。
		選択することができる画面モードです。 「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面を表します。
		再生可能な地域番号です。ALL は全世界向け、「2」は日本向けを表します。

正しく DVD をご利用いただくために（用語の解説）

DVD-Video

DVD-Video は、DVD フォーラムの定めた映像保存の規格です。
デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである MPEG2 (エムペグ 2) が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。
さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

DVD-VR

DVD-VR は、DVD Video Recording Format の略称で、DVD フォーラムの定めた映像保存の規格です。

マルチアングル

DVD プレーヤーの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル (カメラの位置) で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

マルチランゲージ (多言語)

DVD プレーヤーの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

地域番号 (リージョンコード)

DVD プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号 (リージョンコード) が設けられています。
再生させるディスクの地域番号が、プレーヤーに設定されている地域番号と異なる場合は、ディスクの再生はできません。
また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、この DVD プレーヤーで再生させることができないことがあります。
→2-58 ページ「DVD」

USB オーディオ機器について

USB メモリ、USB オーディオ機器に記録して再生可能なデータは次の通りです。

オーディオファイル： MP3、WMA、AAC、MP4、3GPP、WAV、FLAC、OGG

ビデオファイル： MP4、AVI、ASF

これらの規格以外で書き込まれたファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。

注意

オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

知識

- ・ 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
- ・ FAT16、および FAT32 でフォーマットされた USB メモリに対応しています。

・ (FAT16)

最大ファイルサイズ: 2GB

最大ボリュームサイズ: 2GB

・ (FAT32)

最大ファイルサイズ: 4GB-1byte

最大ボリュームサイズ: 2TB (セクタサイズが 512 バイトの場合)

(NTFS フォーマットなどでフォーマットされた USB メモリには対応していません)。

- ・ ひとつの USB 機器で再生可能な最大ファイル数は 9999 ファイルです。また、ひとつのフォルダで再生可能な最大ファイル数は 255 ファイルです。
- ・ 本機では USB2.0/1.1 規格に対応したデバイスが利用できます。USB3.0 規格品であっても USB2.0 と互換のある機材であれば、USB2.0 デバイスとして利用可能です。
- ・ 本機は著作権保護されたファイルは再生できません。
- ・ 機器に保存された曲順と再生順序が違うことがあります。
- ・ 1 ポートあたりの最大電流は 2.5A です。これ以上の電流を必要とする機器が接続された場合は、機器が正常に動作しなかったり、充電できない場合があります。
- ・ パスワードで保護されたデータは再生することができません。
- ・ 記録されているデータの消失、損傷といった万一にそなえて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- ・ USB オーディオ機器が再生に対応していない音楽データは、本機で再生できない場合があります。
- ・ USB ビデオとして再生可能な動画ファイルは、マスストレージに対応している USB オーディオ機器に保存された動画ファイルです。

→2-39 ページ 「USB1 Audio/USB2 Audio」

→2-46 ページ 「USB1 Video/USB2 Video」

Gracenote®音楽認識サービスについて

知識

- ・「Gracenote®音楽認識サービス」によって提供されるデータは、100%内容を保証しているものではありません。
- ・USB メモリを使用して Gracenote®音楽データベースを更新することができます。
→2-127 ページ「システム」
- ・本機では、Gracenote®音楽認識サービスは CD、USB オーディオ、メモリーオーディオ、および Bluetooth®オーディオに対応しています。

Bluetooth®オーディオについて

Bluetooth®通信機能のあるポータブルオーディオ機器を車両のマツダコネク트에登録すると、登録したポータブルオーディオ機器に録音されている音楽を、車両のスピーカーから聴くことができます。また、ポータブルオーディオ機器を車両の外部入力端子に接続する必要はありません。
→2-117 ページ「通信」
登録後は、マツダコネクで音楽の再生/停止が可能です。

知識

- ・Bluetooth®機器によっては使用できない場合があります。対応する Bluetooth®機器の情報はマツダ販売店に問い合わせください。
- ・安全のため、車両が停止しているときのみペアリング (登録) することができます。ペアリングを行う前に、安全な場所に車両を止めてください。
- ・Bluetooth®機器の通信可能距離は約 10 メートル以内です。
- ・Bluetooth®機器を鞆に入れたままだと、接続しにくい場合があります。
- ・コンテンツ保護されたデジタル音声出力は、SCMS-T のみ対応しています。
- ・スマートフォンなどでの音楽配信サービスアプリ等の楽曲は再生できないことがあります。
- ・Bluetooth®接続していない場合でも、音声コマンドを発話することによりオーディオの基本操作などは可能です。

対応 Bluetooth® 規格 (推奨)

Ver. 1.1/1.2/2.0 + EDR/2.1 + EDR/3.0 (適合)および Bluetooth® Ver3.0 と互換のあるもの

対応プロファイル

- ・ A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) Ver. 1.3
 - ・ AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) Ver. 1.0/1.3/1.4/1.5/1.6
- A2DP は、音声を Bluetooth®ユニットに転送するだけのプロファイルです。AVRCP に対応せず、A2DP のみに対応している Bluetooth®オーディオ機器の場合、マツダコネクトでの操作はできません。Bluetooth® オーディオ機器側での操作のみ可能です。

機能	AVRCP				
	Ver.1.0	Ver.1.3	Ver.1.4	Ver.1.5	Ver.1.6
再生	○	○	○	○	○
一時停止	○	○	○	○	○
ファイル(トラック) アップ	○	○	○	○	○
ファイル(トラック) ダウン	○	○	○	○	○
アルバムアップ	—	○	○	○	○
アルバムダウン	—	○	○	○	○
早送り	○	○	○	○	○
早戻し	○	○	○	○	○
リピート再生	—	○	○	○	○
シャッフル再生	—	○	○	○	○
プレイリストの表示	—	—	○	○	○
プレイリストや楽曲の情報表示 (曲名、アーティスト名など)	—	○	○	○	○

○: 可能
—: 不可能

 知識

- ・実際の機能の動作可否は、接続する機器によって表と異なる場合があります。
- ・Bluetooth® が接続されているときは、Bluetooth® オーディオ機器のバッテリー消費量が増加します。

 注意

Bluetooth® オーディオとして接続しているデバイスを、同時に USB オーディオとして本機に接続しないでください。正常に操作できなくなったり、予期しない動作を引き起こすことがあります。

→ 2-34 ページ「Bluetooth®」

HDMI について

本機で再生可能な HDMI 機器の映像の解像度および音声信号は次の通りです。

映像の解像度	・ 640×480p ・ 720×480p ・ 1280×720p
音声信号	・ 2ch：48KHz/16bit 音声 ・ 2ch：44.1KHz/16bit 音声

 知識

接続する機器によっては、映像が表示されない場合があります。

再生可能なオーディオファイルについて

注意

オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

本機で再生可能なオーディオファイルは次の通りです。

対応フォーマット		対応ビットレート	対応サンプリングレート	C D	D V D	U S B
MP3	MPEG-1 Layer 3	32 - 320 kbps	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz	○	○	○
	MPEG-2 Layer 3	8 - 160 kbps	16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz			
WMA	WMA Ver7	48 - 192 kbps	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz	○	○	○
	WMA Ver8					
	WMA Ver9	48 - 320 kbps				
	WMA Ver9.1					
	WMA Ver9.2					

対応フォーマット		対応ビットレート	対応サンプリングレート	C D	D V D	U S B				
AAC	MPEG-2 Part 7	8 - 320 kbps	11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz	○	○	○				
	MPEG-4 Part 3									
	HE-AAC									
	AACPlus v2 / eAAC+									
MP4	MPEG-2 Part 7			—	—					
	MPEG-4 Part 3									
	MPEG-1 Layer 3									
	MPEG-2 Layer 3									
	ALAC									
3GPP	MPEG-4 AAC-LC						—	—	○	
	HE-AAC									
	AACPlus v2 / eAAC+									
WAV	LPCM	—	8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz	—	—	○				
FLAC	FLAC	—		—	○					
OGG	Vorbis	32 - 500 kbps	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz	—	—	○				
	FLAC	—	8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz							

○: 可能

—: 不可能

MP3 について

MPEG Audio Layer3 の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。

MP3 は、音声データを元のデータの約 10 分の 1 に圧縮することができます。

本機は、拡張子 (.mp3) がついているファイルを MP3 ファイルとして再生します。

WMA について

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.wma) がついているファイルを WMA ファイルとして再生します。

- * Microsoft、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・記載している規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

AAC について

AAC とは、Advanced Audio Coding の略称で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.aac) がついているファイルを AAC ファイルとして再生します。

- ・記載している規格以外で書き込まれた AAC ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。

WAV について

WAV とは、RIFF waveform Audio Format の略称で、Microsoft と IBM によって開発された音声圧縮の規格です。

本機では PCM (パルス符号変調) 形式で記録された、拡張子 (.wav) がついているファイルを WAV ファイルとして再生します。



知識

PCM 形式は、CD などに採用されている形式で、アナログのオーディオデータをデジタル化するための手法です。

- ・記載している規格以外で書き込まれた WAV ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。

Ogg について

Ogg とは、Xiph.Org Foundation の音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.ogg/.ogx/.oga) がついているファイルを Ogg ファイルとして再生します。

- ・記載している規格以外で書き込まれた Ogg ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。

MP4 について

MP4 とは、MPEG-4 Part 14 で標準化されているコンテナファイルフォーマットです。

本機は、拡張子 (.m4a) がついているファイルを MP4 のオーディオファイルとして再生します。

3GPP について

3GPP とは、Third Generation Partnership Project が規格を定めているファイルフォーマットです。本機は、拡張子 (.3gp) がついているファイルを 3GPP ファイルとして再生します。

FLAC について

FLAC とは、Free Lossless Audio Codec の略称で、ライセンスフリーの音声ファイルフォーマットです。本機は、拡張子 (.flac/.fla) がついているファイルを FLAC ファイルとして再生します。

再生可能なビデオファイルについて **注意**

ビデオファイル以外のファイルにビデオファイルの拡張子をつけないでください。また、ビデオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

本機で再生可能なビデオファイルは次の通りです。

対応フォーマット			最大画像サイズ	最大フレームレート	CD	D V D	US B
MP4	映像	MPEG-4 AVC	1920 × 1080	60 i / 30 p	—	—	○
		MPEG4					
	音声	AAC					
		MP3					
AVI	映像	MPEG-4 AVC					
		MPEG4					
		WMP9					
		Advanced Profile					
	音声	AAC					
		MP3					
		WMA 9.2 (7, 8, 9.1, 9.2)					
ASF	映像	WMP9					
		WMP9 Advanced Profile					
	音声	WMA 9.2 (7, 8, 9.1, 9.2)					

○: 可能
—: 不可能

MP4 について

MP4 とは、MPEG-4 Part 14 で標準化されているコンテナファイルフォーマットです。
本機は、拡張子 (.mp4/.m4v) がついているファイルを MP4 のビデオファイルとして再生します。

AVI について

AVI とは、Audio Video Interleave の略称で、Microsoft 社によって開発されたコンテナファイルフォーマットです。
本機は、拡張子 (.avi) がついているファイルを AVI ファイルとして再生します。

ASF について

ASF とは、Advanced Systems Format の略称で、Microsoft 社によって開発されたコンテナファイルフォーマットです。
本機は、拡張子 (.wmv) がついているファイルを ASF ファイルとして再生します。

Apple CarPlay に関する免責事項

本機は、iPhone を車両のオーディオ機器で操作できる Apple CarPlay に対応しています。
Apple CarPlay は iPhone5 以降の機種に対応しています。

注意

安全のため、運転しながら本体での操作はしないでください。
iPhone を使用しないときは取りはずしてください。車内に放置すると、車内の高温と湿度で破損したりバッテリーが消耗することがあります。
iPhone のバッテリーが劣化しているときは、本機に接続しても充電や音楽再生などができない場合があります。

知識

- ・ OS のバージョンによっては、iPhone5 以降の機種でも Apple CarPlay に対応していない場合があります。
- ・ 記録されているデータの消失、損傷といった万一にそなえて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。

→3-2 ページ「Apple CarPlay」

Android™について

本機は、Android™ 5.0 Lollipop 以上を使用している Android™ スマートフォンに対応しています。Android Auto™を使用するには、Android Auto™ アプリケーションがダウンロードされたスマートフォンが必要です。

注意

安全のため、運転しながら Android™ スマートフォンの操作はしないでください。Android™ スマートフォンを使用しないときは取りはずしてください。車内に放置すると、車内の高温と湿度で破損したりバッテリーが消耗することがあります。Android™ スマートフォンのバッテリーが劣化しているときは、本機に接続しても充電や音楽再生などができない場合があります。

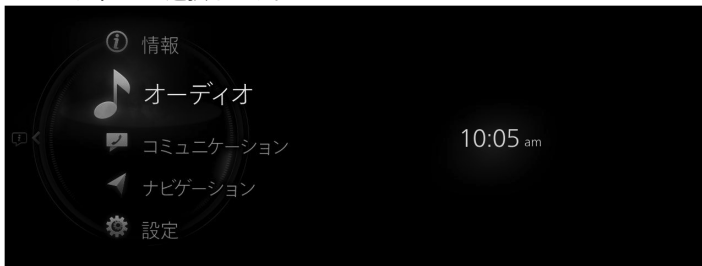
知識

- ・ 記録されているデータの消失、損傷といった万一にそなえて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。

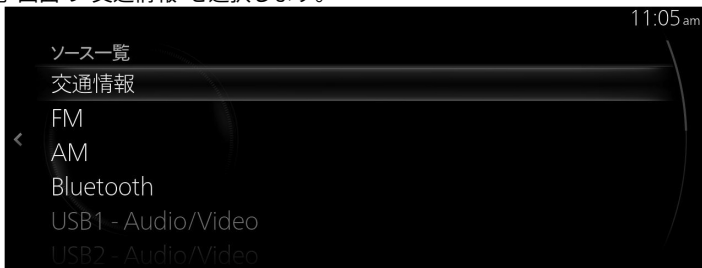
→ 3-6 ページ「Android Auto™」

交通情報

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. “ソース一覧”画面の“交通情報”を選択します。

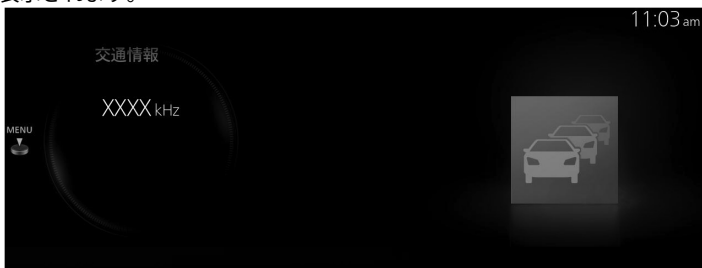


知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンダースイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

3. 再生画面が表示されます。

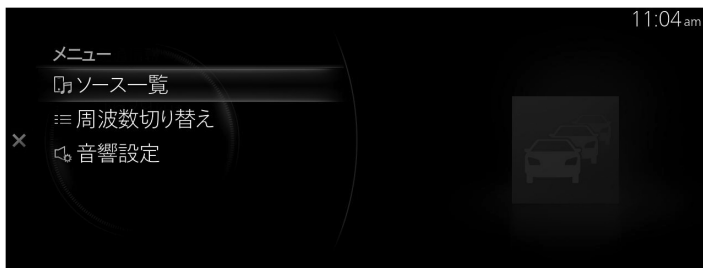


を回して受信する周波数を切り替えます。



が表示されているときに  を押してメニューを表示します。

交通情報メニュー



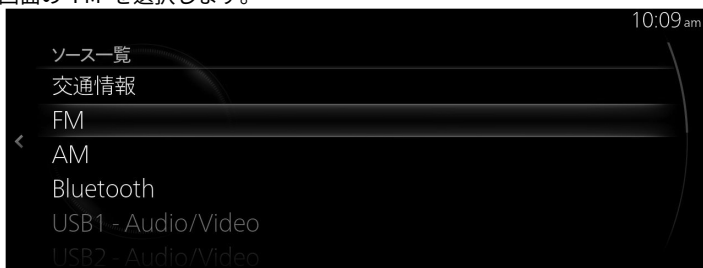
メニュー	説明
ソース一覧	ソース一覧画面を表示します。オーディオのソースを切り替えることができます。
周波数切り替え	“周波数切り替え”画面を表示します。 受信する周波数を切り替えることができます (1620kHz または 1629kHz)。
音響設定	音質を調節します。 →2-106 ページ「サウンド」

FM

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. ソース一覧画面の“FM”を選択します。

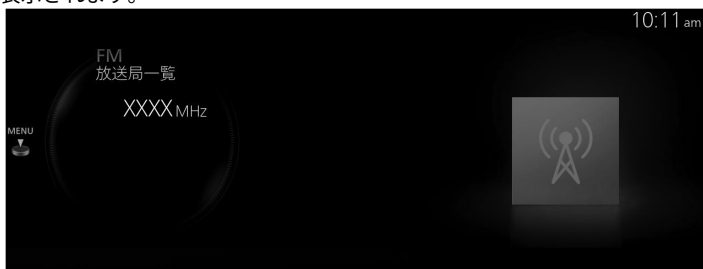


知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコンマンドスイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

3. 再生画面が表示されます。



 を回して、FM の お気に入りリスト、または放送局一覧のうち、最後に表示したリストを表示します。

 が表示されているときに  を押してメニューを表示します。

FM ラジオメニュー



メニュー	説明
ソース一覧	ソース一覧画面を表示します。オーディオのソースを切り替えることができます。
お気に入り	FM のお気に入りリストを表示します。 お気に入りに登録された放送局リストが表示され、聞きたい放送局を選択できます。 お気に入りの登録件数が 0 件の場合は空のリストが表示されます。 お気に入りの登録方法については、1-16 ページの「お気に入り」を参照してください。
放送局一覧	放送局リストが表示され、聞きたい放送局を選択できます。 放送局リストは、受信 Ch. とエリア登録 Ch. から選択できます。詳しくは、[放送局リストの種別を変更する]を参照してください。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。 各アイコンの操作方法は [コントロール画面 (アイコン) の使いかた] を参照してください。
周波数選択	表示される周波数ダイヤルを回して、聞きたい放送局を選択できます。
音響設定	音質を調節します。 →2-106 ページ「サウンド」

コントロール画面 (アイコン) の使いかた



 を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン	説明
	受信可能な放送局を探すことができます。 周波数の低い方から高い方へ受信可能な放送局を 5 秒間ずつ受信します。聞きたい局がみつかったら、もう一度選択することで受信する周波数が固定されます。
	自動選局を開始します。周波数が 1 ステップずつ切り替わり、受信可能な放送局がみつかったら自動で停止します。
	自動選局中にもう一度アイコンを選択すると、自動選局をキャンセルします。 また、長押ししている間は受信可能な放送局がみつかったも自動停止せずに周波数を切り替え続けることができます。

放送局リストの種別を変更する



リストタイプメニューからリストの種別を選択できます。

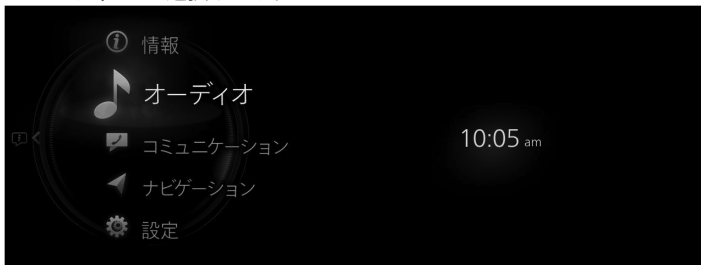
リストタイプ	説明
受信 Ch.	受信可能な放送局を表示します。 放送局名が表示されず、周波数のみ表示されることがあります。 次のような場合は、放送局名が表示されません。 ・地域のコミュニティ放送局 ・新たに中継局を増設した放送局
エリア登録 Ch.	本機が記憶している放送局の中から、自転車位置に応じて受信可能と思われる放送局をリスト表示します。 受信状況によっては、リストにある放送局を受信することができない場合があります。

 知識

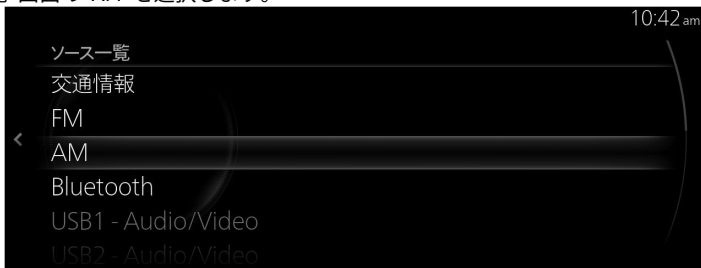
本機に記憶された放送局名は、放送局名称の変更などによって最新とは異なる場合があります。

AM

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. “ソース一覧”画面の“AM”を選択します。

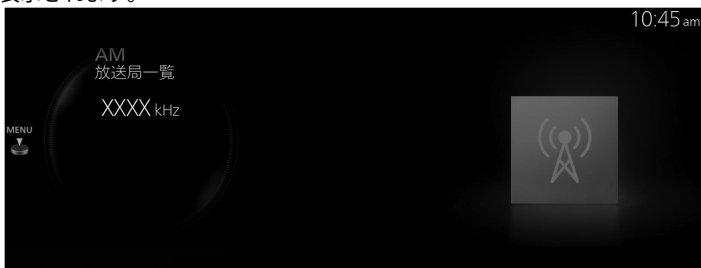


知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンドースイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

3. 再生画面が表示されます。



 を回して、AM の お気に入りリスト、または放送局一覧のうち、最後に表示したリストを表示します。

 が表示されているときに  を押してメニューを表示します。

AM ラジオメニュー



メニュー	説明
ソース一覧	ソース一覧画面を表示します。オーディオのソースを切り替えることができます。
お気に入り	AM のお気に入りリストを表示します。 お気に入りに登録された放送局リストが表示され、聞きたい放送局を選択できます。 お気に入りの登録件数が 0 件の場合は空のリストが表示されます。 お気に入りの登録方法については、1-16 ページの「お気に入り」を参照してください。
放送局一覧	放送局リストが表示され、聞きたい放送局を選択できます。 放送局リストは、受信 Ch.とエリア登録 Ch.から選択できます。詳しくは、[放送局リストの種別を変更する]を参照してください。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。 各アイコンの操作方法は [コントロール画面 (アイコン) の使いかた] を参照してください。
周波数選択	表示される周波数ダイヤルを回して、聞きたい放送局を選択できます。
音響設定	音質を調節します。 →2-106 ページ「サウンド」

コントロール画面 (アイコン) の使いかた

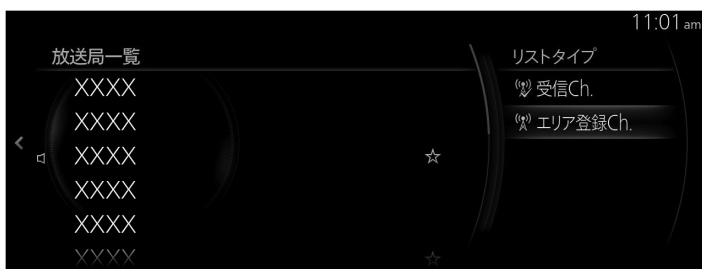




を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン	説明
	受信可能な放送局を探することができます。 周波数の低い方から高い方へ受信可能な放送局を 5 秒間ずつ受信します。聞きたい局がみつかったら、もう一度選択することで受信する周波数が固定されます。
	自動選局を開始します。周波数が 1 ステップずつ切り替わり、受信可能な放送局がみつかったら自動で停止します。
	自動選局中にもう一度アイコンを選択すると、自動選局をキャンセルします。 また、長押ししている間は受信可能な放送局がみつかったても自動停止せずに周波数を切り替え続けることができます。

放送局リストの種別を変更する



リストタイプメニューからリストの種別を選択できます。

リストタイプ	説明
受信 Ch.	受信可能な放送局を表示します。 放送局名が表示されず、周波数のみ表示されることがあります。 次のような場合は、放送局名が表示されません。 ・地域のコミュニティ放送局 ・新たに中継局を増設した放送局
エリア登録 Ch.	本機が記憶している放送局の中から、自車位置に応じて受信可能と思われる放送局をリスト表示します。 受信状況によっては、リストにある放送局を受信することができない場合があります。



知識

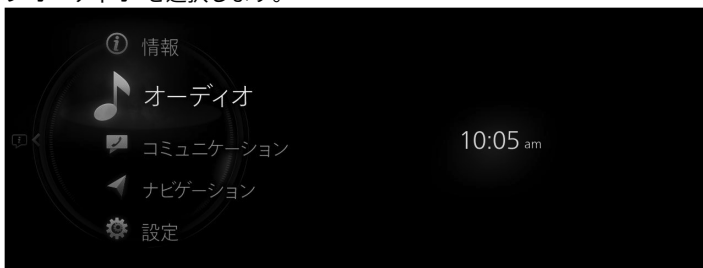
本機に記憶された放送局名は、放送局名称の変更などによって最新とは異なる場合があります。

Bluetooth®

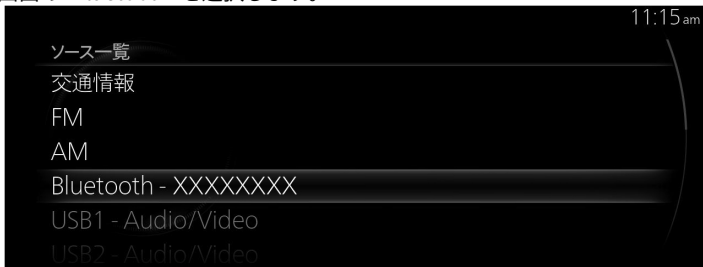
Bluetooth®オーディオ機器に保存されている音楽や音声を、センターディスプレイで操作するために Bluetooth® オーディオモードに切り替えてください。使用する前に Bluetooth® オーディオ機器をマツダコネク트에登録する必要があります。

→2-117 ページ「通信」

1. Bluetooth®オーディオ機器の電源を ON にします。
2. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



3. ソース一覧画面の“Bluetooth”を選択します。

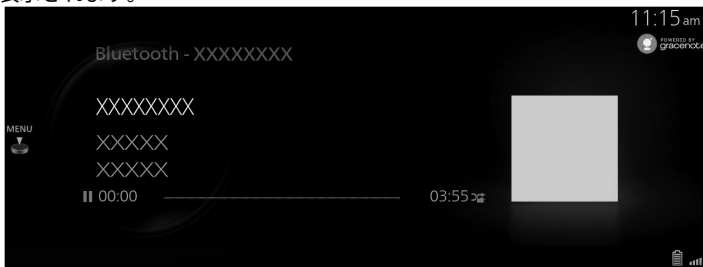


知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンダースイッチのを押すと、ソース一覧画面が表示されます。

4. 再生画面が表示されます。



を回すと、“再生リスト”を表示します。

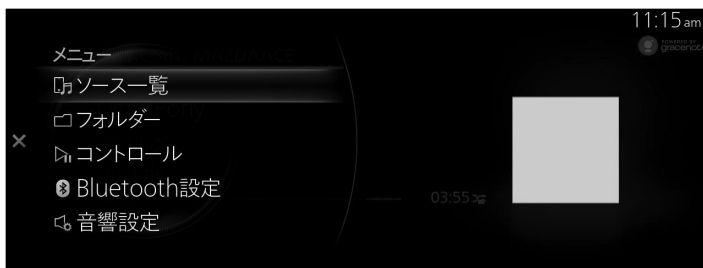
MENU

が表示されているときにを押すと、メニューを表示します。

知識

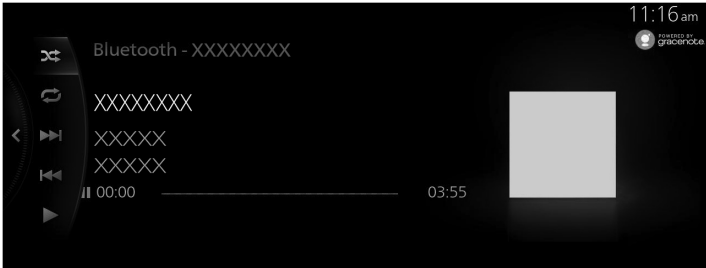
- ・ 機器側でアプリケーション画面を表示していない場合、マツダコネクで Bluetooth®オーディオの再生ができないことがあります。
- ・ Bluetooth®オーディオ機器の再生が始まらない場合は、手動で再生を始める必要があります。
Bluetooth®オーディオメニューから“コントロール”を選択し、▶を選択してください。
- ・ モードが Bluetooth®オーディオモードから他のモード（ラジオモードなど）に切り替わると、Bluetooth®オーディオ機器からの再生は停止します。

Bluetooth®オーディオメニュー



メニュー	説明
ソース一覧	“ソース一覧”画面を表示します。 オーディオのソースを切り替えることができます。
フォルダー	一番上の階層のフォルダ/ファイルを表示します。 フォルダを選択すると、フォルダ内のファイルが表示されます。 聞きたいファイルを選択すると、聞きたいファイルの再生が始まります。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。 各アイコンの操作方法はコントロール画面 (アイコン) の使いかたを参照してください。
Bluetooth 設定	Bluetooth® の設定を変更できます。 →2-117 ページ「通信」
音響設定	音質の調節をします。 →2-106 ページ「サウンド」

コントロール画面 (アイコン) の使いかた



 を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン		説明
		現在選択しているフォルダ内の曲をランダム再生します。
		全ての曲をランダム再生します。
		ランダム再生を解除します。
		再生中の曲をリピート再生します。
		現在選択しているフォルダ内の曲をリピート再生します。
		リピート再生を解除します。
		次のアルバムの頭に進みます。
		前のアルバムの頭にもどります。
		次の曲の頭に進みます。長押しすると早送りをします。離すと止まります。

アイコン	説明
	前の曲の頭にもどります。 長押しすると早もどしをします。離すと止まります。
	(一時停止中に選択すると) 曲を再生します。
	(再生中に選択すると) 一時停止します。

知識

Bluetooth®オーディオ機器によっては、一部アイコンが表示されない場合があります。

Bluetooth® オーディオ機器情報表示

Bluetooth® オーディオ機器を接続すると、次の情報が画面に表示されます。

情報		AVRCP Ver. 1.3 未 満	AVRCP Ver. 1.3	AVRCP Ver. 1.4 以 上
プレイリスト情報	曲名リスト	—	—	○
	ファイル名	—	—	○
	フォルダの種類 (アーティスト、アルバム、ジャンルなど)	—	—	○
再生曲情報	曲名	—	○	○
	アルバム名	—	○	○
	アーティスト名	—	○	○
	再生時間	○	○	○

○: 表示
—: 非表示



知識

機器によっては、一部の情報が表示できない場合があります。

USB1 Audio/USB2 Audio

市販の USB メモリーや音楽プレイヤーを本機の USB 端子に接続することで、オーディオ再生することができます。

警告

USB 端子に接続したコードが、セレクトレバーに絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

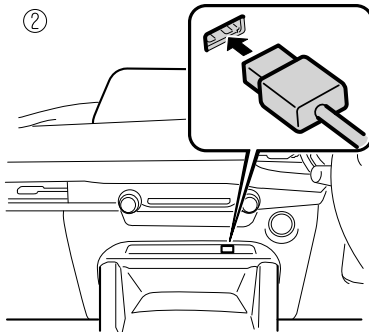
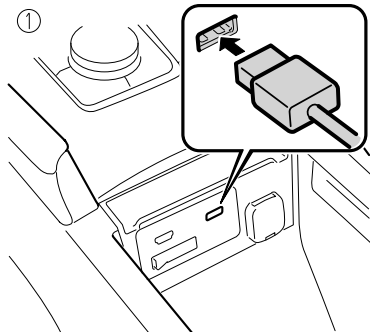
- プラグを接続した状態で、USB 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。
- 接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります（ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください）。
- USB オーディオとして接続しているデバイスを、Bluetooth® オーディオとして本機に接続しないでください。正常に操作できなくなったり、予期しない動作を引き起こすことがあります。
- USB ポートに SD カードリーダーや USB ハブを接続しないでください。カードに書き込まれた音楽の再生には対応していません。ナビゲーションシステムが使用できなくなることがあります。またマウスやキーボードも接続しないでください。
- USB オーディオ機器を車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温となり、故障の原因になります。
- SD カードスロットは、ナビゲーションシステム用です。ナビゲーションシステム用の SD カード（マツダ純正品）を差し込んで使用します。音楽ファイルが保存された SD カードを挿入しても再生できません。

知識

- ・ 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
- ・ ご使用前に、市販のポータブルオーディオの取扱説明書をよくお読みください。
- ・ エンジンをつめたまま、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- ・ プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。
- ・ 本機では USB2.0/1.1 規格に対応したデバイスが利用できます。USB3.0 規格品であっても USB2.0 と互換のある機材であれば、USB2.0 デバイスとして利用可能です。

機器を接続する

USB ケーブルで、車両と USB オーディオ機器を接続します。プラグの抜き差しは USB 端子の穴に対して垂直におこなってください。



1. コンソールボックス取り付けタイプ
 2. インストルメントパネル取り付けタイプ
- USB 端子の位置は車種により異なります。

音楽を再生する



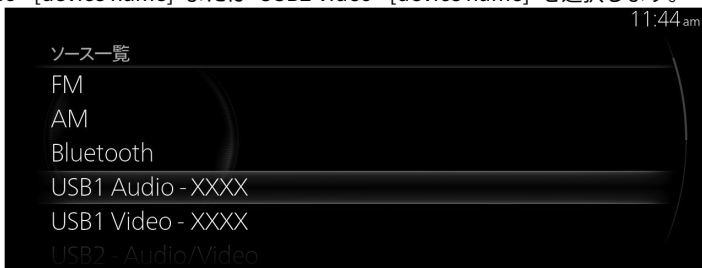
知識

- ・ USB メモリを使用する場合、容量や保存されたファイル数によっては再生できるまで時間がかかることがあります。
- ・ アルバムアートのサイズによっては、アルバムアートが表示できない場合があります。

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. “USB1 Video - [device name]”または“USB2 Video - [device name]”を選択します。

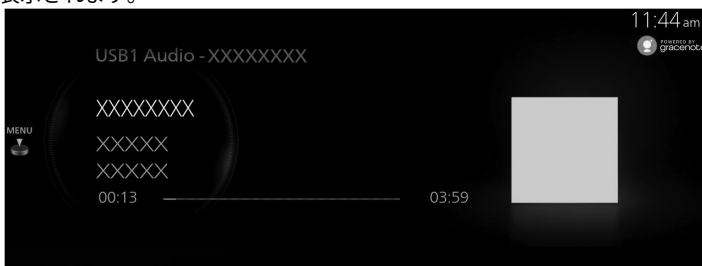


知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンドースイッチの🎵を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

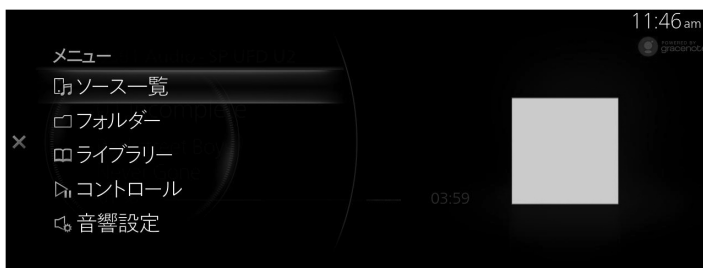
3. 再生画面が表示されます。



🔍 を回して“曲一覧”を表示します。

🔍 が表示されているときに🔍を押してメニューを表示します。

USB オーディオメニュー



メニュー	説明
ソース一覧	“ソース一覧”画面を表示します。オーディオのソースを切り替えることができます。
フォルダー*1	フォルダリストを表示します。フォルダから聴きたい楽曲が選択できます。
プレイリスト*2	プレイリストを表示します。プレイリストから聴きたい楽曲が選択できます。
ライブラリー	“ライブラリー”画面を表示します。アルバムやアーティストなど、再生するカテゴリーを選択できます。 詳しくは[ライブラリから曲を選択したいとき]を参照してください。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します 各アイコンの操作方法は [コントロール画面 (アイコン) の使いかた] を参照してください。
音響設定	音質を調節します。 →2-106 ページ「サウンド」

*1 Apple 製品以外を接続したときに表示されます。

*2 Apple 製品を接続したときに表示されます。

ライブラリから曲を選択したいとき

1. ライブラリー画面から、カテゴリーを選択します。



2. カテゴリーリストから曲の再生方法を選択します。

カテゴリー	説明
プレイリスト*1	プレイリスト一覧が表示され、選択したプレイリストをトラックリストとして再生します。
アーティスト	アーティスト一覧が表示され、選択したアーティストのアルバムまたは全曲をトラックリストとして再生します。

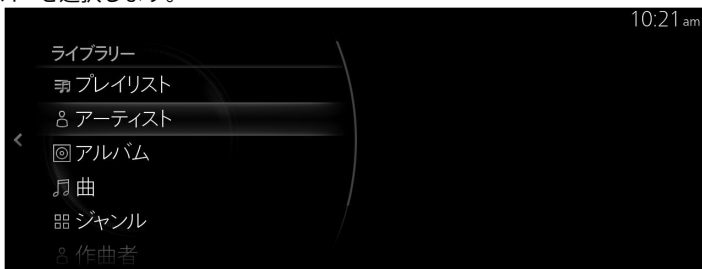
カテゴリー	説明
アルバム	アルバム一覧が表示され、選択したアルバムをトラックリストとして再生します。
曲	全ての曲の一覧が表示され、全ての曲をトラックリストとして再生します。また、アルファベット検索や 50 音検索で聞きたい曲が探せます。
ジャンル	曲のジャンル一覧が表示され、選択したジャンルの中でアーティスト別やアルバム別、またはすべての曲をトラックリストとして再生します。
作曲者	作曲者一覧が表示され、選択した作曲者のアルバムまたはすべての曲をトラックリストとして再生します。
ポッドキャスト*2	Podcast のリストが表示され、選択したエピソードを再生します。
オーディオブック*2	オーディオブックのリストが表示され、選択したチャプターを再生します。

*1 Apple 製品以外を接続したときに表示されます。

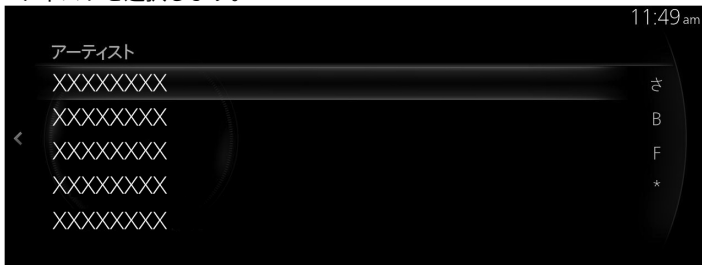
*2 Apple 製品を接続したときに表示されます。

使用例 (アーティストを選んで曲を再生するとき)

1. “アーティスト”を選択します。

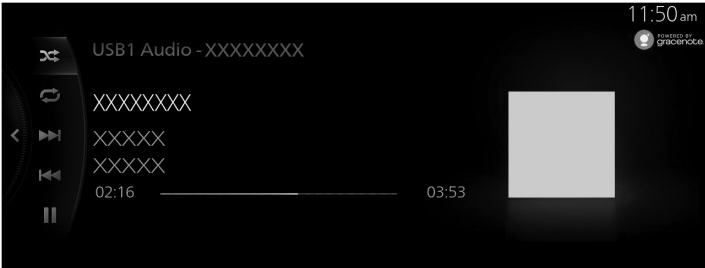


2. 聞きたいアーティストを選択します。



3. 表示された曲名の一覧から聞きたい曲名を選択します。選択した曲が再生されます。

コントロール画面 (アイコン) の使いかた



 を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン		説明
	USB メモリーや音楽プレイヤーなど、Apple 製品以外の USB 機器を接続しているとき	
		現在選択しているフォルダ、またはアルバム内の曲をランダム再生します。
		全ての曲をランダム再生します。
		ランダム再生を解除します。
	Apple 製品を接続しているとき	
		現在選択しているアルバム内の曲をシャッフル再生します。
		シャッフル再生を解除します。
		再生中の曲をリピート再生します。
		現在選択しているフォルダ、プレイリスト、またはアルバム内の曲をリピート再生します。
		リピート再生を解除します。

アイコン	説明
	次の曲の頭に進みます。長押しすると早送りをします。離すと止まります。
	前の曲の頭にもどります。長押しすると早もどきをします。離すと止まります。
	(一時停止中に選択すると) 曲を再生します。
	(再生中に選択すると) 一時停止します。

USB オーディオ再生時に表示されるアルバムアートについて

USB オーディオ機器でオーディオを再生した場合、車両に収録されているデータベースの中からアルバムアートを検索し、データベースに収録されているとアルバムアートを表示します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote®音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

知識

- ・ 自動で付与されたアルバムアートは、実際と異なる場合があります。
- ・ 音楽データの取り込み方によっては、アルバムアートが表示されないことがあります。

アルバムアート優先表示

USB オーディオ機器内に保存されているアルバムアートと Gracenote®データベースのアルバムアートのどちらを優先して表示するかを変更することができます。

→ 2-127 ページ「システム」

データベースを更新する

USB オーディオ機器を使用して Gracenote® データベースを更新することができます。

システム画面から、「Gracenote データベース更新」を選択します。

→ 2-127 ページ「システム」

USB1 Video/USB2 Video

市販の USB メモリーを本機の USB 端子に接続することで、ビデオ再生することができます。

警告

USB 端子に接続したコードが、セレクトレバーに絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

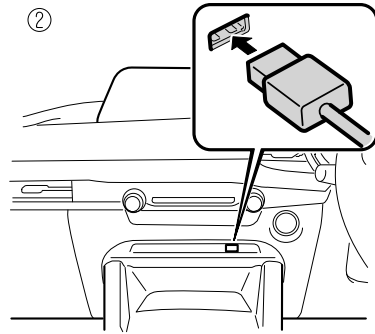
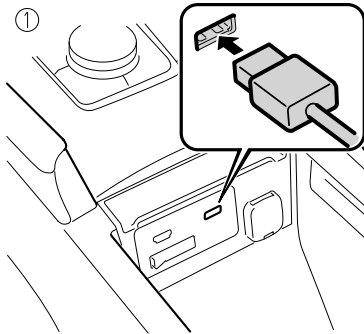
- プラグを接続した状態で、USB 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。
- 接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります (ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください)。
- USB ビデオとして接続しているデバイスを、同時に Bluetooth® オーディオとして本機に接続しないでください。正常に操作できなくなったり、予期しない動作を引き起こすことがあります。
- USB ポートに SD カードリーダーや USB ハブを接続しないでください。カードに書き込まれた音楽の再生には対応していません。ナビゲーションシステムが使用できなくなることがあります。またマウスやキーボードも接続しないでください。
- USB オーディオ機器を車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温となり、故障の原因になります。
- SD カードスロットは、ナビゲーションシステム用です。ナビゲーションシステム用の SD カード (マツダ純正品) を差し込んで使用します。音楽ファイルが保存された SD カードを挿入しても再生できません。

知識

- ・ 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
- ・ ご使用前に、市販のポータブルオーディオの取扱説明書をよくお読みください。
- ・ エンジン进行を止めたままで、ビデオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- ・ プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。
- ・ 本機では USB2.0/1.1 規格に対応したデバイスが利用できます。USB3.0 規格品であっても USB2.0 と互換のある機材であれば、USB2.0 デバイスとして利用可能です。

機器を接続する

USB ケーブルで、車両と USB オーディオ機器を接続します。プラグの抜き差しは USB 端子の穴に対して垂直におこなってください。



1. コンソールボックス取り付けタイプ
 2. インストルメントパネル取り付けタイプ
- USB 端子の位置は車種により異なります。

ビデオを再生する



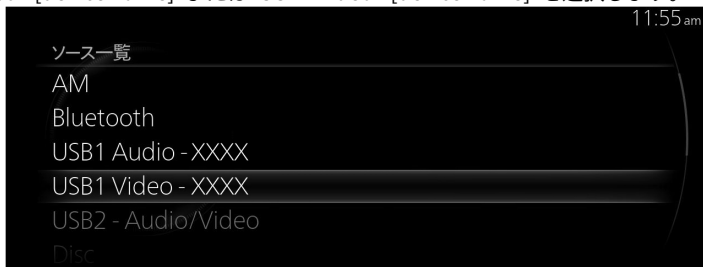
知識

- ・ USB メモリを使用する場合、容量や保存されたファイル数によっては再生できるまで時間がかかることがあります。
- ・ ビデオの再生は Apple 製品以外の USB メモリーや USB オーディオ機器に対応しています。

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. “USB1 Video - [device name]”または“USB2 Video - [device name]”を選択します。



知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンダースイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

3. 再生画面が表示されます。



知識

安全のため、走行中は映像が表示されず音声のみになり、一部の機能が制限されます。



 を回してビデオのリストを表示します。

 が表示されているときに  を押してメニューを表示します。

USB ビデオメニュー



メニュー	説明
ソース一覧	“ソース一覧”画面を表示します。オーディオのソースを切り替えることができます。
フォルダー	“フォルダー”画面を表示します。 フォルダリストが表示され、フォルダから視聴したいビデオを選択できます。 選択方法については、[フォルダからビデオを選択したいとき]を参照してください。フォルダがない場合はフォルダ選択画面が省略されてファイル選択画面に移行します。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。 各アイコンの操作方法は [コントロール画面 (アイコン) の使いかた] を参照してください。
画面サイズ設定	画面サイズを“ワイドスクリーン”/“レターボックス”/“パンスカン”に切り替えることができます。
音響設定	音質を調節します。 →2-106 ページ「サウンド」

フォルダからビデオを選択したいとき

1. “フォルダー”画面から、フォルダを選択します。



2. フォルダを選ぶと、フォルダ内のファイルリストが表示されます。



3. 視聴したいビデオを選択すると再生します。

コントロール画面 (アイコン) の使いかた

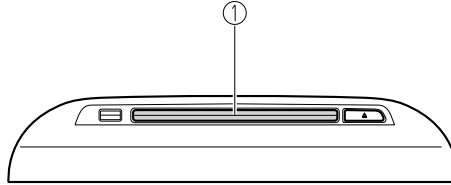


 を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン	説明
	次のビデオの頭に進みます。 長押しすると早送りをします。離すと止まります。
	前のビデオの頭にもどります。長押しすると早もどしをします。離すと止まります。
	ビデオをスロー再生にします。
	(停止中に選択すると) ビデオを再生します。 (スロー再生中に選択すると) スロー再生を解除します。
	(再生中に選択すると) 一時停止します。
	ビデオを停止します。

CD*

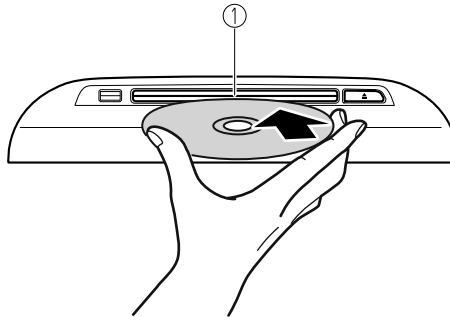
ディスクを本機にセットする



1. ディスク差し込み口

CD/DVD プレイヤーの形状は車種により異なります。

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. ディスクのラベル面を上にして、ディスク差し込み口に軽く押し込みます。ディスクが自動的に送り込まれ、再生を始めます。



1. ディスク差し込み口



知識

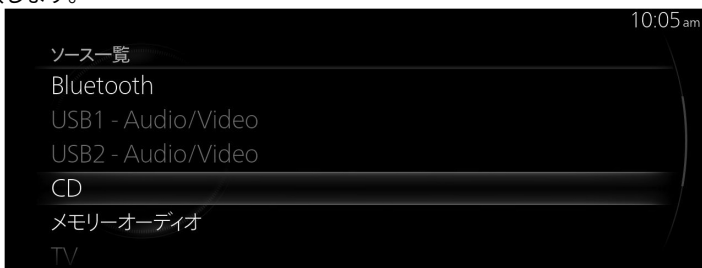
- ・ 12cmCD サイズ専用です。8cmCD (シングル) サイズは、アダプタを使用しても再生することはできません。8cmCD アダプタを使用すると故障の原因になります。
- ・ 曲が始まる前に、CD のデジタル信号を読み取るため、少し時間がかかります。
- ・ **(音楽 CD)**
自動録音が有効になっているときは、CD をセットすると録音を開始します。

CD 再生画面へ移動する

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



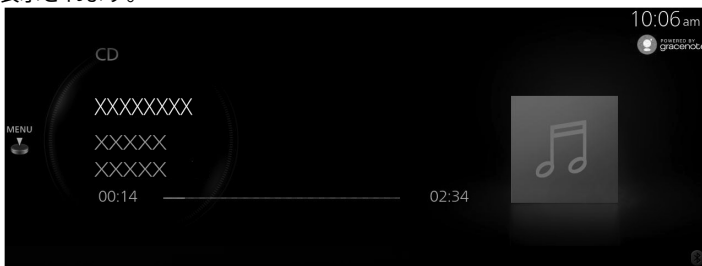
2. “CD”を選択します。



知識

- ・視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。
- 再生画面でコマンダースイッチのを押すと、ソース一覧画面が表示されます。
- ・ディスクが挿入されていない場合は、Disc と表示されますが、選択することはできません。

3. 再生画面が表示されます。



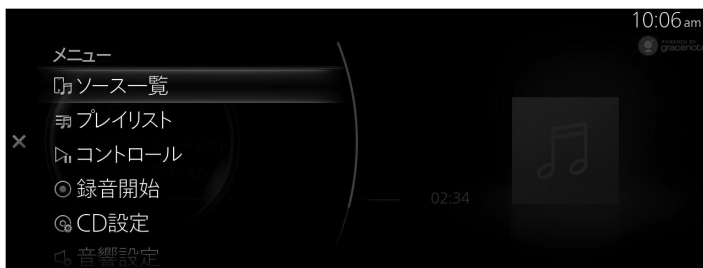
を回して曲のリストを表示します。



が表示されているときにを押してメニューを表示します。

 知識

- ・本機は CD-TEXT 対応です。CD-TEXT 対応ディスクの再生時は曲名やアーティスト名などの楽曲情報が表示されます。
- ・MP3/WMA/AAC CD では音楽ファイル作成時に楽曲情報が埋め込まれていれば楽曲情報が表示されます。

CD メニュー

メニュー	説明
ソース一覧	ソース一覧画面を表示します。 オーディオのソースを切り替えることができます。
プレイリスト	(音楽 CD) プレイリストを表示します。プレイリストから聴きたい楽曲が選択できます。
フォルダー	(MP3/WMA/AAC CD) フォルダリストを表示します。フォルダから聴きたい楽曲が選択できます。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。 各アイコンの操作方法は、コントロール画面 (アイコン) の使いかたを参照してください。
録音開始	(音楽 CD) CD を録音します。 録音した曲はメモリーオーディオで再生できます。 → 2-68 ページ「メモリーオーディオ」
録音停止	(音楽 CD) 録音を中止します。
CD 設定	(音楽 CD) CD 設定画面を表示します。 CD の録音の設定ができます。

メニュー	説明
音響設定	音質を調節します。 →2-106 ページ「サウンド」

 知識

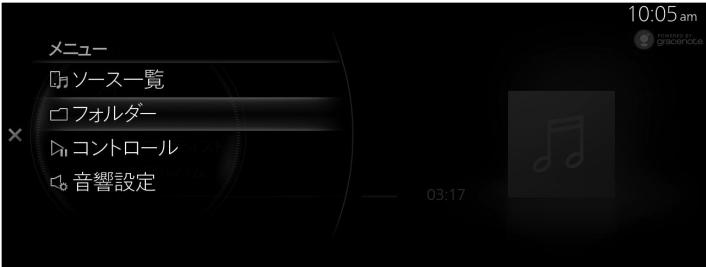
- ・ 録音開始を選択すると、CD 内のすべての曲を録音します。
- ・ 本機に保存可能な最大容量は 8 GB、最大曲数は 9999 曲です。

(MP3/WMA/AAC CD)

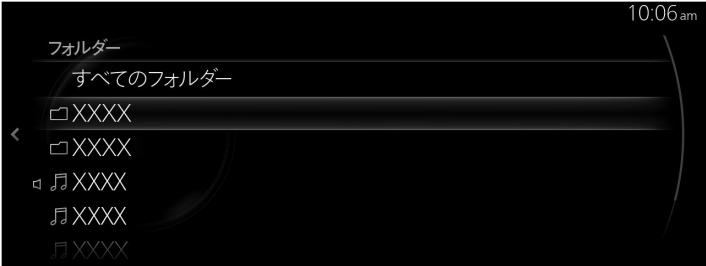
リストの上から順に再生されます。
フォルダが存在する場合は、そのフォルダの中にある曲を再生してから、次のフォルダ/ファイルリストを再生します。
フォルダに再生可能な曲がない場合は、次のフォルダ/ファイルリストを再生します。

使用例 (MP3/WMA/AAC CD の一番上の階層から曲を探すとき)

1. “フォルダー”を選択して、一番上の階層のフォルダ/ファイルリストを表示します。



2. フォルダを選ぶと、そのフォルダの中のフォルダ/ファイルリストが表示されます。



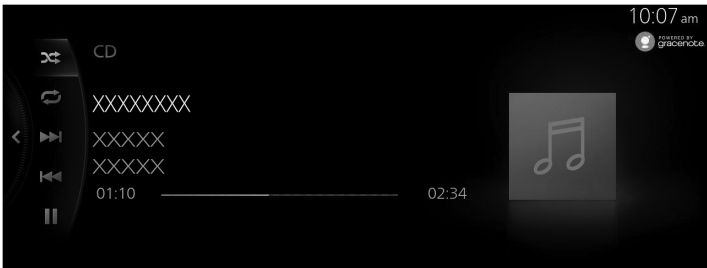
3. 聞きたいファイルを選択します。



 知識

- ・  を左にスライドすると、一つ上のフォルダに移動します。
- ・ CD を取り出すと、CD の前に再生していたオーディオソースに移動します。

コントロール画面 (アイコン) の使いかた



 を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン		説明
		現在選択しているフォルダ内または CD 内の曲をランダム再生します。
		(MP3/WMA/AAC CD) 全てのフォルダ内の曲をランダム再生します。
		ランダム再生が解除されている状態を示します。

アイコン		説明
		再生中の曲をリピート再生します。
		(MP3/WMA/AAC CD) 現在選択しているフォルダ内の曲をリピート再生します。
		リピート再生が解除されている状態を示します。
		次の曲の頭に進みます。 長押しすると早送りをします。離すと止まります。
		前の曲の頭にもどります。 長押しすると早もどきをします。離すと止まります。
		(一時停止中に選択すると) 曲を再生します。
		(再生中に選択すると) 一時停止します。

CD 設定



CD の録音の設定ができます。

機能	説明
自動録音	CD 挿入時の自動録音を有効/無効を切り替えます。
選択して録音	曲を選択して録音します。
録音音質設定	録音音質を切り替えます (標準(128kbps)または高音質(256kbps))。

CD 再生時に表示される楽曲情報について

CD/DVD プレイヤーでオーディオを再生した場合、車両に収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトル、アルバムアートを検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します (MP3/WMA/AAC CD は、アルバムアートのみ)。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote®音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

知識

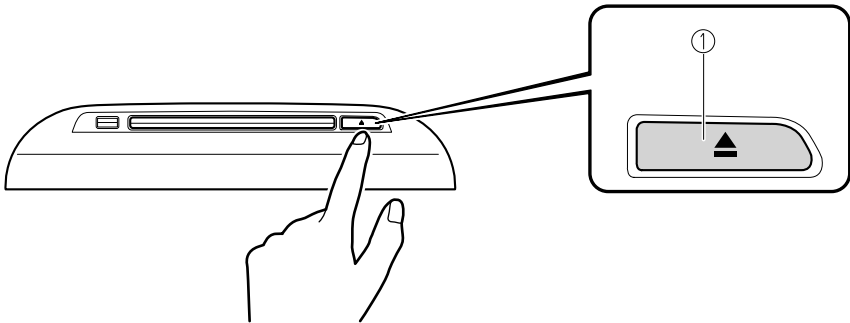
- ・ 自動で付与された情報は、実際と異なる場合があります。
- ・ Gracenote® データベースに登録がない楽曲でも、音楽ファイルに楽曲情報があれば楽曲情報が表示されます。
- ・ 音楽データの取り込み方によっては、楽曲情報が表示されないことがあります。

データベースを更新する

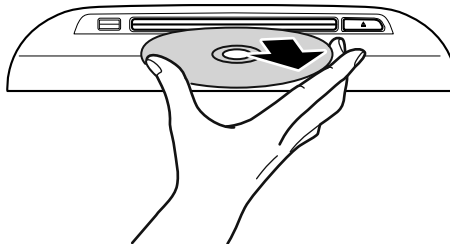
USB オーディオ機器を使用して Gracenote® データベースを更新することができます。
システム画面から、“Gracenote データベース更新”を選択します。
→2-127 ページ「システム」

ディスクを取り出すとき

1.  ボタンを押します。

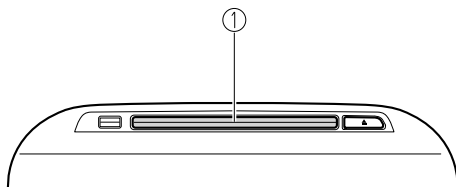


1. EJECT ボタン
2. ディスクの端を持って取り出します。



DVD*

DVD を本機にセットする

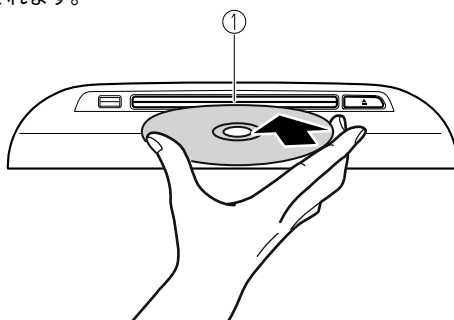


1. DVD 差し込み口

CD/DVD プレイヤーの形状は車種により異なります。

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。

2. DVD のラベル面を上にして、DVD 差し込み口に軽く押し込みます。DVD が自動的に送り込まれ、DVD の再生画面が表示されます。



1. DVD 差し込み口



知識

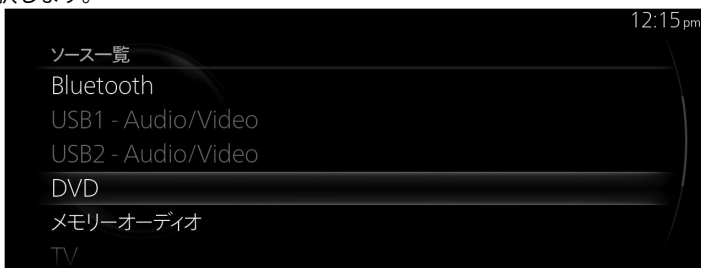
- ・ 12cmDVD サイズ専用です。8cmDVD サイズは、アダプタを使用しても再生することはできません。8cmDVD アダプタを使用すると故障の原因になります。
- ・ 曲が始まる前に、DVD のデジタル信号を読み取るため、少し時間がかかります。
- ・ DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW に記録された音楽の再生については、CD の項目をご参照ください。
→ 2-51 ページ「CD」

DVD 再生画面へ移動する

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. “DVD”を選択します。



知識

- ・視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンダースイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

- ・ディスクが挿入されていない場合は、Disc と表示されますが、選択することはできません。

3. 再生画面が表示されます。



知識

- ・安全のため、走行中は映像が表示されず音声のみになり、一部の機能が制限されます。

知識

- ・ DVD の再生を止めた後に DVD モードに切り替えると、DVD のメニュー画面を表示せずに再生を再開します。
- ・ DVD 再生中に他のオーディオに切り替える場合、DVD は一時停止状態になります。


MENU

を回してチャプターを表示します。

が表示されているときにを押してメニューを表示します。

DVD メニュー



メニュー	説明
ソース一覧	ソース一覧画面を表示します。 オーディオのソースを切り替えることができます。
チャプター一覧	チャプターリストを表示します。チャプターリストから視聴したいビデオを選択します。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。 各アイコンの操作方法は、コントロール画面 (アイコン) の使いかたを参照してください。
カーソル操作	(DVD Video) DVD メニュー画面でカーソルを移動させ、コンテンツを選択します。 上下左右の矢印でお好みの位置に移動させ、 OK を選択します。
Disc メニュー	(DVD Video) DVD のトップメニューを表示します。
タイトルメニュー	(DVD Video) DVD のタイトルメニューを表示します。
タイトル番号入力	再生したい DVD のタイトル番号を指定して再生します。 DVD のタイトル番号を入力して  を選択します。

メニュー	説明
DVD 設定	DVD の設定をします。 詳しくは、DVD 設定を参照してください。
音響設定	音質を調節します。 →2-106 ページ「サウンド」

コントロール画面 (アイコン) の使いかた



を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン	説明
	次のビデオの頭に進みます。 長押しすると早送りをします。離すと止まります。
	前のビデオの頭にもどります。 長押しすると早もどしをします。離すと止まります。
	(停止中に選択すると) ビデオを再生します。 (スロー再生中に選択すると) スロー再生を解除します。
	(再生中に選択すると) 一時停止します。
	ビデオをスロー再生にします。
	ビデオを停止します。
	タイトルメニューにもどります。

DVD 設定



 を回して操作したいアイコンを選択します。

メニュー	説明
字幕	字幕の設定を変更します。 字幕の種類を選択したり、字幕を OFF にできます。
音声	音声の設定を変更します。 音声の種類を選択できます。
二重音声	(DVD VR) 主音声/副音声を切り替えます。
アングル	(DVD Video) カメラアングルを変更します。
マルチアングルマーク	(DVD Video) マルチアングルマークの表示の有効/無効を切り替えます。
画面サイズ設定	画面サイズを変更します。 “ワイド”/“レターボックス”/“パンスキャン”から選択できます。
ペアレンタルロック設定	(DVD Video) ペアレンタルロック設定画面を表示します。 視聴制限レベルの変更や、PIN コードの設定・変更・リセットをすることができます。操作方法は、ペアレンタルロック (視聴制限設定) を参照してください。

ペアレンタルロック (視聴制限設定)

DVD には視聴制限レベルが設定されたものがあります。
DVD の視聴制限レベルが本機側で設定した設定レベル以上の場合は、再生できません。視聴制限レベルの変更、PIN コードの設定・変更・変更リセットをすることができます。
ペアレンタルロック機能を使用するには、PIN コードの設定が必要です。

PIN コード（4桁）を設定する

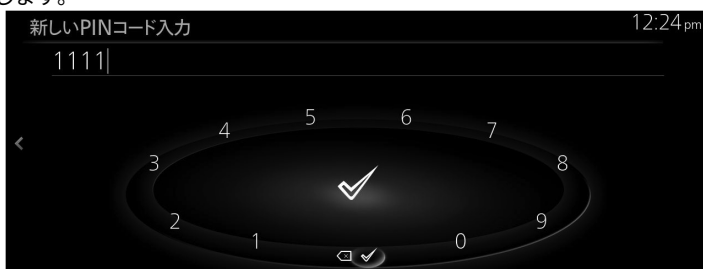
1. “PIN コード変更”を選択します。



2. 新しい PIN コードを入力します。

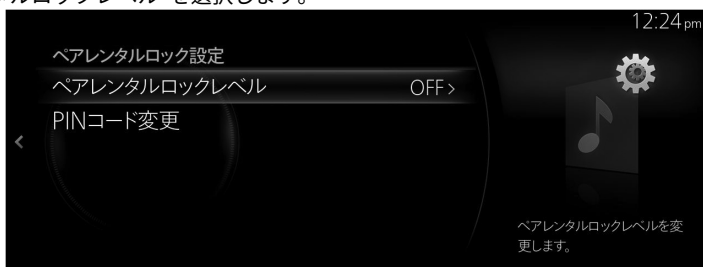


3. ✓ を選択します。



視聴制限レベルを変更する

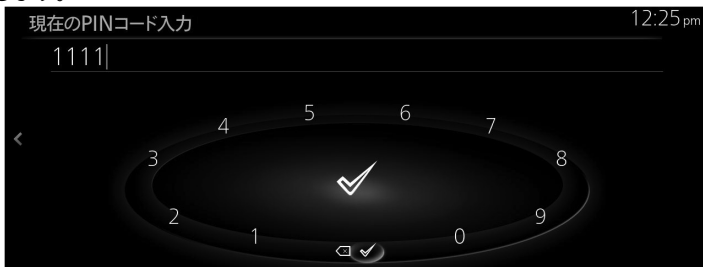
1. “ペアレンタルロックレベル”を選択します。



2. PIN コードを入力します。



3. ✓ を選択します。



4. “OFF”、または、“8 (制限レベル 低)”～“1 (制限レベル 高)”の中からお好みの制限レベルを選択します。



PIN コードを変更する

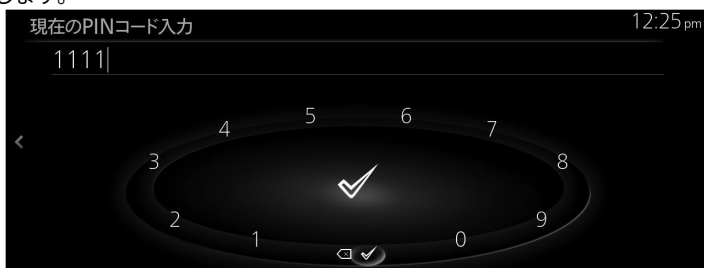
1. “PIN コード変更”を選択します。



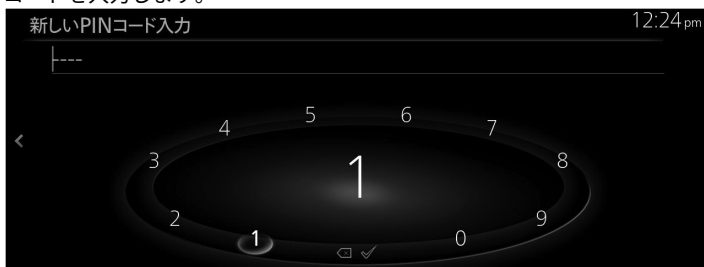
2. 現在の PIN コードを入力します。



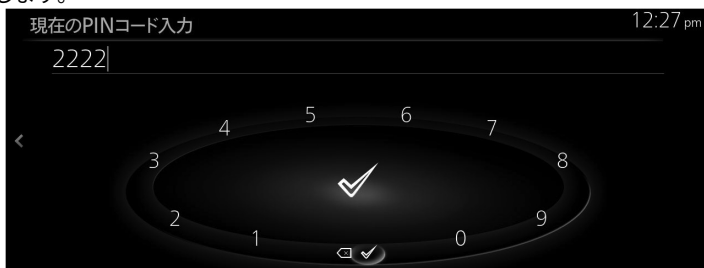
3. ✓ を選択します。



4. 新しい PIN コードを入力します。



5. ✓ を選択します。



PIN コードをリセットする

登録した PIN コードを忘れたときは、次の手順でリセットすることができます。

1. “PIN コード変更”を選択します。



2. 何も入力していない状態で、 を 10 回選択します。



ロックされた DVD を再生する

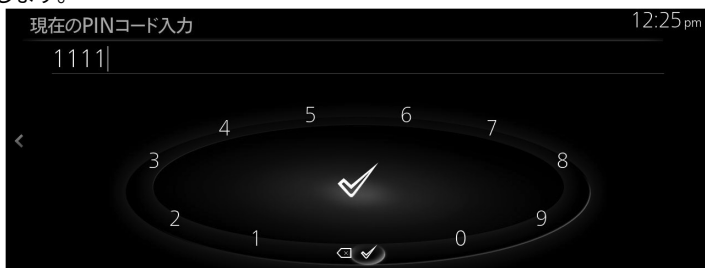
再生しようとしている DVD が設定した視聴制限によってロックされた場合は、PIN コードを入力して解除します。

1. ロックされた DVD を再生すると、PIN コード入力画面が表示されます。



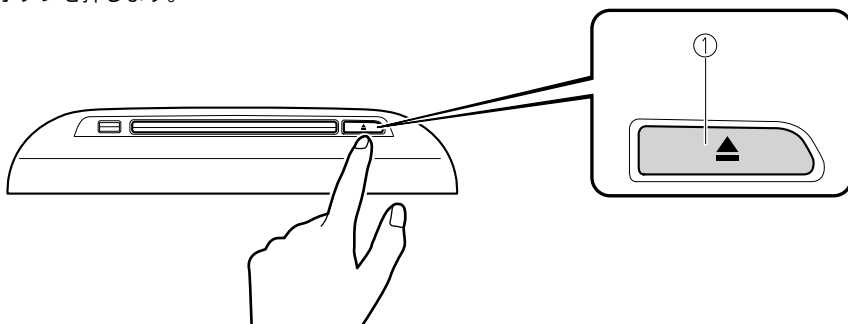
2. 現在の PIN コードを入力します。

3. ✓ を選択します。

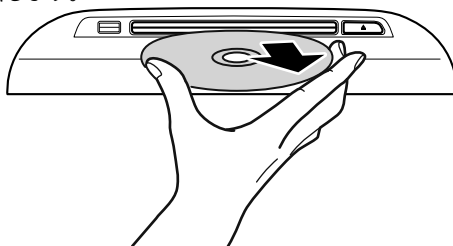


DVDを取り出すとき

1. ▲ ボタンを押します。



1. EJECT ボタン
2. DVD の端を持って取り出します。



メモリーオーディオ*

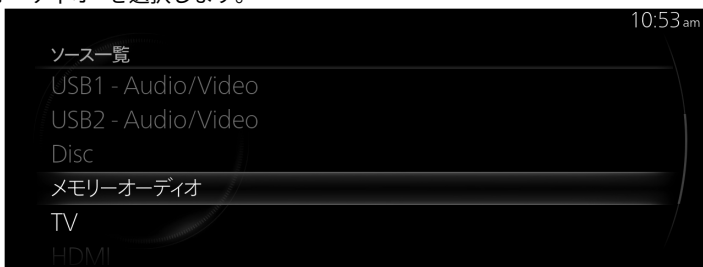
本機に録音した CD の音楽を再生することができます。

音楽を再生する

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. “メモリーオーディオ”を選択します。

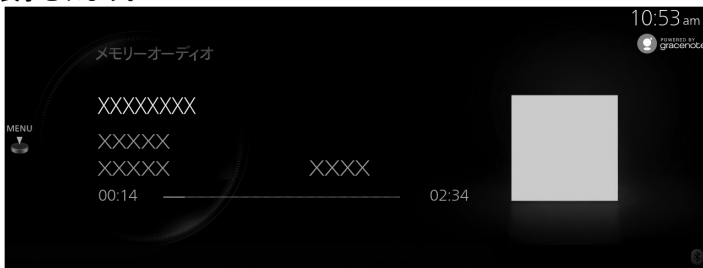


知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンドースイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

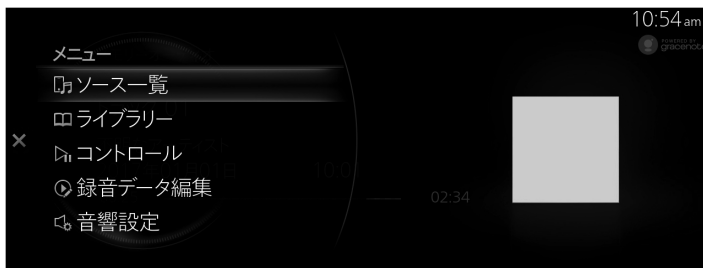
3. 再生画面が表示されます。



を回して曲のリストを表示します。

が表示されているときに  を押してメニューを表示します。

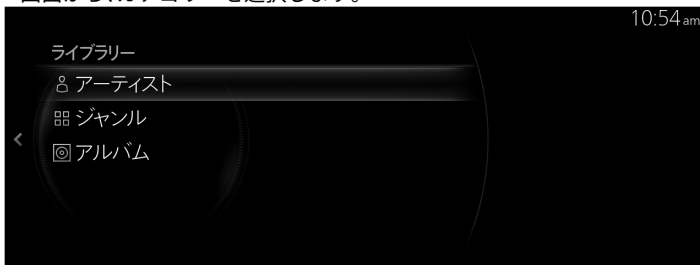
メモリーオーディオメニュー



メニュー	説明
ソース一覧	“ソース一覧”画面を表示します。 オーディオのソースを切り替えることができます。
ライブラリー	“ライブラリー”画面を表示します。 ジャンルやアーティストなど、再生するカテゴリーを選択できます。 詳しくは [ライブラリーから曲を選択したいとき] を参照してください。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。 各アイコンの操作方法は [コントロール画面 (アイコン) の使いかた] を参照してください。
録音データ編集	録音データ編集画面を表示します。 詳しくは [録音データ編集] を参照してください。
音響設定	音質を調節します。 →2-106 ページ「サウンド」

ライブラリーから曲を選択したいとき

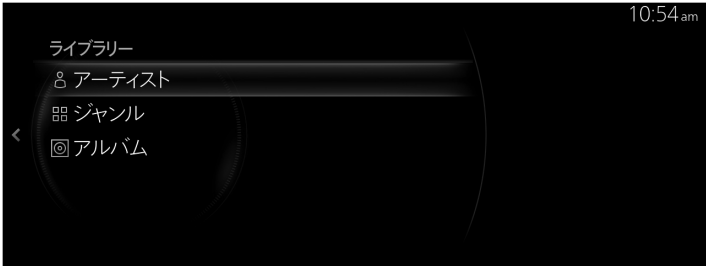
1. ライブラリー画面から、カテゴリーを選択します。



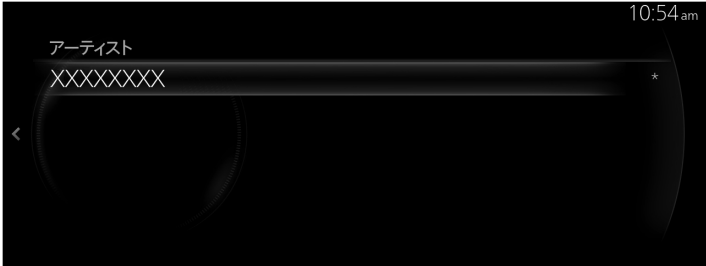
カテゴリー	説明
アーティスト	アーティスト一覧が表示され、選択したアーティストのアルバムをトラックリストとして再生します。
ジャンル	アーティスト一覧が表示され、選択したアーティストのアルバムをトラックリストとして再生します。
アルバム	アルバム一覧が表示され、選択したアルバムをトラックリストとして再生します。

使用例 (アーティストを選んで曲を再生するとき)

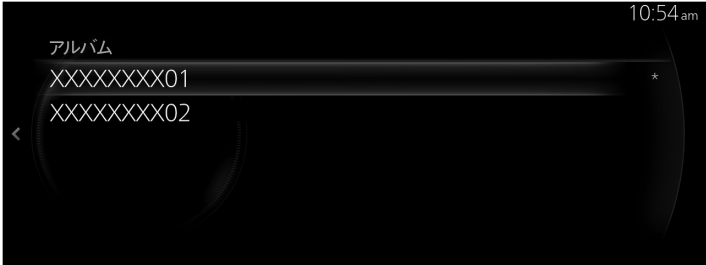
1. “アーティスト”を選択します。



2. 聞きたいアーティストを選択します。

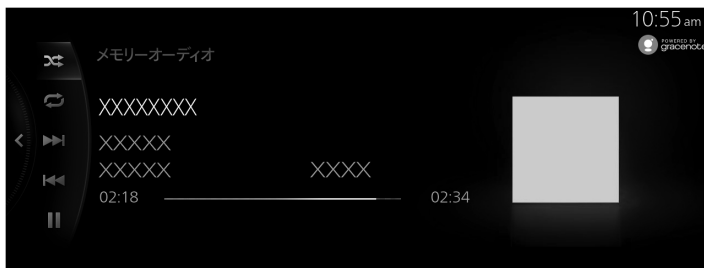


3. 表示されたアルバムから、聞きたいアルバムを選択します。



4. 表示された曲名の一覧から聞きたい曲名を選択します。選択した曲が再生されます。

コントロール画面 (アイコン) の使いかた



 を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン		説明
		現在選択しているアルバム内の曲をランダム再生します。
		全ての曲をランダム再生します。
		ランダム再生を解除します。
		再生中の曲をリピート再生します。
		現在選択しているアルバム内の曲をリピート再生します。
		リピート再生を解除します。
		次の曲の頭に進みます。 長押しすると早送りをします。離すと止まります。
		前の曲の頭にもどります。 長押しすると早もどしをします。離すと止まります。
		(一時停止中に選択すると) 曲を再生します。
		(再生中に選択すると) 一時停止します。

録音データ編集



録音データの編集ができます。

機能	説明
データ削除	録音したアルバム、または曲を削除します。
楽曲情報更新	車両に収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、更新します。

メモリーオーディオ再生時に表示される楽曲情報について

CDの曲を録音するとき、車両に収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与し、メモリーオーディオ再生時に表示します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote®音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

知識

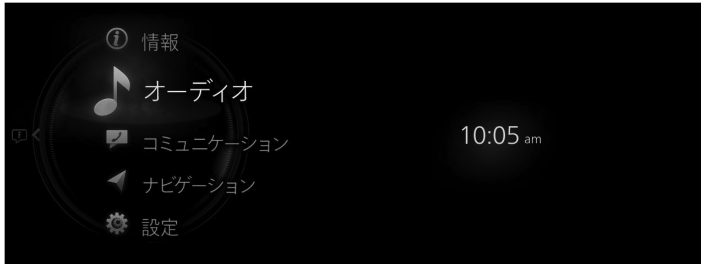
- ・自動で付与された情報は、実際と異なる場合があります。
- ・Gracenote®データベースに登録がない楽曲でも、音楽ファイルに楽曲情報があれば楽曲情報が表示されます。
- ・音楽データの取り込み方によっては、楽曲情報が表示されないことがあります。
- ・録音するときにアルバム名を取得できなかった場合、録音日時がアルバム名として表示されます。

データベースを更新する

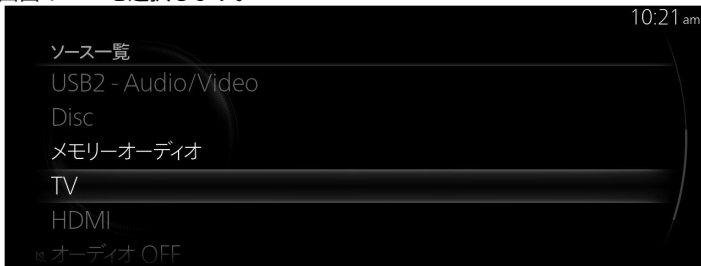
USB オーディオ機器を使用して Gracenote® データベースを更新することができます。
システム画面から、“Gracenote データベース更新”を選択します。
→2-127 ページ「システム」

TV*

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



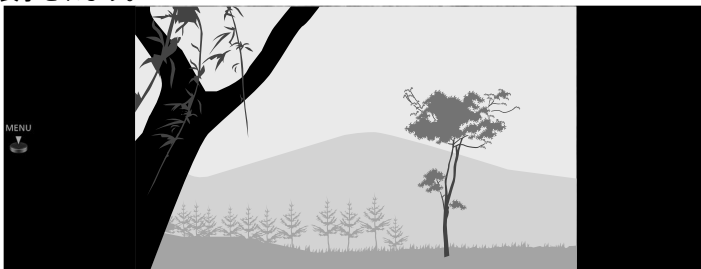
2. ソース一覧画面の“TV”を選択します。

 知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンドースイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

3. 再生画面が表示されます。

 知識

安全のため、走行中は映像が表示されず音声のみになり、一部の機能が制限されます。



を回して、TV の放送局一覧を表示します。



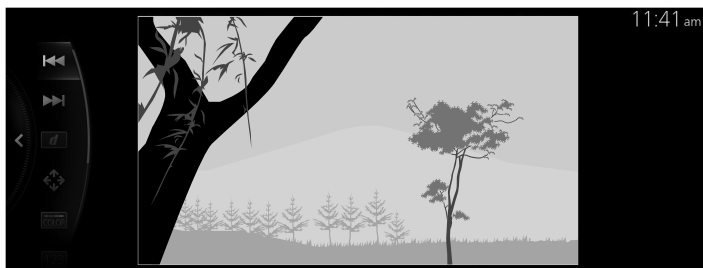
が表示されているときに  を押してメニューを表示します。

TV メニュー



メニュー	説明
ソース一覧	ソース一覧画面を表示します。 オーディオのソースを切り替えることができます。
放送局一覧	放送局リストが表示され、視聴したい放送局を選択できます。 リストの種別を選択できます。詳しくは、[放送局リストの種別を変更する]を参照してください。
番組表	番組表が表示され、視聴したい放送局を選択できます。 現在放送していない番組を選択すると、番組情報が表示されます。  知識 ・サブチャンネルを選択することができます。表示切り替えメニューの“Ch. すべて”を選択すると、サブチャンネルが表示されます。 ・番組表は 7 日後まで表示できます。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。各アイコンの操作方は [コントロール画面 (アイコン) の使いかた] を参照してください。 各アイコンの操作方は [コントロール画面 (アイコン) の使いかた] を参照してください。
表示/音声切り替え	字幕表示や主/副音声の切り替えができます。
TV 設定	テレビの設定画面を表示します。
音響設定	音質を調節します。 →2-106 ページ「サウンド」

コントロール画面 (アイコン) の使いかた



を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン	説明
	選局します。 放送局リストに記憶させておいた放送局を呼び出します。
	
	データ放送を表示します。
	データ放送のカーソルを操作するアイコンを表示します。  を回してアイコンを選択し、カーソルを操作します。
	データ放送を操作する色ボタンを表示します。  を回してアイコンを選択し、色ボタンを操作します。
	データ放送を操作するテンキーを表示します。  を回してアイコンを選択し、テンキーを操作します。
	データ放送のカーソル位置で決定します。
	データ放送操作画面を、ひとつ前に表示させていた画面に戻します。

放送局リストの種別を変更する



オプションメニューからリストの種別を選択できます。

オプション	説明
エリア	本機が記憶している放送局の中から、自転車位置に応じて受信可能と思われる放送局をリスト表示します。 受信状況によっては、リストにある放送局を受信することができない場合があります。
ホーム	初期スキャンで設定した放送局をリスト表示します。 リスト更新を選択すると、現在受信可能な放送局リストに更新されます。
ユーザ	任意の地点で更新した放送局をリスト表示します。 リスト更新を選択すると、現在受信可能な放送局リストに更新されます。

表示/音声切り替え

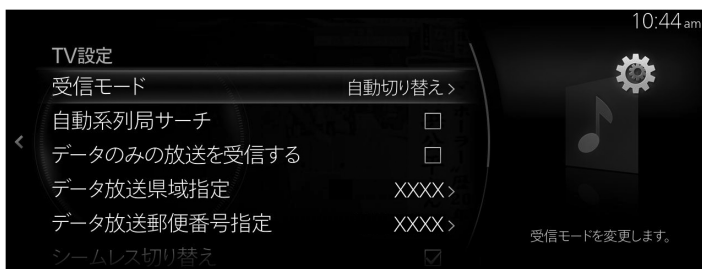


字幕表示や主/副音声の切り替えができます。

メニュー	説明
二重音声	主音声/副音声を切り替えます。
音声	音声の設定を変更します。視聴中の番組が複数の音声を提供している場合に、音声の種類を選択できます。

メニュー	説明
映像	映像の設定を変更します。視聴中の番組が複数の映像を提供している場合に、映像の種類を選択できます。
字幕	字幕の設定を変更します。
文字スーパー	文字スーパーの表示/非表示を変更します。

TV 設定



テレビの設定ができます。

メニュー	説明
受信モード	受信モードを変更します。
自動系列局サーチ	系列局への切り替えを有効/無効にします。
データのための放送を受信する	データのための放送を受信対象/対象外にします。
データ放送地域指定	データ放送の対象地域をリストから変更します。
データ放送郵便番号指定	データ放送の対象地域を郵便番号で変更します。
シームレス切り替え	ワンセグ・フルセグのシームレス切替を有効/無効にします。
初期スキャン	受信可能な放送局を放送局リストのホームに設定します。
TV 情報表示	ライセンス情報などを表示します。

HDMI

市販の HDMI 対応機器を本機の HDMI 端子に接続することで、映像・音声を再生することができます。

警告

HDMI 端子に接続したコードが、セレクトレバーに絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

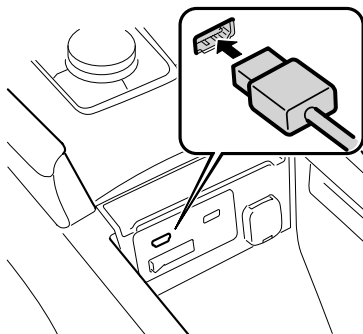
- プラグを接続した状態で、HDMI 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。
- 接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります (ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください)。
- HDMI 対応機器を車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温となり、故障の原因になります。

知識

- ・ 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
- ・ ご使用前に、市販の HDMI 対応機器の取扱説明書をよくお読みください。
- ・ エンジン进行を止めたままで、HDMI 機器を使用して、長時間動画を視聴しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- ・ プラグは HDMI 端子に確実に差し込んでください。

機器を接続する

HDMI ケーブルで、車両と HDMI 機器を接続します。プラグの抜き差しは HDMI 端子の穴に対して垂直におこなってください。



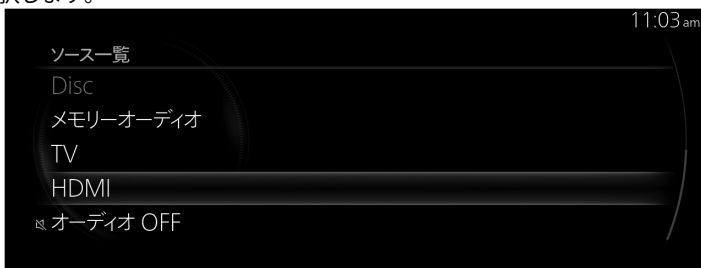
HDMI 端子の位置は車種により異なります。

ビデオを再生する

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. HDMI”を選択します。



知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンダースイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

3. 再生画面が表示されます。



知識

安全のため、走行中は映像が表示されず音声のみにになり、一部の機能が制限されます。

MENU
🔍 が表示されているときに🔍を押してメニューを表示します。

HDMI メニュー



メニュー	説明
ソース一覧	“ソース一覧”画面を表示します。オーディオのソースを切り替えることができます。
音響設定	音質を調節します。 →2-106 ページ「サウンド」

コミュニケーション

スマートフォンなどの携帯機器とマツダコネクトを Bluetooth®で接続することで、ハンズフリー通話やショートメッセージ機能をご利用いただけます。

Bluetooth® ハンズフリー

車両の Bluetooth® ユニットに電波送信で Bluetooth® 機器 (携帯電話) を接続すると、電話に出たり電話をかけたりすることができます。



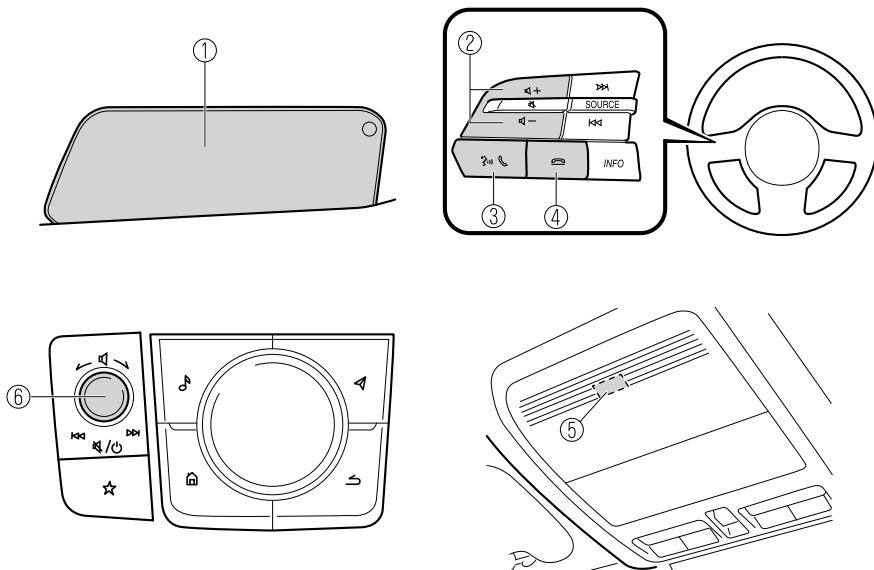
知識

- ・ 安全のため、車両が停止しているときのみペアリング (登録) することができます。ペアリングを行う前に、安全な場所に車両を止めてください。
- ・ Bluetooth® 機器の通信可能距離は約 10 メートル以内です。
- ・ Bluetooth® 機器によっては使用できない場合があります。対応する Bluetooth® 機器の情報はマツダ販売店に問い合わせください。

対応 Bluetooth® 規格 (推奨)

Ver. 1.1/1.2/2.0 + EDR/2.1 + EDR/3.0 (適合)
および Bluetooth® Ver3.0 と互換性のあるもの。

構成部品



1. センターディスプレイ
2. 音量調節ボタン
3. トークボタン/ピックアップボタン
4. ハングアップボタン
5. マイク
6. 音量ノブ

ディスプレイや各スイッチの形状は車種により異なる場合があります。

音量調節ボタン

音声ガイダンスと通話音量の調節をします。

トーク/ピックアップボタン

音声認識を起動したり、音声ガイダンスをスキップします。
また電話着信中に押すと、電話に応答します。

ハングアップボタン

通話を終了したり、電話着信を拒否します。
また音声認識操作を終了します。

音声ノブ

オーディオリモートコントロールスイッチの音量調節ボタンと同様に、音声ガイダンスと通話音量の調節をします。右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと音量が小さくなります。

マイク (ハンズフリー)

マイクは音声認識での音声コマンド入力や、ハンズフリー通話に使用します。

知識

他のオーディオモードと比べて、音量が小さいと感じた場合は、機器側の音量を上げてください。

▼ 電話のかけかた

マツダコネクトでは、次の 6 つの方法から電話をかけることができます。

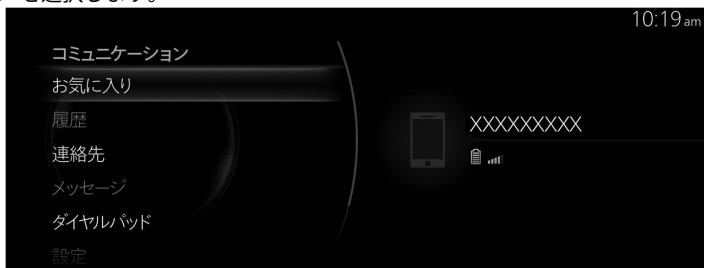
- ・ お気に入り
- ・ 履歴
- ・ Bluetooth® 機器(携帯電話) からダウンロードした電話帳 (音声認識機能が使えます)
- ・ 電話番号ダイヤル (音声認識機能が使えます)
- ・ 「リダイヤル」 - 最新の発信履歴に電話をかける音声認識コマンド。

お気に入りから電話を発信する

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



2. “お気に入り”を選択します。



3. 表示されたお気に入りリストから電話したい連絡先情報を選択します。



4. 電話番号を選択し、電話を発信します。



履歴（発信履歴、着信履歴）を利用して電話をかける

音声での操作

携帯電話/車両から、最後に電話をかけた相手（発信履歴の最新の人物）に電話を発信します。

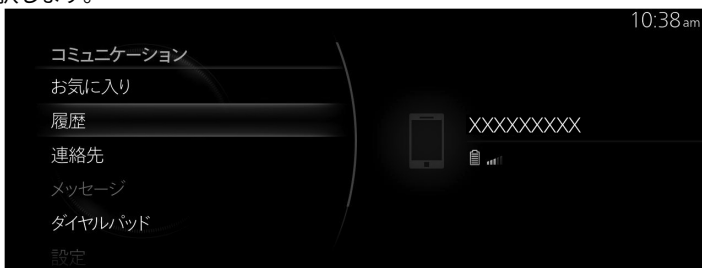
- オーディオリモートコントロールスイッチの  を押します。
- 発話: 「リダイヤル」

センターディスプレイでの操作

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



2. “履歴”を選択します。



3. 表示された履歴から電話を発信したい連絡先または電話番号を選択し、電話を発信します。



連絡先 (電話帳) を利用して電話する

音声での操作

ダウンロードされた電話帳の中から、連絡先を発話することによって発信することができます。

1. オーディオリモートコントロールスイッチの  を押します。
2. 発話: 「連絡先でかける {連絡先} の {番号種別}」
{連絡先}には電話帳に登録されている人物名を発話してください。また、電話帳の登録内容により、「自宅」、「会社」、「携帯」または「その他」から発信する電話番号の種類を使い分けことができます。
3. 電話を発信するために、音声ガイダンスに従ってください。

知識

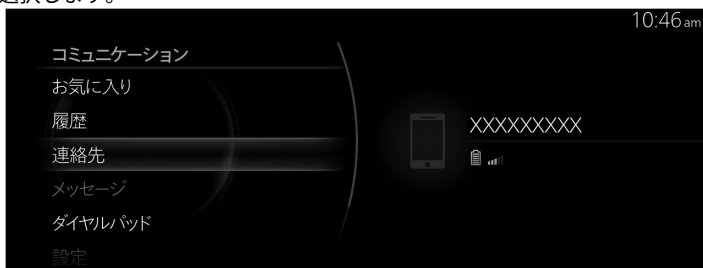
- ・ 事前にダウンロードしておいた連絡先を利用して電話をかけます。
- ・ → 2-90 ページ「電話帳をダウンロードする」
- ・ Bluetooth®機器側の電話帳にふりがな情報と電話番号の種類が未登録の場合、音声認識で電話帳を呼びだすことができません。
- ・ 電話帳に登録されている、ふりがな情報通りに発話してください。

センターディスプレイでの操作

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



2. “連絡先”を選択します。



3. 表示された連絡先リストから電話を発信したい連絡先を選択して発信します。



4. 電話番号を選択して発信します。



電話番号を入力して電話する

知識

安全な駐車位置から電話をかけてください。その後、運転をすることだけに注意できるようになってから、運転し始めてください。

音声での操作

電話番号を発話することによって発信することができます。

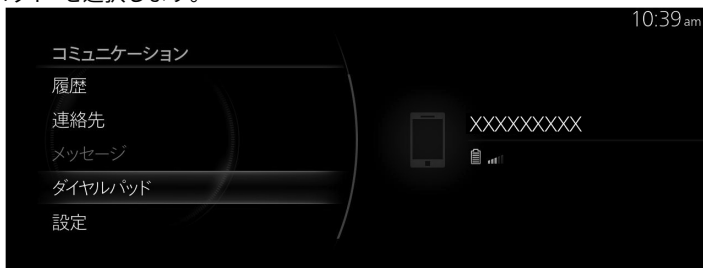
1. オーディオリモートコントロールスイッチの  を押します。
2. 発話: 「電話番号でかける」
3. 電話を発信するために、音声ガイダンスに従ってください。

センターディスプレイでの操作

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



2. “ダイヤルパッド”を選択します。



3. ダイヤルパッドを使って電話番号を入力します。

4.  を選択して電話を発信します。

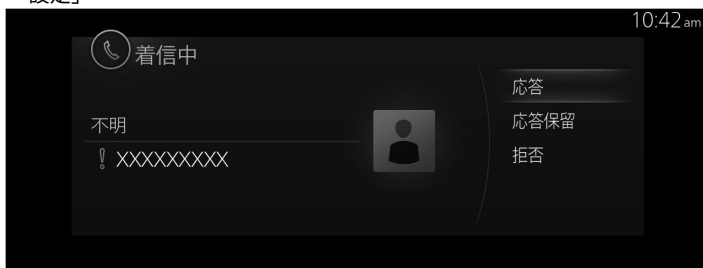


知識

- ・  を選択すると、ひとつ前の入力番号を削除します。
- ・  を長押しすると、すべての入力番号を削除します。

▼ 電話の受けかた

着信通知の設定が ON になっているときに、電話の着信があると、着信通知画面が表示されます。
→2-98 ページ「設定」



通話を開始するには、オーディオリモートコントロールスイッチの  を押すか画面下の“応答”を選択します。

応答を保留するには、画面下の“応答保留”を選択します。

着信を拒否するには、オーディオリモートコントロールスイッチのを押すか画面上の“拒否”を選択します。

知識

- ・ 着信通知を OFF に設定すると、着信通知画面が表示されずかかってきた電話は着信拒否されます。
- ・ 携帯電話の契約により、“応答保留”が使用できない場合があります。

▼ 通話中にできること

通話中画面には、次のメニューが表示されます。使用状況によって表示されるメニューは異なります。



	説明
電話を切る	通話を終了します。
携帯機器で通話	ハンズフリーから携帯電話に電話を転送します。 本機と Bluetooth® 機器の間の通信が取り消され、通常の電話として機器（携帯電話）側で受けるように切り替えます。
ハンズフリー	機器（携帯電話）からハンズフリーに電話を転送します。 機器（携帯電話）と接続し、Bluetooth®ハンズフリーの通話に切り替えます。
マイクミュート	通話中にマイクを消音します。
マイクミュート解除	通話中にマイクの消音を解除します。
通話相手を追加	通話中に別の相手に発信して三者通話ができます。 次の中から連絡先を選択して発信します。 履歴 : 通話履歴が表示されます。 連絡先 : 電話帳が表示されます。 ダイヤルパッド : ダイヤルパッドが表示されます。電話番号を入力します。 機器の契約内容によっては使用できない場合があります。

	説明
ダイヤルパッド	DTMF (Dual Tone Multi-Frequency Signal) 送信 ダイヤルパッドで DTMF を送信する場合、この機能を使用します。 一般的に、DTMF 送信を要求するものは家庭用電話の留守番電話、または会社の自動ガイダンスコールセンターです。 ダイヤルパッドを使用して、番号を入力します。
トーン送信	(現在通話中の連絡先に、電話番号と DTMF データを登録しているとき) 電話番号に続く区切り記号 (p または w) 以降の DTMF データを送信します。

▼ 電話帳をダウンロードする

Bluetooth® を使用することで、Bluetooth®機器から電話帳のデータを本機の連絡先に登録することができます。

自動ダウンロード

連絡先と履歴の自動同期の設定が ON になっている場合は、Bluetooth®機器が接続されたときに自動的にダウンロードされます。
→2-98 ページ「設定」

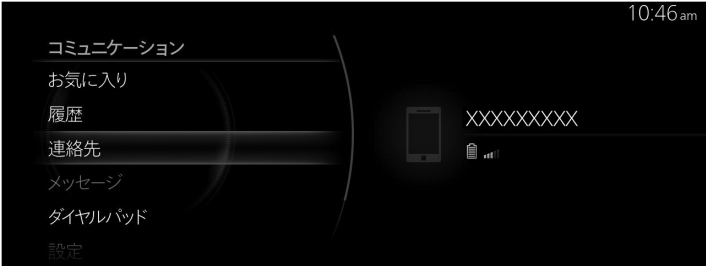
手動ダウンロード

連絡先と履歴の自動同期の設定が OFF の場合、次の手順で電話帳のダウンロードを行います。

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



2. “連絡先”を選択します。



3. “全件同期”を選択します。



知識

- ・電話帳のダウンロードは、Bluetooth®の PBAP プロファイルを使用します。
- ・最大 5,000 件までの連絡先を登録することができます。
- ・電話帳、着信/発信履歴、およびお気に入りメモリは、プライバシーを保護するために、ペアリングした Bluetooth®機器ごとに独立して保存しています。
- ・Bluetooth® 機器から電話帳をダウンロードするには、本機での操作の他に、Bluetooth® 機器側の操作が必要になる場合があります。詳しくは Bluetooth® 機器の取扱書をご参照ください。
- ・電話番号とふりがな情報のない連絡先は登録しません。

▼ 連絡先をお気に入り登録する

最大 100 件の連絡先を登録することができます。電話番号を登録すると、電話帳の中から電話したい人を探す必要がなく、より早く電話を発信することができます。

知識

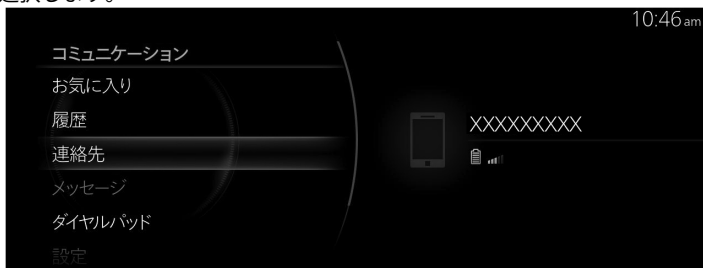
事前に連絡先を入力(電話帳をダウンロード)する必要があります。
→2-90 ページ「電話帳をダウンロードする」

お気に入りに登録する

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



2. “連絡先”を選択します。



3. 表示された連絡先リストからお気に入りに登録したい連絡先を選択します。



4. “お気に入りに追加”を選択します。



知識

バッテリーを切り離しても、お気に入りリストは消去されません。

お気に入りから削除する/お気に入りの連絡先名を変更する

お気に入りの削除やお気に入りの連絡先名の変更については、次のページを参照してください。
→1-16 ページ「お気に入り」

▼ メッセージの受信と返信

接続している Bluetooth® 機器が受信した SMS(Short Message Service)メッセージをダウンロードしてセンターディスプレイに表示したり、人工音声で読みあげることができます。また、受信したメッセージに定型文を返信したり、その番号に電話することができます。

📖 知識

ご使用の Bluetooth® 機器によっては Bluetooth® 機器での設定が必要です。

メッセージをダウンロードする

接続している Bluetooth® 機器 から、最新 50 件までのメッセージをダウンロードし、表示することができます。

自動ダウンロード

メッセージの自動同期の設定が ON になっている場合、Bluetooth® 機器が接続されたときに自動的にダウンロードされます。

→2-98 ページ「設定」

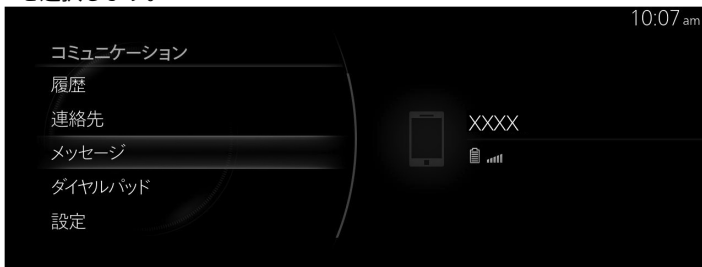
手動ダウンロード

メッセージの自動同期の設定が OFF の場合、次の手順でメッセージのダウンロードを行います。

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



2. “メッセージ”を選択します。



3. “リスト更新”を選択すると、Bluetooth®機器からメッセージをダウンロードします。



知識

- ・ 添付データはダウンロードされません。
- ・ 160 文字までのメッセージをダウンロードできます。
- ・ プライバシーを保護するために、ペアリングした Bluetooth® 機器ごとに独立して保存しています。
- ・ ショートメッセージ機能は Bluetooth® の MAP プロファイルを使用します。
- ・ Bluetooth®機器からメッセージの受信と返信をおこなうには、本機での操作の他に Bluetooth®機器側の操作や設定が必要になる場合があります。詳しくは Bluetooth®機器の取扱書をご参照ください。

iPhone の場合

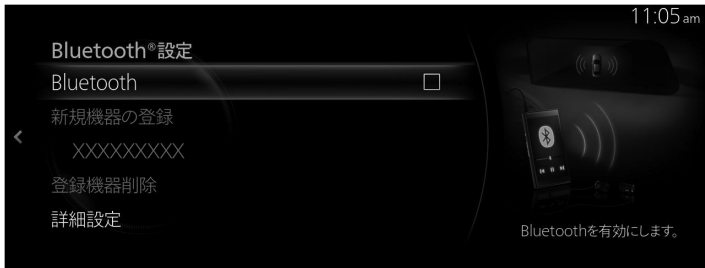
知識

- ・ iPhone を接続する場合、次の機能は利用できません。
 - ・ 過去メッセージのダウンロード
 - ・ メッセージへの返信

ペアリング済みで接続されている状態から次の操作をおこないます。

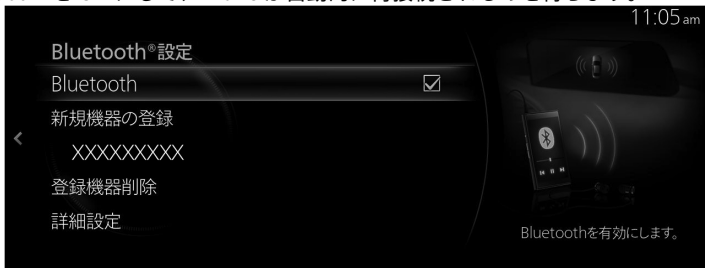
1. **(iPhone 操作)**
設定メニュー→Bluetooth→デバイス「Mazda」を選択します。
2. **(iPhone 操作)**
「通知を表示」項目の設定を ON にします。
3. **(本機の操作)**
Bluetooth®を OFF にします。

→2-117 ページ「通信」



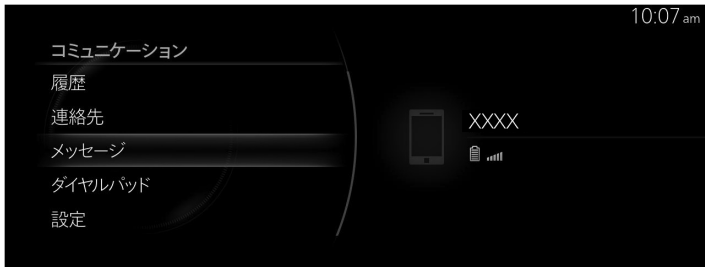
4. (本機の操作)

再度 Bluetooth® を ON にして、iPhone が自動的に再接続されるのを待ちます。



5. (本機の操作)

iPhone 接続後、“メッセージ”が選択できればご利用可能です。

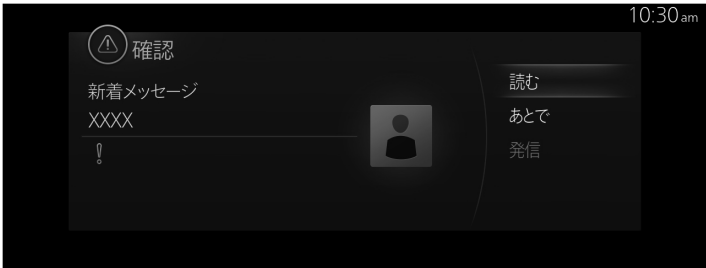


メッセージを受信したとき

メッセージ新着通知の設定が On になっているときに、Bluetooth® 機器がメッセージを受信すると、メッセージ受信通知が表示されます。

→2-98 ページ「設定」

“読む”を選択すると、メッセージが表示されます。



メッセージ詳細画面では次のメニューが表示されます。使用状況によって表示されるメニューは異なります。

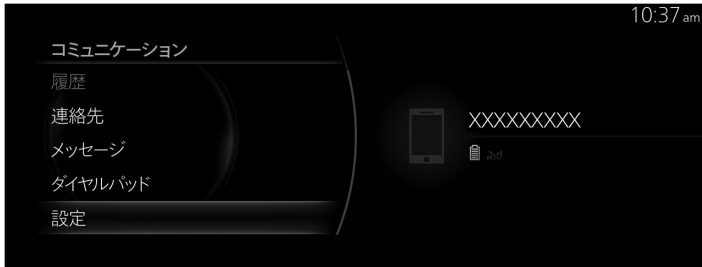
	説明
再生	表示中の受信メッセージを音声再生します。
一時停止	受信メッセージを音声再生を一時停止します。
前へ	前のメッセージを表示します。
次へ	次のメッセージを表示します。
返信	表示中の受信メッセージの送信者のみに返信します。 表示された返信画面の本文を選択して、送信する文章を定型文から選択します。
電話をかける	表示中の受信メッセージの送信者に電話をかけます。 送信者の電話番号が非通知の場合は、電話を発信することができません。

定型文を編集する

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



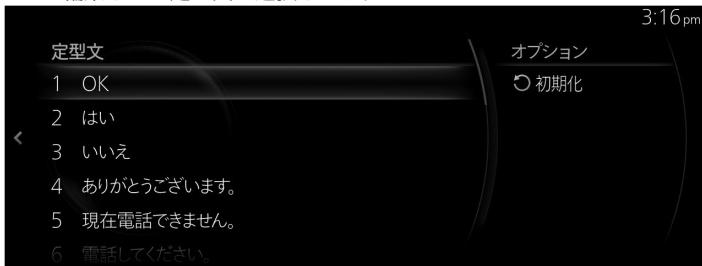
2. “設定”を選択します。



3. “定型文”を選択します。



4. 定型文リストから編集したい定型文を選択します。



5. 変更したいメッセージ内容を入力し、✓を選択すると定型文として保存されます。



 知識

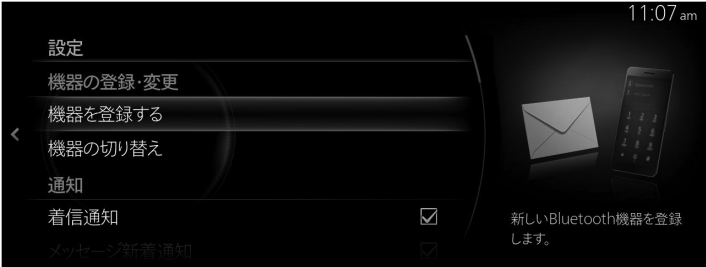
- ・  を選択すると、ひとつ前の文字を削除します。長押しすると、入力したすべての文字を削除します。
- ・  を左に倒すと、編集を保存せずに前の画面にもどります。

▼ 設定

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



2. “設定”を選択すると設定リストが表示されます。設定リストから変更したいメニューを選択して、設定を変更します。



メニュー		説明
機器の登録・変更	機器を登録する	Bluetooth® 機器の接続設定をします。 → 2-117 ページ「通信」
	機器の切り替え	接続する Bluetooth® 機器を切替えることができます。 → 2-117 ページ「通信」

メニュー		説明
通知	着信通知	チェック状態を切り替えることで電話の着信があったときの通知の ON/OFF 設定ができます。
	メッセージ新着通知	チェック状態を切り替えることで新たにメッセージを受信したときの通知の ON/OFF 設定ができます。
	同期完了通知	チェック状態を切り替えることで Bluetooth® 機器と同期が完了したときの通知の ON/OFF 設定ができます。
同期	メッセージの自動同期	チェックを入れて ON にすると、Bluetooth® 機器が接続されたとき、自動的に SMS メッセージをダウンロードします。
	連絡先と履歴の自動同期	チェックを入れて ON にすると、Bluetooth® 機器が接続されたとき、自動的に電話帳と通話履歴をダウンロードします。
着信・受信・読み上げ音	着信音 ^{*1}	着信音の種類を変更します。 車両: 車両に標準設定されている着信音 携帯: Bluetooth® 機器 で設定している着信音
	着信音量	着信音量を調節します。
	メッセージ受信音量	メッセージ受信音量を調節します。
	自動本文読み上げ	チェックを入れて ON にすると、自動で受信メッセージを音声再生します。
	本文読み上げ音量	メッセージの音声再生音量を調整します。
その他	連絡先の画像表示	チェックを入れて ON にすると、連絡先に画像が表示されるようになります。
	連絡先の表示方法	連絡先の表示順を並び替えます。 名前・苗字: 名前、苗字の順で並び替えます。 苗字・名前: 苗字、名前の順で並び替えます。
	定型文	定型文を編集します。 → 2-93 ページ「メッセージの受信と返信」
	署名	チェックを入れて ON にすると、メッセージ送信するときに署名を追加します。

^{*1} 接続している Bluetooth® 機器によっては“携帯”が選択できない場合があります。

ナビゲーション*

ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれている場合に、ナビゲーションシステムが使用できます (ナビゲーションシステム装備車)。

ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。コンパスは、車両停車時、または低速走行時には、正しい方位を示さない場合があります。

ナビゲーションシステムの操作については、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。

設定

車両には、設定を変更することが可能なシステム/装備が付いており、作動などをお客様の好みに応じて変更することができます。

詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。



知識

- ・ 設定変更ができる機能や内容は、車両の仕様により異なります。
- ・ 設定変更ができる機能や内容は、車両の利用可能な設定のみ自動的に表示します。本書に記載がある項目であっても、お客様の車両の仕様によっては変更できないものがあります。
- ・ 機能によっては、他の機能と連動して設定が変更できないものもあります。
- ・ 車両のソフトウェアのアップデートにより、設定変更の内容を予告なしに変更することがあります。

設定変更の方法

1. マツダコネクトのホーム画面から、“設定”を選択します。
2. 表示された内容から、設定を変更したい項目を選択します。
3. 機能の設定を変更します。



知識

項目にチェックボックスがある機能は、チェックを入れる (☒) と有効、チェックを外す (☐) と無効になります。

設定変更ができるシステム/装備一覧

画面表示

ディスプレイの明るさや表示内容の設定をします。

→2-104 ページ「画面表示」

- ・ アクティブ・ドライビング・ディスプレイ
- ・ マツダコネクト
- ・ メーター

サウンド

オーディオや警報音などの設定をします。

→2-106 ページ「サウンド」

- ・音響設定
- ・通知・警報音量

安全装備

i-ACTIVSENSE の設定をします。

→2-108 ページ「安全装備」

- ・運転支援
- ・リスク警報
- ・リスク回避支援
- ・事故回避支援
- ・ビューモニター
- ・パーキングセンサー
- ・ペダル操作警告

車両装備

ライトやドアロックなど車両装備の設定をします。

→2-113 ページ「車両装備」

- ・ドアロック
- ・エクステリアライト
- ・インテリアライト
- ・オートワイパー
- ・自動格納ドアミラー
- ・方向指示器
- ・リアウインドーデフォグガー
- ・快適装備オートエアコン連動
- ・給油口ロック

通信

Bluetooth などの設定をします。

→2-117 ページ「通信」

- ・Bluetooth®設定
- ・スマートフォン連携

システム

言語や操作などの一般的な設定をします。

→2-127 ページ「システム」

- ・ 時計
- ・ ドライバー選択
- ・ 音声認識設定
- ・ タッチパッド
- ・ 言語
- ・ 温度
- ・ 距離/速度
- ・ 燃費
- ・ 圧力
- ・ Gracenote データベース更新
- ・ Gracenote データベース優先表示
- ・ ETC 音量
- ・ システム情報
- ・ 設定初期化

画面表示

ディスプレイの明るさや表示内容の設定をします。

アクティブ・ドライビング・ディスプレイ

明るさ、高さ、表示内容を設定します。

機能	変更内容
高さ 高さを調整します。	高さ (31 段階)
明るさ 明るさを調整します。	明るさ (11 段階)
傾き調整 表示の傾きを調整します。	傾き (11 段階)
アクティブ・ドライビング・ディスプレイ 表示を有効にします。	有効、 無効
ナビゲーションガイダンス ナビの案内情報を表示します。	有効、 無効
交差点名称 交差点名称を表示します。	有効、 無効
走行レーン 走行レーン情報を表示します。	有効、 無効
交通標識 交通標識を表示します。	有効、 無効
リセット アクティブ・ドライビング・ディスプレイの設定をリセットします。	—

マツダコネクト

明るさ、表示内容を設定します。

機能	変更内容
ディスプレイ OFF 画面を消します。	—
昼画面/夜画面設定 画面の明るさを昼/夜に合わせて変更します。	自動、 昼、 夜
明るさ 明るさを調整します。	明るさ (11 段階)
コントラスト コントラストを調整します。	コントラスト (11 段階)
エンディング画面 終了時に走行結果を表示します。	有効、 無効
ホーム画面 時計表示 ホーム画面で表示する時計の種別を設定します。	アナログ、 デジタル
アンビエント画面 ホーム画面でホームボタンを押すと表示できます。	ブランク、 時計
リセット マツダコネクトの設定をリセットします。	—

メーター

メーターの表示内容を変更します。

機能	変更内容
カスタム表示 燃費と走行可能距離の表示タイプを変更します。	タイプ 1、 タイプ 2、 OFF
リセット メーターの設定をリセットします。	—

サウンド

オーディオや警報音などの設定をします。

音響設定

音質や音響を設定します。

機能	変更内容
音質モード選択 音質設定モードを変更します。	シンプル、 アドバンス
Bass 低音域を調整します。	低音域 (19 段階)
Treble 高音域を調整します。	高音域 (19 段階)
イコライザ イコライザ設定を変更します。	Flat、 Pop、 Rock、 Jazz、 R&B、 Classic、 カスタム 1 ^{*1} 、 カスタム 2 ^{*1} 、 カスタム 3 ^{*1} 、 編集 ^{*2}
リスニングポジション リスニングポジションを設定します。	運転席、 全席
Fader リスニングポジションの前後比を調整します。	Front — Rear (19 段階)
Balance リスニングポジションの左右比を調整します。	Left — Right (19 段階)
ALC^{*3} 車速による自動音量調整機能の設定をします。	OFF、1 — 7 (8 段階)
自動音量補正^{*4} 再生内容の音量差を自動補正する機能を有効にします。	有効、 無効
Bose® ステレオモード 2 つの Stereo モードの選択ができます。	スタンダード、 リニア

機能	変更内容
Bose® Centerpoint*5 ステレオ音源をサラウンド再生で楽しめます。	OFF、1 — 3 (4 段階)
Bose® AUDIOPILOT*6 走行ノイズに合わせて音質と音量を自動補正します。	OFF、1 — 3 (4 段階)

- *1 “イコライザ”項目の“編集”で保存したイコライザの設定。
- *2 イコライザの設定をお客様の好みに応じて手動で編集し、保存することができます。
- *3 オートマッチレベルコントロール (ALC) は、車速に応じて自動的にオーディオの音量/音質が変化する機能です。
車速が早いほど変化量は大きくなり、車速が遅いほど変化量は小さくなります。
- *4 自動で音量を調整する機能のため、コンテンツによっては聞こえかたが変わります。
- *5 Bose Centerpoint は、既存の CD、MP3 から Bose のサラウンドサウンドを体験させてくれます。
特に車内でサラウンドサウンドを再生させるために必要な設定になっています。
同時に、強化されたアルゴリズムによって、幅のある広々とした音場を作り出しています。
Centerpoint はボーズコーポレーションの登録商標です。
- *6 運転するときに発生するノイズは、音楽の邪魔になります。
AUDIOPILOT ノイズ補正システムは、車載マイクで車室内のノイズを収集し、音楽等の音量を自動で調節します。
段差のような断続ノイズではなく、持続するノイズにのみ反応します。
強化された DSP アルゴリズムは、悪路や高速走行の状況に、より素早く効果的な補正を可能にします。
AUDIOPILOT はボーズコーポレーションの登録商標です。

通知・警報音量

通知・警報音の音量を変更します。

変更内容
小、中、大

安全装備

i-ACTIVSENSE の設定をします。

運転支援

運転負荷を軽減する運転支援機能の設定をします。

機能	変更内容
車間制御 車間維持制御を有効にします。	有効、 無効
操作確認音 ステアリングスイッチの操作音を有効にします。	有効、 無効
速度標識警報 速度標識警報のパターンを変更します。	表示のみ、 表示+ブザー、 OFF
速度標識閾値 速度標識超過のタイミングを設定します。	+ 0 km/h (+ 0 mph)、 + 5 km/h (+ 3 mph)、 + 10 km/h (+ 5 mph)
ドライバー・アテンション・アラート ドライバー・アテンション・アラートを有効にします。	有効、 無効
ドライバーモニタリング ドライバーモニタリングを有効にします。	有効、 無効
リセット 運転支援の設定をリセットします。	—

リスク警報

危険をお知らせするリスク警報機能の設定をします。

機能	変更内容
前側方接近車両検知 前側方接近車両検知を有効にします。	有効、 無効
後側方接近車両検知 後側方接近車両検知を有効にします。	有効、 無効
車線逸脱警報システム 車線逸脱警報システムを有効にします。	有効、 無効
車線逸脱警報システム 警報種別 警報の種類を設定します。	ブザーのみ、 振動のみ、 振動＋ブザー
ブラインド・スポット・モニタリング ブラインド・スポット・モニタリングを設定します。	表示のみ、 表示＋ブザー、 OFF
ブラインド・スポット・モニタリング 警報タイミング 警報のタイミングを設定します。	早い、 普通、 遅い
リセット リスク警報の設定をリセットします。	—

リスク回避支援

危険回避を補助するリスク回避支援機能の設定をします。

機能	変更内容
ディスタンス&スピード・アラート 車間距離の注意喚起を有効にします。	有効、 無効
レーンキープ・アシスト・システム 車線逸脱時のアシストを有効にします。	有効、 無効
リセット リスク回避支援の設定をリセットします。	—

事故回避支援

衝突被害を回避・軽減する事故回避支援機能の設定をします。

機能	変更内容
スマート・ブレーキ・サポート スマート・ブレーキ・サポートを有効にします。	有効、 無効
スマート・ブレーキ・サポート 衝突警報タイミング 衝突警報のタイミングを設定します。	早い、 普通、 遅い
スマート・ブレーキ・サポート[後進時]*1 スマート・ブレーキ・サポート[後進時]を有効にします。	有効、 無効
リセット 事故回避支援の設定をリセットします。	—

*1 スマート・ブレーキ・サポート[後進時]と連動してスマート・ブレーキ・サポート[後進時左右接近物]の機能が有効、無効が切り替わります。

ビューモニター

カメラ表示の設定をします。

機能	変更内容
エンジン始動後の自動表示 エンジン始動後、カメラ映像の自動表示を有効にします。	有効、 無効
優先表示ビュー システム起動時、優先的に表示するカメラ映像を選択します。	サイド、 フロント、 フロントワイド、 前回表示
フロントビュー自動表示 後退後の前進時、フロントビューを自動表示する機能を有効にします。	有効、 無効
予想進路線表示 予想進路線の表示を有効にします。	有効、 無効
リセット ビューモニターの設定をリセットします。	—

パーキングセンサー

パーキングセンサーの設定をします。

機能	変更内容
パーキングセンサー表示 パーキングセンサー表示を有効にします。	有効、 無効
パーキングセンサー（リア）警報音量 パーキングセンサー（リア）の音量を設定します。	小、 中、 大、 OFF
パーキングセンサー（フロント）警報音量 パーキングセンサー（フロント）の音量を設定します。	小、 中、 大、 OFF
リセット パーキングセンサーの設定をリセットします。	—

ペダル操作警告

アクセルとブレーキが両方踏まれた時に警告します。

変更内容
有効、無効

車両装備

ライトやドアロックなど車両装備の設定をします。

ドアロック

ドアロックの振舞いを変更します。

機能	変更内容
自動ドアロックモード 自動ドアロックが作動するタイミングを変更します。	ロック:車速連動、 ロック:車速、アンロック:電源、 ロック:シフト連動、 ロック/アンロック:シフト連動、 ロック:車速、アンロック:シフト連動、 OFF
キーレス自動再ロック時間 自動再ロックまでの時間を設定します。	30 秒、 60 秒、 90 秒
キーレスオートロック オートロックを有効にします。	有効、 無効
キーレスアンサーバック音量 ロック、ロック解除時の音量を変更します。	小、 標準、 大、 OFF
リセット ドアロックの設定をリセットします。	—

エクステリアライト

ヘッドランプや室外照明の設定をします。

機能	変更内容
オートライト点灯タイミング ヘッドランプの自動点灯感度を調整します。	遅く、 少し遅く、 標準、 少し早く、 早く
アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) を有効にします。	有効、 無効
ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) を有効にします。	有効、 無効
アダプティブ・フロントライティング・システム (AFS) アダプティブ・フロントライティング・システム (AFS) を有効にします。	有効、 無効
デイトタイム・ランニング・ランプ (DRL) デイトタイム・ランニング・ランプ (DRL) を有効にします。	有効、 無効
カミング・ホーム・ライト 降車後のヘッドランプ自動消去時間を変更します。	30 秒、 60 秒、 90 秒、 120 秒、 OFF
リーピング・ホーム・ライト ロック解除時のヘッドランプ点灯を有効にします。	有効、 無効
リセット エクステリアライトの設定をリセットします。	—

インテリアライト

室内照明の設定をします。

機能	変更内容
間接照明 夜間時室内間接照明を設定します。	暗い、 中間、 明るい、 OFF
ドア閉連動照明点灯時間 ドアを閉めた後の室内ランプ消灯時間を調整します。	7.5 秒、 15 秒、 30 秒、 60 秒
リセット インテリアライトの設定をリセットします。	—

オートワイパー

オートワイパーを有効にします。

変更内容
有効、無効

自動格納ドアミラー

自動格納ドアミラーを有効にします。

変更内容
有効、無効

方向指示器

ウィンカー、ハザードランプの動作を設定します。

機能	変更内容
スリーフラッシュターンシグナル スリーフラッシュターンシグナルを有効にします。	有効、 無効
ウィンカー音量 ウィンカー動作音量を調整します。	小、 中、 大
リセット 方向指示器の設定をリセットします。	—

リアウインドーデフォグガー

リアウインドーデフォグガーの継続時間を設定します。

変更内容
自動 OFF、連続

快適装備オートエアコン連動

エアコン Auto と連動して、シートなど冷暖房機能が稼働します。

変更内容
有効、無効

給油口ロック

ドアロック後、給油口ロックまでの時間を変更します。

変更内容
0 秒、30 秒、60 秒、90 秒、120 秒

通信

Bluetooth®設定

ON/OFF などを設定します。

機能	説明
Bluetooth	Bluetooth®を使用するときは ON にします。チェック状態が ON、チェックが外れた状態は OFF となります。
新規機器の登録	新しい Bluetooth 機器を登録します。
<登録されている Bluetooth® 機器名>	指定した機器の接続を変更します。
登録機器削除	登録機器を削除します。
詳細設定	Bluetooth®の自動接続の ON/OFF や接続順の設定、Bluetooth®設定の初期化などができます。



知識

- ・ Apple CarPlay 接続中は、Bluetooth®接続を利用できません。Bluetooth®を接続したい場合は、Apple CarPlay を終了してください。
- ・ Android Auto™接続中に機器の登録 (ペアリング) や接続機器の変更をする場合は、Android Auto™を終了してください。

Bluetooth®の登録

機器の登録 (ペアリング)

Bluetooth®オーディオとハンズフリーを使用するには、次の手順で Bluetooth®機器を登録します。Bluetooth®通信機能のあるポータブルオーディオ機器、または携帯電話を 5 台まで登録することができます。

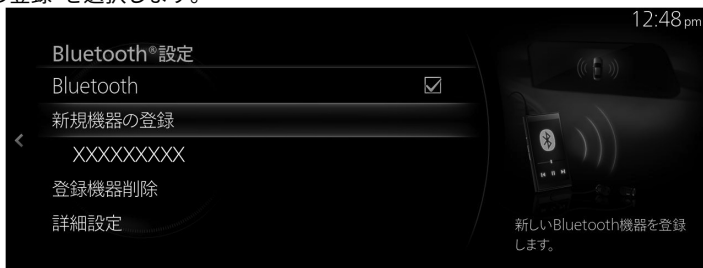


知識

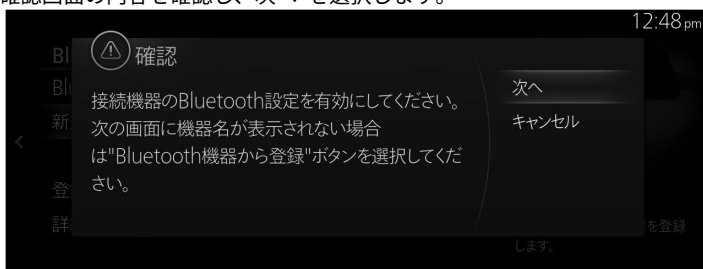
Bluetooth®は、電源ポジションを ACC、または ON に切り替えた後、1～2 分間操作できない場合がありますが異常ではありません。1～2 分経過後も Bluetooth®機器が自動接続されない場合は、Bluetooth®機器の Bluetooth®設定が正常であることを確認のうえ、マツダコネクト側から Bluetooth®機器に再接続を試みてください。

ペアリング手順

1. “新規機器の登録”を選択します。



2. 表示された確認画面の内容を確認し、“次へ”を選択します。



3. 表示された Bluetooth®機器のリストから、接続したい機器名を選択します。



4. (Bluetooth®機器が Bluetooth®バージョン 2.0 以前の機器の場合)

[Bluetooth®機器での操作]

センターディスプレイに表示された 6 桁のパスコードが Bluetooth®機器にも表示されていることを確認してください。

(Bluetooth®機器が Bluetooth®バージョン 2.1 以上の場合)

[Bluetooth®機器での操作]

センターディスプレイに表示された 6 桁のパスコードが Bluetooth®機器にも表示されていることを確認してください。

5. ペアリングに成功すると、センターディスプレイに完了画面が表示されます。

手順 3 で接続したい Bluetooth®機器名がリストに表示されない場合

1. リスト最上部の“Bluetooth 機器から登録”を選択します。
2. [Bluetooth®機器での操作]
Bluetooth®機器の検索結果リストに表示された“Mazda”を選択し、パスコードを確認するか、パスコードを入力してください。

3. ペ어링に成功すると、完了画面が表示されます。

知識

- Bluetooth®機器が電話帳インポートやショートメッセージ機能に対応している場合は、電話帳や通話履歴、ショートメッセージ (SMS) がダウンロードされます。
- 電話帳インポートやショートメッセージ機能の動作には、Bluetooth®機器でダウンロード許可操作を実行する必要がある場合があります。
- Bluetooth®機器の Bluetooth®接続については、Bluetooth®機器の取扱書を必ず参照してください。

ペ어링と自動再接続について

ペ어링が完了すると、次のシステム起動時に、前回の Bluetooth®接続を自動的に復元しようとします。Bluetooth®ハンズフリー機能を ON、または電源ポジションを OFF から ACC に切り替えると、機器の接続状態が画面に表示されます。

知識

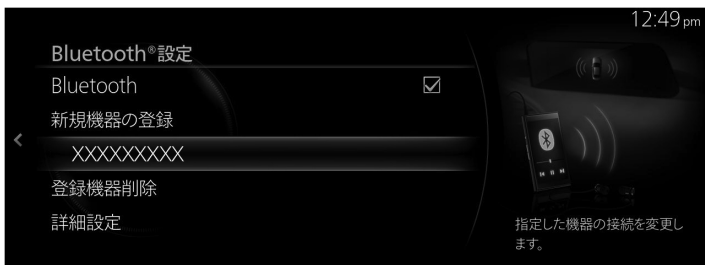
- 同じ Bluetooth®機器のペ어링をやり直す場合は、Bluetooth®機器から「Mazda」を一度削除する必要があります。
- Bluetooth®機器と車両のペ어링情報をどちらか一方で削除した場合、ペ어링相手側も一旦登録を削除し、再度ペ어링する必要があります。
- マツダコネクテッド起動時の Bluetooth®自動接続は Bluetooth®機器が接続可能な状態である必要があります。
- ペ어링する前に、機器と車両の両方の Bluetooth®の設定が ON になっていることを確認してください。

Bluetooth® 機器の選択

複数の Bluetooth®機器をペ어링しているときは、接続する Bluetooth®を選択することができます。他のペ어링済み Bluetooth®機器と接続したいときは、次の手順で Bluetooth®機器の接続を変更します。

他の Bluetooth®機器を接続する

- Bluetooth®設定画面に表示されている Bluetooth®機器のリストから接続したい機器の名前を選択します。



2. 接続方法を選択します。



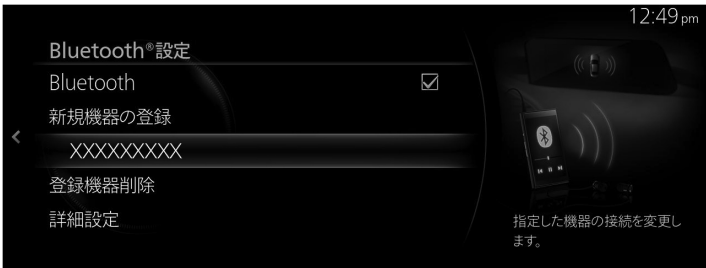
- ・ **電話とオーディオ**: ハンズフリーと Bluetooth®オーディオ両方の機器として接続します。
- ・ **電話のみ**: ハンズフリー機器として接続します。
- ・ **オーディオのみ**: Bluetooth®オーディオとして接続します。

📖 知識

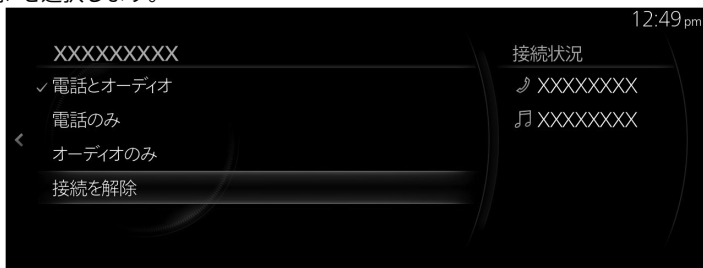
- ・ ハンズフリー、またはオーディオは、次の機能を使用することができます。
 - ・ **ハンズフリー**: 電話、SMS (2-93 ページ「メッセージの受信と返信」)
 - ・ **オーディオ**: Bluetooth®オーディオ (2-34 ページ「Bluetooth®」)
- ・ システム起動時の Bluetooth®自動接続では、Bluetooth®機器側の要求が優先されるため、“電話のみ”や“オーディオのみ”を本機で選択していても、“電話とオーディオ”として接続される場合があります。

Bluetooth® 機器との接続を切断する

1. Bluetooth®設定画面に表示されている Bluetooth®機器のリストから、現在接続している機器の名前を選択します。



2. “接続を解除”を選択します。

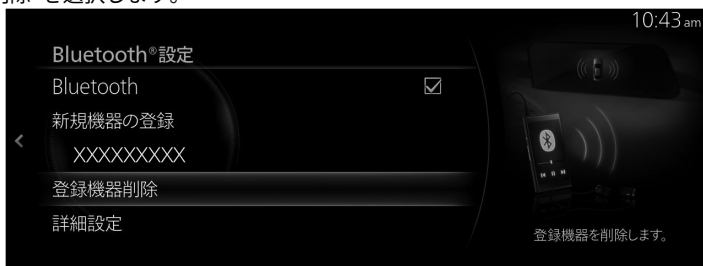


知識

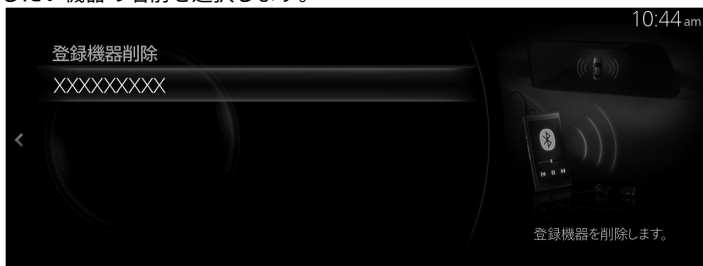
Bluetooth®の接続設定を OFF にしても接続を切断できます。

Bluetooth® 機器を削除する

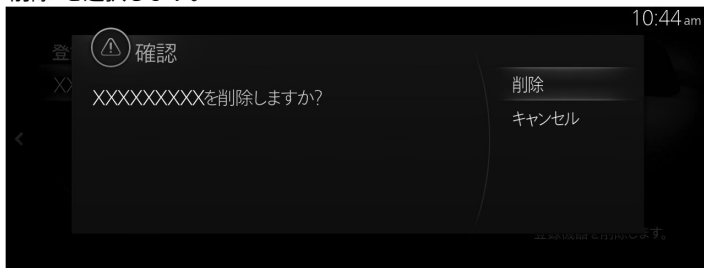
1. “登録機器削除”を選択します。



2. 登録を削除したい機器の名前を選択します。



3. 確認画面で“削除”を選択します。



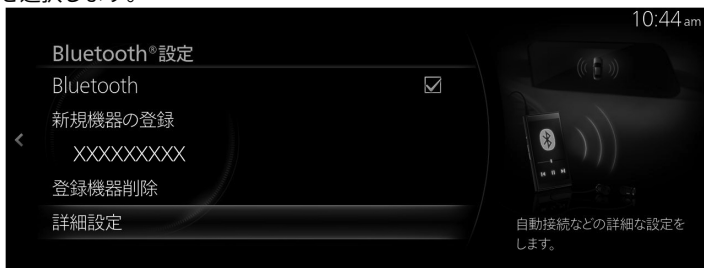
知識

- ・ Bluetooth®機器の登録を削除すると、削除した Bluetooth®機器の電話帳や通話履歴、ショートメッセージも削除されます。
- ・ Bluetooth®機器の登録を削除した場合、Bluetooth®機器でも「Mazda」を削除してください。

パスコードを変更する

ペアリングのときに使用するパスコードを次の手順で変更できます。

1. “詳細設定”を選択します。



2. “車両”を選択します。



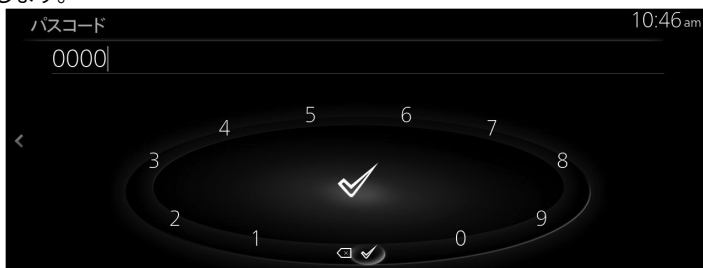
3. “パスコード”を選択します。



4. 新しいパスコードを入力します。



5. ✓ を選択します。



知識

パスコードを変更しても、ペアリング済みの Bluetooth®機器の接続には影響ありません。

スマートフォン連携

スマートフォン連携の設定を行います。

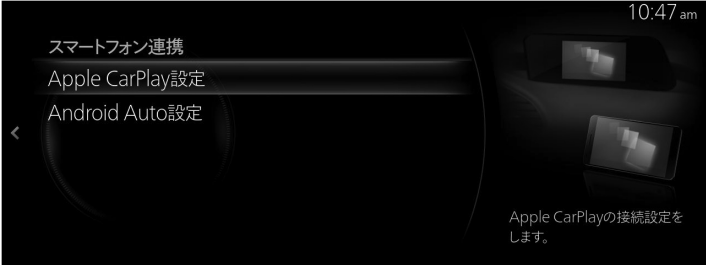
機能	説明
Apple CarPlay 設定	Apple CarPlay の接続設定をします。
Android Auto 設定	Android Auto の接続設定をします。

Apple CarPlay/Android Auto™ の接続設定を変更する

iPhone/Android スマートフォンごとに設定変更ができます。設定を反映するには、機器を接続し直す必要があります。

(例:Apple CarPlay の接続設定を変更する場合)

1. “Apple CarPlay 設定”を選択します。



2. 現在登録されている iPhone の一覧から、設定変更をしたい機器の名前を選択します。



3. “接続設定”を選択します。



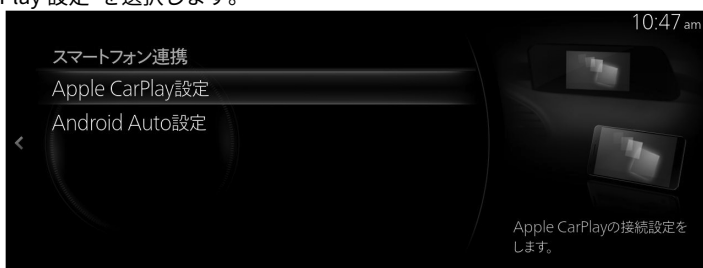
4. 接続方法を選択します。



Apple CarPlay/Android Auto™ の登録を削除する

(例: iPhone の登録を削除する場合)

1. “Apple CarPlay 設定”を選択します。



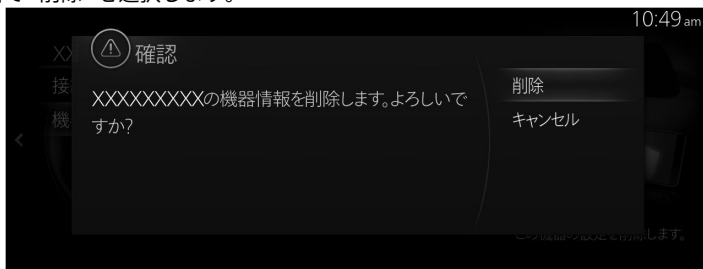
2. 現在登録されている iPhone の一覧から、登録を削除したい機器の名前を選択します。



3. “機器の削除”を選択します。



4. “確認”画面で“削除”を選択します。



システム

言語や操作などの一般的な設定をします。

時計

表示する時刻を設定します。

機能	変更内容
手動調整 ^{*1} 手動で時刻を変更します。	“+”を選択すると時間/分が進み、 “-”を選択すると時間/分がもどります。 “24 時間表示”項目が無効のときのみ、 “am/pm”の選択ができます。
GPS 同期 GPS による時刻同期を有効にします。	有効、 無効
24 時間表示 時刻を 24 時間形式で表記します。	有効、 無効
デイトライトセービングタイム ^{*1} To change the setting of DST.	有効、 無効
タイムゾーン ^{*1} To change the setting of TimeZone.	タイムゾーン

^{*1} “GPS 同期”項目が無効のときまたは、“ナビゲーション”が無効のときに設定の変更ができます。

ドライバー選択

ドライバーに合わせた情報に切り替えます。

機能	変更内容
ドライバー識別 ドライバー識別機能を有効にします。	有効、 無効
ドライバー選択 ドライバーを選択します。	ドライバー
ドライバー名編集 ドライバーの名称を編集します。	ドライバー名

音声認識設定

音声認識や音声案内を設定します。

機能	変更内容
ガイドンス音量 音声案内の音量を変更します。	音量 (63 段階)
ガイドンスタイプ ガイドンスの長さを調整します。	通常、 簡易
バージン ガイドンス中の発話を許可します。	有効、 無効
操作ガイド 使い方の具体例を確認できます。	—

タッチパッド

表示言語を切り替えます。

機能	変更内容
タッチパッド タッチパッドの機能を有効にします。	有効、 無効

言語

表示言語を切り替えます。

変更内容
言語

温度

°F, °Cを切り替えます。

変更内容
°C、°F

距離/速度

km・km/h, mile・mph を切り替えます。

変更内容
mi・mph, km・km/h

燃費

L/100km, km/L, km/gallon を切り替えます。

変更内容
L/100km, km/L, km/gallon

圧力

psi, barなどを切り替えます。

変更内容
psi, kPa, bar, kgf/cm ²

Gracernote データベース更新

Gracernote データベースを更新します。

機能	内容
更新	Gracernote データベースの更新を開始します。
履歴	Gracernote データベースの更新履歴を表示します。

Gracernote データベース優先表示

表示するカバーアートを Gracernote データベース優先に切り替えます。

変更内容
有効、無効

ETC 音量

ETC/ナビ案内の音量を設定します。

変更内容
音量 (63 段階)

システム情報

マツダコネクトの情報を表示します。

機能	内容
製品の著作権について	ライセンス情報などを表示します。
バージョン情報	マツダコネクトのバージョン情報を表示します。

設定初期化

すべての設定値を初期化します。

3

その他機能

Apple CarPlay	3-2
Apple CarPlay.....	3-2

Android Auto™	3-6
Android Auto™.....	3-6

Apple CarPlay

Apple CarPlay はマツダコネクトで iPhone を操作して、通話、メッセージの送受信や、音楽を聴いたり、マップで目的地を調べることができます。また、Siri による音声操作が可能です。

⚠ 警告

USB 端子に接続したコードが、セレクトレバーに絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

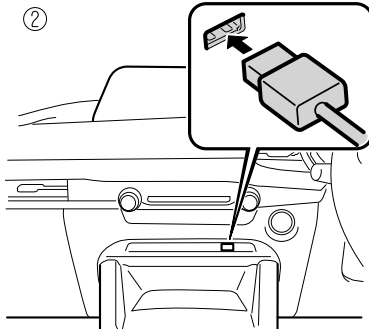
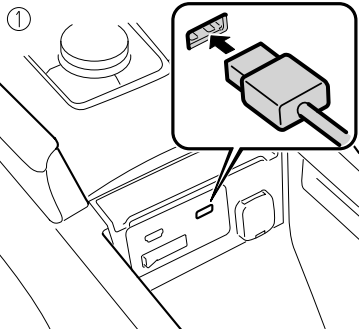
- プラグを接続した状態で、USB 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。
- 接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります（ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください）。
- iPhone を車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温となり、故障の原因になります。

📖 知識

- ・ ご使用前に、iPhone の取扱説明書をよくお読みください。
- ・ エンジンを含めたまま、マツダコネクトを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。

iPhone を接続する

USB 端子に Apple 純正の接続コードを差し込み、iPhone を接続します。プラグの抜き差しは USB 端子の穴に対して垂直におこなってください。



1. コンソールボックス取り付けタイプ
 2. インストルメントパネル取り付けタイプ
- USB 端子の位置は車種により異なります。

知識

- Bluetooth®接続中の iPhone を車両の USB 端子に接続すると、Apple CarPlay に切り替わります。Bluetooth®接続で使用していたアプリケーションは継続して使用することができます。ただし、Bluetooth®接続で使える機能と Apple CarPlay で利用できる機能はアプリケーションによって異なります。
- Apple CarPlay 接続をするデバイスとして、iPhone を 5 台まで登録できます。
- 接続している iPhone の接続設定を“無効”に設定しているときは、iPhone を車両の USB 端子に接続しても、Apple CarPlay は起動しません。Apple CarPlay を使用したいときは、設定を変更してください。
→2-117 ページ「通信」

Apple CarPlay を初めて接続するとき

Apple CarPlay を初めて接続すると、Apple CarPlay の起動に関する確認画面が表示されます。



使用する: 毎回確認せずに起動します。

今後使用しない: 今後、現在接続している機器では起動しません。

今回のみ使用: 今回のみ起動します。

キャンセル: 今回は起動しません。

知識

“今回のみ使用”を選択した場合、次回エンジン始動時に再び確認画面が表示されます。ただし、エンジン停止からエンジン始動までの間隔が短い場合などは、確認画面が表示されないことがあります。

Apple CarPlay 画面を表示する



Apple CarPlay 接続中はマツダコネクトホーム画面に **Apple CarPlay** が表示されます。

 表示中に **Apple CarPlay** を右にスライドすると、Apple CarPlay 画面を表示します。

Apple CarPlay ホーム画面

Apple CarPlay のどの画面を表示していても、コマンダースイッチの  を押すと、Apple CarPlay のホーム画面を表示できます。



 を回す、またはスライドして操作したいアイコンを選択します。

 を押して選択しているアイコンのアプリケーションを起動します。

 知識

- ・ Apple CarPlay ホーム画面に表示されるアイコンやアイコンの表示位置は、接続した iPhone や iOS のバージョンにより異なる場合があります。

No.	アイコン	説明
1	接続した iPhone のアイコン	Apple CarPlay のアプリケーションを起動します。 各アプリケーションの使用方法は、各アプリケーションのヘルプなどを参照してください。
2		Apple CarPlay ホーム画面を表示します。
3		マツダコネクトの画面を表示します。

Apple CarPlay の便利な使い方

項目	操作方法
音声認識機能 (Siri) を起動する*1	次のどちらかの方法で Siri を起動し、音声で Apple CarPlay を操作できます。 ・ オーディオリモートコントロールスイッチの  を押す。 ・  を長押しする。
NowPlaying 画面を表示する	Apple CarPlay で音楽再生中に、コマンダースwitchの  を押すと、Apple CarPlay の再生画面にもどります。
MAP 画面を表示する	Apple CarPlay でルート案内中に、コマンダースwitchの  を押すと、Apple CarPlay のマップ画面にもどります。

*1 Apple CarPlay 接続中はマツダコネクトの音声認識機能は使用できません。

Apple CarPlay を終了する

Apple CarPlay を終了するには、USB 端子から接続コードを抜くか、接続コードから iPhone を抜いてください。
Apple CarPlay 起動前に表示していた画面を表示します。また、Apple CarPlay 起動前に接続していた Bluetooth®機器が再接続されます。

Android Auto™

Android Auto™とは、マツダコネクで Android™ スマートフォンを操作できるアプリケーションです。電話、メッセージ、音楽、マップなど Android Auto™対応のコンテンツを車両のオーディオで使用できます。

警告

USB 端子に接続したコードが、セレクトレバーに絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

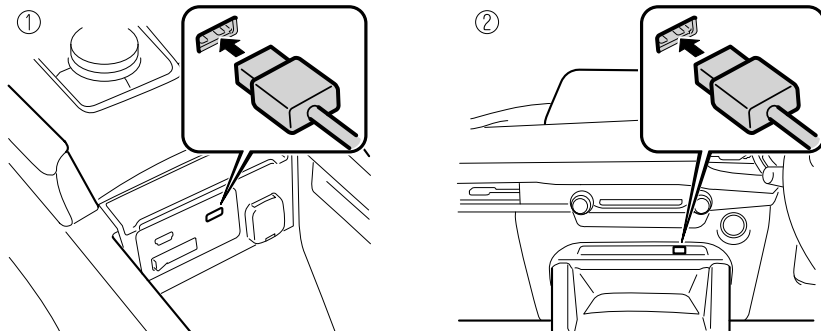
- プラグを接続した状態で、USB 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。
- 接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります（ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください）。
- Android™ スマートフォンを車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温となり、故障の原因になります。

知識

- ・ ご使用前に、Android™ スマートフォンの取扱説明書をよくお読みください。
- ・ エンジンを止めたままで、マツダコネクを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。

Android™スマートフォンを接続する

USB 端子に Android™ スマートフォン純正の接続コードを差し込み、Android™ スマートフォンを接続します。プラグの抜き差しは USB 端子の穴に対して垂直におこなってください。



1. コンソールボックス取り付けタイプ
 2. インストルメントパネル取り付けタイプ
- USB 端子の位置は車種により異なります。

📖 知識

- Android Auto™を使用するには、Bluetooth®を有効にする必要があります。
Android™スマートフォンを Android Auto™モード接続することができます。
Android™スマートフォンは 5 台まで登録することができます。
- 接続している Android™スマートフォンの接続設定を“無効”に設定しているときは、Android™スマートフォンを車両の USB 端子に接続しても、Android Auto™は起動しません。Android Auto™を使用したいときは、設定を変更してください。
→2-117 ページ「通信」

Android Auto™を初めて接続するとき

Android Auto™を初めて接続すると、Android Auto™の起動に関する確認画面が表示されます。



使用する: 毎回確認せずに起動します。

今後使用しない: 今後、現在接続している機器では起動しません。

今回のみ使用: 今回のみ起動します。

キャンセル: 今回は起動しません。

📖 知識

“今回のみ使用”を選択した場合、次回エンジン始動時に再び確認画面が表示されます。
ただし、エンジン停止からエンジン始動までの間隔が短い場合などは、確認画面が表示されないことがあります。

Android Auto™画面を表示する



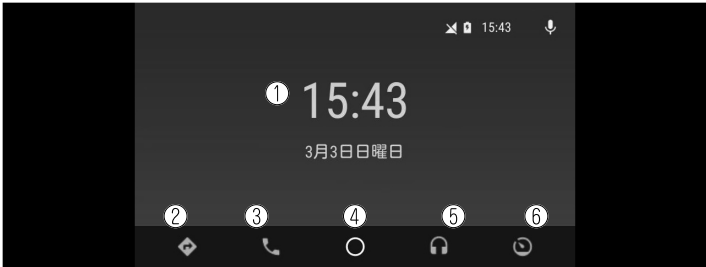
Android Auto™接続中はマツダコネクトホーム画面に  Android Auto が表示されます。

 表示中に  Android Auto を右にスライドすると、Android Auto™画面を表示します。

Android Auto™画面

Android Auto™のどの画面を表示していても、コマンダースイッチの🏠を押すと Android Auto™のホーム画面を表示できます。

マツダコネクトの画面から Android Auto™の画面に移動したい場合は、コマンダースイッチの🏠を長押ししてください。



- 🔄 を回す、またはスライドして項目やアイコンを選択します。
- 🏠 を押して選択している項目やアイコンのアプリケーションを起動します。

📖 知識

・ Android Auto™のホーム画面に表示されるメディアは、接続した Android™スマートフォンの使用状態やバージョンにより異なる場合があります。

No .	アイコン	説明
1	—	各アプリケーションの情報を表示します。起動しているアプリケーションやその状態により表示される内容は異なります。
2	🏠	マップアプリケーションを起動します。
3	📞	通話機能モードを起動します。
4	🕒	Android Auto™ のホーム画面を表示します。
5	🎧	Music アプリケーションを起動します。

No.	アイコン	説明
6		その他メニューを表示します。 メニューからマツダコネクットの画面に戻ることができます。

Android Auto™の便利な使いかた

項目	操作方法
音声で操作する*1	次のどちらかの方法で音声認識モードが起動し、音声にて Android Auto™を操作できます。 ・  を右にスライドして  アイコンを選択する。 ・ オーディオリモートコントロールスイッチの  を押す。
NowPlaying 画面を表示する	Android Auto™で音楽再生中に、コマンドースイッチの  を押すと、Android Auto™の再生画面にもどります。
MAP 画面を表示する	Android Auto™でルート案内中に、コマンドースイッチの  を押すと、Android Auto™のマップ画面にもどります。
マツダコネクットの画面に戻る	コマンドースイッチの  を長押しする。

*1 Android Auto™接続中はマツダコネクットの音声認識機能は使用できません。

Android Auto™を終了する

Android Auto™を終了するには、USB 端子から接続コードを抜くか、接続コードから Android™スマートフォンを抜いてください。

MEMO

4

トラブル

トラブルシューティング.....	4-2
トラブルシューティング.....	4-2

トラブルシューティング

AM/FM に関する問題

問題	原因	解決方法
ステアリングスイッチの  を押しても反応しない。	お気に入りの登録した項目を順番に選局していく機能です。お気に入りの登録件数が0件の場合は操作が無効となります。	お気に入りの登録してください。 → 1-16 ページ「お気に入り」

USB オーディオ、Bluetooth®オーディオに関する問題

問題	原因	解決方法
(USB オーディオ) ・音楽再生ができない。	マストレージに対応していない USB 機器を接続している。	マストレージに対応した USB 機器を接続してください。
	USB ハブを使用している。	USB ハブは使用せずに接続してください。
	マツダコネクトに対応していないファイルシステムでフォーマットされた USB 機器を接続している。	FAT16、および FAT32 でフォーマットされた USB 機器を接続してください。
・音楽ファイルが見つからない。	フォルダ階層が 8 階層より深くなっている。	本機では 8 階層より深い階層にあるファイルは表示や再生ができません。ファイルは 8 階層以内に保存してください。

Apple CarPlay に関する問題

問題	原因	解決方法
USB 端子に Apple 純正の接続コードを差し込み iPhone を接続したが、Apple CarPlay が起動できない。または“接続エラーが発生しました。”のエラーメッセージが表示される。	マツダコネクと iPhone 間の通信に失敗している。	一度 USB 端子から接続コードを取り外し、再度接続を試みてください。
	接続している iPhone の接続設定を“無効”に設定している。	接続設定を“使用する”または“今回のみ使用”に設定してください。 → 2-117 ページ「通信」
	既に他の iPhone で Apple CarPlay を起動している。	他の iPhone で Apple CarPlay を起動中の場合は、後から接続した iPhone では Apple CarPlay を使用できません。一度 Apple CarPlay を終了して、Apple Carplay を使用したい iPhone に接続し直してください。
使用したいアプリケーションのアイコンが Apple CarPlay のホーム画面に表示されない。	Apple CarPlay に対応しているアプリケーションのみ画面に表示されます。	アプリケーションの提供元にお問い合わせください
Siri が音声コマンドや連絡先をうまく認識しない、誤認識する。	考えられる原因は次の通りです。 1. ネットワークの接続不良 2. ロードノイズ/エアコンの風の音	次の方法を試して解決しない場合は、Apple のサポートサイトをご確認いただくか、Apple 社にお問い合わせください。 1. 一度、ハングアップボタン  を押して Siri を終了してください。再度 Siri を使用する場合は、ネットワーク接続が良好になるまでお待ちください。 2. 大きくはっきりと話すと認識率は向上します。
Bluetooth®オーディオと Apple CarPlay とで音量に差がある。	—	Bluetooth®オーディオの音量をご確認ください。 Bluetooth®オーディオは、機器側で音量を調節できるものがあります。

問題	原因	解決方法
USB 端子に Apple 純正の接続コードを差し込み iPhone を接続すると、毎回 Apple CarPlay が起動してしまう (Apple CarPlay で起動したくない iPhone がある)。	接続している iPhone の接続設定を“使用する”に設定している。	接続設定を“無効”に設定してください。→ 2-117 ページ「通信」

Android Auto™に関する問題

問題	原因	解決方法
USB 端子に Android™純正の接続コードを差し込み Android™スマートフォンを接続したが、Android Auto™モードが起動できない。	Android™スマートフォンに Android Auto™アプリケーションがダウンロードされていない。	車両で Android Auto™を操作するためには、Android™スマートフォン内に Android Auto™アプリケーションが必要で す。Android Auto™アプリケーションは Google Play™からダウンロードしてください。
USB 端子に Android™純正の接続コードを差し込み Android™スマートフォンを接続したが、Android Auto™モードが起動できない。または“Bluetooth 接続エラーのため、Android Auto を終了しました。”のエラーメッセージが表示される。	マツダコネクと Android™スマートフォン間の通信に失敗している。	一度 USB 端子から接続コードを取り外し、再度接続を試みてください。
	他の機器が Bluetooth®接続しているため、Android™スマートフォンとペアリングができない。	他の機器の Bluetooth®接続を切断し、一度 USB 端子から接続コードを取りはずしてから再度接続してください。
	接続している Android™スマートフォンの接続設定を“無効”に設定している。	接続設定を“使用する”または“今回のみ使用”に設定してください。 →2-117 ページ「通信」
	既に他の Android™スマートフォンで Android Auto™モードを起動している。	他の Android™スマートフォンで Android Auto™モードを起動中の場合は、後から接続した Android™スマートフォンでは Android Auto™モードを使用できません。一度 Android Auto™モードを終了して、Android Auto™モードを使用したい Android™スマートフォンに接続し直してください。

問題	原因	解決方法
使用したいアプリケーションのアイコンが Android Auto™モードのホーム画面に表示されない。	Android Auto™に対応しているアプリケーションのみ画面に表示されます。	アプリケーションの提供元にお問い合わせください。
- 音声認識がうまくいかない、誤認識する。 - 音声認識の反応が遅い、または動かない。	—	音声認識による操作が難しい場合は、Android Auto™のサポートサイトをご確認いただくか、Google 社にお問い合わせください。
Bluetooth®オーディオと Android Auto™とで音量に差がある。	—	Bluetooth®オーディオの音量をご確認ください。Bluetooth®オーディオは、機器側で音量を調節できるものがあります。
USB 端子に Android™純正の接続コードを差し込み Android™スマートフォンを接続すると、毎回 Android Auto™モードが起動してしまう (Android Auto™モードで起動したくない Android™スマートフォンがある)。	接続している Android™スマートフォンの接続設定を“使用する”に設定している。	接続設定を“無効”に設定してください。 →2-117 ページ「通信」

Bluetooth®機器ペアリング、接続に関する問題

- Bluetooth®は、使用する Bluetooth®機器の設定によっても動作が変化します。
- 正常に使用できなくなった場合は Bluetooth®機器の取扱書も参照してください。

問題	原因	解決方法
ペアリングができない。	—	Bluetooth®機器がマツダコネクタに対応しているか web サイトで確認してください。 Bluetooth®機器の設定で Bluetooth®と Find Mode*1 が ON になっているのを確認してください。また、機内モードになっていないことを確認してください。Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にしてください。その後ペアリングを行ってもペアリングできない場合は、マツダ販売店にご相談ください。

問題	原因	解決方法
再ペアリングできない。	本機または Bluetooth®機器に登録されているペアリング情報を誤認識している。	次の手順でペアリングを実施します。 1. マツダコネクト上で対象の Bluetooth®機器を消去する。 2. Bluetooth®機器の Bluetooth®検索画面から「Mazda」を消去する。 3. 再度ペアリングを行なう。 上記手順でもペアリングできないときは、Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。それでもペアリングできない場合は、マツダ販売店にご相談ください。
自動接続していたが、突然自動接続しなくなった。	Bluetooth®機器によっては Bluetooth®や FindMode*1 が時間経過により自動で OFF になる場合があります。	・ Bluetooth®と FindMode*1 が ON になっている事を確認し、再度接続してください。 ・ Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。
エンジン始動で自動接続しない。	Bluetooth®機器の OS がアップデートされた際に、登録されているペアリング情報が更新されている。	次の手順でペアリングを実施します。 1. マツダコネクト上で対象の Bluetooth®機器を消去する。 2. Bluetooth®機器の Bluetooth®検索画面から「Mazda」を消去する。 3. 再度ペアリングを行なう。 上記手順でもペアリングできないときは、Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。それでもペアリングできない場合は、マツダ販売店にご相談ください。
	Bluetooth®機器によっては、Bluetooth®や FindMode*1 が時間経過により自動で OFF になる場合があります。	・ Bluetooth®と FindMode*1 が ON になっている事を確認し、再度接続してください。 ・ Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。

問題	原因	解決方法
接続が途切れる。	Bluetooth®機器を後部座席のカバンの中やズボンの後ろポケットの中、電波が遮断されやすい場所に置いていませんか？	- Bluetooth®機器を電波が遮断されにくい場所から移動させてください。 - Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。

*1 Bluetooth®機器の存在が、外から検知されるようにするための設定

音声認識に関する問題

問題	原因	解決方法
- 音声認識がうまくいかない。 - 数値を誤認識しやすい。	- 話し方がゆっくりすぎませんか？ - 話し方が強すぎませんか？(怒鳴っていませんか？) - マイクにエアコンの風などが当たっていませんか？ - 標準でない表現(方言など)で話していませんか？	- 左の項目に注意して話してください。また、数値を連続して話す場合、数値間に間を置かずにつなげて話す認識率は向上します。 - Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。
	マイクに不具合がある。	マイクの接続不良や故障が考えられます。マツダ販売店にご相談ください。
音声ガイダンス中に音声コマンドを発話したとき、音声認識がうまくいかない。	ガイダンス音量の設定値が大きいです。	ガイダンス音量を 50 レベル以下に設定すると認識率が向上します。

問題	原因	解決方法
電話帳の名前をうまく認識しない。	電話帳に登録されているデータが認識しにくい状態になっています。	次の対応を行っていただくと、認識率が向上します。 ・ 短い名前を避け、長い名前を適用する。 (名前は長いほど認識率が上がります。「ママ」や「パパ」などの短い文言は避けていただくと認識しやすくなります)
	Bluetooth®機器の接続に問題がある。	ペアリングの状態を確認し、接続に問題がある場合は、本項目の「Bluetooth®機器ペアリング、接続に関する問題」を確認してください。
	電話帳にふりがな情報が登録されていない。	機器の電話帳にふりがな情報を追加し、電話帳を再ダウンロードしてください。
ガイダンスをスキップしたい。	—	トークボタンを押すことにより、ガイダンスはいつでもスキップできます。

電話に関する問題

問題	原因	解決方法
通話開始時、通話相手に車両のノイズが聞こえる。	通話開始から約 3 秒間は、Bluetooth®ユニットのノイズ抑制機能が通話環境の適応に時間が必要なため、通話相手にノイズが聞こえ、声が通りにくいことがあります。	Bluetooth®機器に問題はありません。
相手の声が聞こえない/小さい。	ボリュームがゼロ、または小さくなっていますか？	通話音量を上げてください。

メッセージに関する問題

問題	原因	解決方法
連絡先が表示できない。	Bluetooth®機器側がマツダコネクトへのダウンロードを許可していない。	Bluetooth®機器側でダウンロードに対する許可操作をしてください。
メッセージリストが表示できない。	Bluetooth®機器側がマツダコネクトへのダウンロードを許可していない。	- Bluetooth®機器側でダウンロードに対する許可操作をしてください。 - Apple 製品を接続している場合は、Apple 製品側でダウンロードに対する許可操作をした後、再接続をしてください。再接続後に受信したメッセージのみが表示されます。

その他の問題

問題	原因	解決方法
Bluetooth®機器に表示されるバッテリーの残量と、センターディスプレイに表示されるバッテリーの残量が異なる。	Bluetooth®機器からの、残量値情報と本機の表示スケールにずれがあるためです。	—
車両で通話を実行時、着信/発信履歴が電話番号で更新されるが、名前が出ない。	電話帳に通話相手先が登録されていません。	番号が電話帳に登録されていれば、エンジンを再始動すると、電話帳の名前で着信/発信履歴が更新されます。
着信/発信履歴が Bluetooth®機器と車両間で同期しない。	Bluetooth®機器によっては、エンジン始動後に、着信/発信履歴をダウンロードすることがあります。	Bluetooth®機器を操作する必要があります。Bluetooth®機器の取扱書を参照してください。

MEMO

A

Android Auto™..... 3-6
Apple CarPlay.....3-2

B

Bluetooth®
設定..... 2-98

お

オーディオ..... 2-8
AM.....2-31
Bluetooth®.....2-34
CD.....2-51
DVD.....2-58
FM.....2-28
HDMI.....2-78
TV.....2-73
USB1 Video/USB2 Video.....2-46
USB1 Audio/USB2 Audio.....2-39
交通情報.....2-26
メモリーオーディオ.....2-68
お気に入り.....1-16

き

基本操作..... 1-6
オーディオリモートコントロールスイッチ
による操作.....1-10
音声認識機能による操作.....1-12
コマンダースイッチによる操作..... 1-7

こ

コミュニケーション..... 2-81

設定..... 2-98
Bluetooth®ハンズフリー.....2-82

し

情報.....2-2
i-DM..... 2-2
車両ステータスマニター.....2-5
取扱説明書..... 2-7
燃費モニター.....2-3

せ

設定.....2-101
安全装備.....2-108
画面表示.....2-104
サウンド.....2-106
システム.....2-127
車両装備.....2-113
通信.....2-117

と

トラブルシューティング..... 4-2

な

ナビゲーション.....2-100

ま

マツダコネクトとは?.....1-2
マツダコネクトをご使用の前に..... 1-21

MAZDA MOTOR CORPORATION